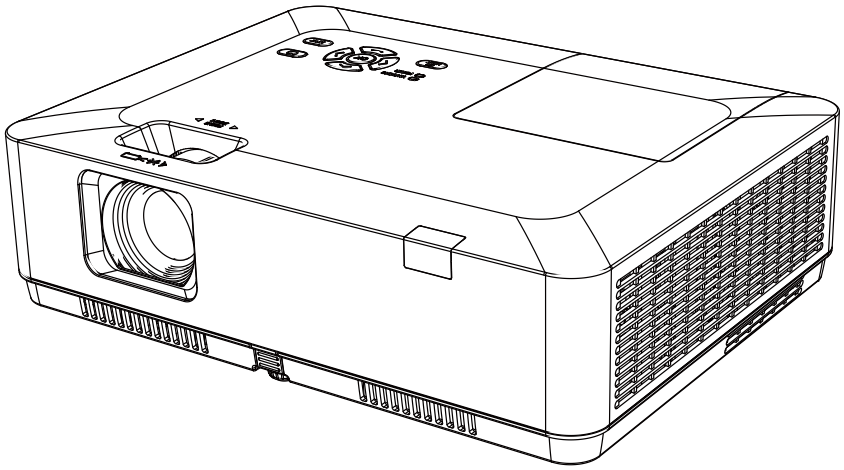
POWER PROJECTOR

LV-WU360/LV-WX370/LV-X350

使用説明書



HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

ご使用の前に、必ずこの使用説明書をお読みください。
特に「安全にお使いいただくために」の項は必ずお読みになり、正しくご使用ください。
またお読みになった後、この使用説明書をいつでも見られる場所に保管してください。
本製品は日本国内用に設計されております。
電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。

おもな特長

本製品は多彩な機能を搭載しており、10億7,300万色の色表現を実現します。

シンプルなコンピュータシステムの設定
多くのコンピューター出力信号に準拠するマルチスキャンシステムを備えています。最大WUXGA解像度を投写することができます。

プレゼンテーションに役立つ機能
デジタルズーム機能を使うと、プレゼンテーション中に重要な情報に集中することができます。

ランプ制御
投写ランプの明るさを選択できます。

ロゴ機能（LV-WX370,LV-X350）
画面上の任意の画像をキャプチャーし、画面のロゴをカスタマイズすることができます。

多言語メニュー表示（26 言語）
英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポーランド語、スウェーデン語、オランダ語、ポルトガル語、日本語、簡体字中国語、繁体字中国語、韓国語、ロシア語、アラビア語、トルコ語、フィンランド語、ノルウェー語、デンマーク語、インドネシア語、ハンガリー語、チェコ語、カザフスタン語、ベトナム語、タイ語、ペルシア語。

便利なメンテナンス機能
ランプとフィルターのメンテナンス機能により、プロジェクターのメンテナンス性が向上します。

セキュリティー機能
キーロック機能を使用すると本体操作部またはリモコンの操作をロックすることができます。パスコードロック機能は、プロジェクターの不正使用を防げます。

オートセットアップ機能
ボタン１つでオートインプット（入力信号の有無を検知して投写）、PC調整、キーストーンのセットアップができます。

カラーボード (黒板) 機能
色付きの壁に投写するときは、本機にプリセットされている4色の中から壁の色に似た色を選択することで、白い画面（スクリーン）に投写するのに近い色で投写することができます。

パワーマネージメント
消費電力を低減し、ランプの寿命を維持します。

クローズドキャプション
画面に表示されるプログラム音やその他の情報を表示することができます。チャンネルを切り替えることができます。

✓注意
- マニュアルの画面メニューとイメージは、実際の製品と多少異なる場合があります。
- マニュアルは予告なしに変更されることがあります。

目次

おもな特長 2

目次 3

安全にお使いいただくために 5
安全上の注意を表す記号 5
使用上のご注意 6

正しくお使いいただくために 13

設置の前に 15
持ち運び時／輸送時のご注意.....15
設置のときのご注意 15

第三者のソフトウェアについて 18

同梱品 19

本体各部の名まえと機能 20
上面 / 前面.....20
背面.....20
底面.....20

各部の名称 21
接続端子 21
本体操作部と LED インジケーター.....22
リモコン.....23
リモコンへの電池の入れかた.....24
リモコンで操作できる範囲.....24

設置 25
設置する.....25
投写映像を調整する.....26
コンピューターと接続する
（デジタル入力 / アナログ RGB）.....27
ビデオ機器と接続する 28
オーディオ機器と接続する.....29
USB 機器を接続する.....30
電源コードを接続する.....31

基本操作 32
電源を入れる.....32
電源を切る 33
OSD メニューの操作方法.....34
メニュー項目の概要.....35
ズームとフォーカスを調整する 36
オートセットアップ.....37
キーストーン.....37
音量調整 38
サウンドメニューで音量を調整する.....38
リモコン操作 39
入力選択 41

表示 43
オート PC 調整 43
トラッキング.....43
水平位置 43
垂直位置 44
水平サイズ.....44
アスペクト.....44
反転表示 45
メニュー位置 46
背景表示 46
入力信号選択 47

色調整 49
イメージモード.....49
色調整.....50

設定 52
ダイレクトパワーオン.....52
スタンバイモード.....52
高地モード.....53
ランプモード.....53
クーリングモード.....54
クローズドキャプション.....54
キーロック 55
アイリス.....55
サウンド.....56
HDMI 設定 56

拡張設定 58
言語.....58
オートセットアップ.....59
キーストーン.....59
ロゴ.....62
セキュリティー 63
パワーマネージメント 64
フィルターカウンター 65
テストパターン.....66
ネットワーク.....66
工場出荷時設定.....67
ランプカウンター.....68

目次

メモリービューワー 69
スライド開始.....69
表示効果 69
表示順.....70
回転.....70
フィット 70
リピート 71
適用.....71

インフォメーション 72

ネットワーク制御 73
ネットワーク制御操作 73
Web ブラウザから入力する 74
[システムステータス] ページ.....75
[一般設定] ページ.....75
[画像調整] ページ.....75
[画面調整] ページ.....76
[ネットワーク設定] ページ 77
ネットワークディスプレイを使用する.....78
Web ブラウザからプロジェクターを
遠隔操作する（e-Control®）.....83
PJLink アプリケーションを使って
プロジェクターを操作する 86

便利な機能..... 89
メモリービューワー機能.....89
USB ディスプレイ機能.....91

メンテナンスとクリーニング..... 94
[WARNING] インジケーター 94
レンズを清掃する 95
本機のキャビネットを清掃する.....95
フィルターを清掃する.....95
フィルターカウンターをリセットする 96
ランプを交換する 97
ランプユニット 97

付録 99
トラブルシューティング 99
メニュー構成 102
LED インジケーターの状態.....106
互換性のあるコンピュータ画面 107
端子の仕様.....108
寸法.....109
製品の仕様.....110
RS-232C コントロールモード 112
ユーザーコマンド.....113
保証とアフターサービス.....115

安全上の注意を表す記号

この使用説明書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくため、大切な記載事項には次のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、死亡または傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 感電注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、感電の可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 高温注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、やけどをする可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 禁 止	この記号は、その他の行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
	この記号は、行わなければならない行為を示しています。図の中に具体的な指示内容が描かれています。
 注 意	この記号は、必ず守っていただきたい行為や内容を示します。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

※ 本プロジェクターはJIS C 61000-3-2 適合品です。

使用上のご注意

安全に関する重要な内容ですので、ご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。

⚠警告

電源について

設置する際は、電源プラグをすぐに抜けるようにするか、または配線用遮断器を手の届くところに設置してください。
以下のような場合はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店へご連絡ください。放置すると火災や感電の原因になります。

- 煙が出ている。
- 変なにおいや音がする。
- 水などの液体が本機に入った。
- 金属類や異物が本機に入った。
- 本機を倒したり、落としたりしてキャビネットを破損した。

電源および電源プラグ、コネクターの取り扱いについて以下の点にご注意ください。火災や感電の原因になります。

- 電源コードの上に重い物を載せたり、本機の下敷きにならないようにしてください。
- 電源コードを敷物などで覆わないでください。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、また、巻いたり、束ねたりしないでください。
- 電源コードを熱器具に近づけたり加熱したりしないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。電源コードが破損した場合は販売店にご相談ください。
- 表示されている電源電圧（AC100V）以外の電圧で使用しないでください。
- 電源プラグやコネクターの接点部に金属類を差し込まないでください。
- 付属している電源コードは、本製品専用です。他の製品では使用できません。

- 電源コードのアース線を必ずアースに接続してください。
- アース線の接続は、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。またアース線を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

- ぬれた手で電源プラグやコネクターを抜き差ししないでください。

⚠ 警告

電源および電源プラグ、コネクターの取り扱いについて以下の点にご注意ください。火災や感電の原因になります。

注 意

感電注意

- 電源プラグやコネクターは根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
- 電源プラグやコネクターを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグやコネクターを持って抜いてください。電源コードが破損します。
- コンセント付き延長コードを使う場合は、延長コードの定格容量を超えない範囲でお使いください。
- たこ足配線などで定格容量を超えると、発熱による火災の原因になりますので行わないでください。
- 電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ゴミ・汚れなどを取り除いてください。
- 雷が鳴り出したら、本機、電源コード、ケーブルに触れないでください。
- 本機を移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間のケーブル類を外してから行ってください。
- 本機のお手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。

安全にお使いいただくために

⚠警告

設置・ご使用について

設置およびご使用上、以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。

水ぬれ禁止

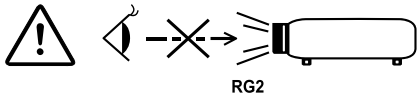
感電注意

- 水や雨のかかるおそれのある室外や風呂、シャワー室などで使用しないでください。
- 本機の上に液体の入った容器を置かないでください。
- 湿気やホコリの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かないでください。油によりキャビネットの樹脂部が劣化し、天吊り設置の場合に落下するおそれがあります。
- 天吊りのように高所に設置する場合は必ず落下防止ワイヤーなどの落下防止措置をプロジェクター本体に施してください。
- キャビネットを外したり本機を分解しないでください。内部には電圧の高い部分および温度の高い部分があります。内部の点検・整備・修理は販売店にご相談ください。
- 本機（消耗品を含む）やリモコンの分解や改造をしないでください。
- 使用中は排気口をのぞかないでください。
- 吸気口や排気口などの穴から物などを差し込まないでください。
- 排気口の前にはスプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、スプレー缶が破裂する原因になります。

禁 止

- 本機のレンズ、フィルターなどに付着したゴミ、ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを絶対使用しないでください。本機内部の一部が高温になっているため、引火による火災の原因になります。
- 本機のメンテナンスの際に接着剤、潤滑剤、油、アルカリ性の洗剤などを使用しないでください。付着するとキャビネットが割れ、本機が落下し事故やけがの原因になります。
- 使用中は強い光が出ていますので、レンズをのぞかないでください。目を傷める恐れがあります。特に小さなお子様にはご注意ください。本製品の投写光はIEC62471-5：2015に基づくリスクグループ2（RG2）に分類されます。

プロジェクター本体のRG2表記



- 投写光が通る範囲に光学機器（ルーペ、反射鏡、メガネなど）をかざしたり、設置しないでください。投写光が屈折または反射しそれが目に入ると、目を傷めるなどの原因になります。
- 投写光が直接人体にさらされないようにしてください。

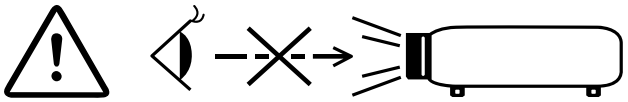
⚠ 警告

設置およびご使用上、以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。

注 意

- 本機を高いところに置いて使用する場合は、必ず水平で安定した場所に設置してください。
- カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上に設置しないでください。
- 天吊り設置および設置工事は必ず設置業者または販売店に依頼してください。工事の不備により、事故の原因になります。
- 可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所で使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となります。

プロジェクター本体のRG2表記



RG2

⚠警告

ランプについて

本プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプには、次のような性質があります。

- ランプは使用時間の経過による劣化などで、次第に暗くなります。
- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きます。
- ランプ交換の指示「ランプ交換」が出た場合、ランプが破裂する可能性が高くなっています。すみやかに新しいランプと交換してください。（P98）
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間は大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 万一に備え、あらかじめ交換用のランプをご用意ください。

ランプの交換および破裂したときは、以下の点にご注意ください。

注 意

- ランプが破裂したときは、ランプ内部のガス（水銀を含有）や粉じんが排気口から出たりすることがあります。すみやかに窓や扉を開け、部屋の換気を行ってください。また、ガラス片が散乱している可能性があります。ご自身ではランプの交換はせず、設置業者または販売店へ内部の清掃と点検、ランプ交換を依頼してください。
- 万一、ランプから生じるガスを吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが点灯しなくなって交換するときは以下の点に注意してください。けがの原因になります。

注 意

- 電源投入時や使用中に点灯しなくなったときは、ランプが破裂している可能性があります。その場合、絶対にお客様自身でランプの交換作業は行わず、設置業者または販売店に依頼してください。
- 本機を天井から吊り下げて設置している場合、ランプカバーを開けたり、ランプを交換するなどのときは、ランプが落下する可能性があります。ランプの交換作業時は、本機の下に人がいないことを確認し、また真下には立たず、横から作業してください。

⚠警告

リモコンの電池について

電池の取り扱いについて以下の点に注意してください。火災やけがの原因になります。

禁 止

- 電池を火の中に入れたり、加熱、ショート、分解したりしないでください。
- 付属の電池は充電しないでください。

注 意

- 電池を使いきったときや、長時間使用しないときは電池を取り外してください。
- 電池を交換するときは2 本一緒に交換してください。また、種類の異なる電池を一緒に使用しないでください。
- ＋と－の向きを正しく入れてください。
- 万一、液漏れなどで内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。

⚠注意

取り扱いについて

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。

- 長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグやコンセントにホコリがたまり、火災の原因になることがあります。

- AUDIO OUT 端子には、ヘッドホンやイヤホンを接続しないでください。聴力障害の原因になることがあります。
- 初めから音量を上げすぎないでください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。電源を切る前に音量（ボリューム）を下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。

- 投写中は排気口周辺や排気口上部のキャビネットが高温になりますので、手で触れたりしないでください。特に小さいお子様にはご注意ください。また、 排気口周辺や上部に金属類を置かないでください。高温になり、やけどやけがの原因になることがあります。

- 本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。
- 電源コードのアース端子からはずした絶縁キャップなどの小さな部品は、幼児が飲み込む恐れがあるので、手の届かないところに保管してください。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- レンズの前に物を置いて投写しないでください。火災の原因になることがあります。

ランプの取り扱いに際しては、以下の点にご注意ください。

- ランプを取り出す際は、本機の電源を切った後、1 時間以上経過し、ランプと本機が十分に冷えたことを確認してから行ってください。やけどの原因になることがあります。

注意

持ち運びおよび設置について

本機を持ち運ぶ際は、以下の点にご注意ください。

- 本機は精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因になります。
- 移動時に調整脚が出たまま移動すると破損の恐れがありますので、調整脚をおさめてください。
- レンズを素手で触らないでください。レンズに汚れや指紋が付くと、画質を損なう原因になります。
- 使用済みの梱包材、緩衝材では十分保護できなかったり、また、緩衝材の破片などが本機内部に入り込んで故障の原因になることがあります。

設置または使用に関して、以下の点にご注意ください。

- 結露に注意してください。
- 低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、映像に影響がでることがあります。その場合、しばらくまって結露がとれたことを確認後、使用してください。
- 高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。なお使用環境と保管温度の範囲は次の通りです。

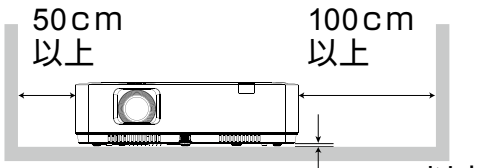
使用温度範囲　0 ℃ ～ 40 ℃　湿度20% ～ 85%
保管温度範囲　-20 ℃ ～ 60 ℃

- 海抜1,400m 以上の高地でご使用されるお客様へ
  本機の設定をメニューから変更してください。設定を変更しないと、ランプの寿命が短くなったり故障の原因になります。
- 本機を誤った方向に設置しないでください。 前後および左右の傾きは各10°以内としてください。ランプの寿命が短くなったり故障の原因になります。
- 本機の吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり光学部品などの寿命が短くなったり故障の原因になります。

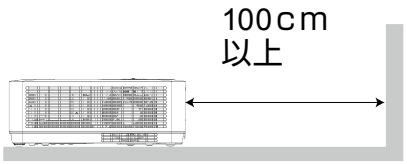
注意

設置または使用に関して、以下の点にご注意ください。

- 本機の各側面の吸気口、排気口を壁などから50cmまたは100cm以上離して設置してください。また、本機の底面から0.5cm以上隙間を空けてください。底面に吸気口があります。内部に熱がこもり故障の原因になることがあります。



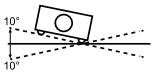
側面 / 底面



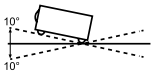
背面

- 熱で変形や変色の恐れのあるものを本機の上に置かないでください。
- 高圧電線や電力源の近くに設置しないでください。正しく動作しないことがあります。
- 定期的にエアフィルターを清掃してください。長い間清掃をしないと内部にホコリがたまり故障や投写する映像に影響が出ることがあります。
- 同じ画像を長時間表示していると、画像が変わったときに前の画像が残存として見えることがあります。これは、液晶パネルの特性であり、故障ではありません。なお、残像は通常の動画をしばらく表示すれば解消されます。

注 意



左右方向の傾きを10° 以上にしないでください。



上下方向の傾きを10° 以上にしないでください。

上向き投写はしないでください。

下向き投写は投写しないでください。

横に立てて投写しないでください。

持ち運び時／輸送時のご注意

本機を以下の状態にしてから持ち運んでください。

注 意

- 本機の接続ケーブルを外してください。ケーブルを取り付けたまま運ぶと、事故の原因になります。
- 移動時に調整脚が出たまま移動すると破損の恐れがありますので、調整脚をおさめてください。
- 強い衝撃や振動を与えないでください。

設置のときのご注意

5～14ページの「安全にお使いいただくために」および「正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。また、設置するときは次のことに注意してください。

注 意

- 本機をたたいたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因になることがあります。
- 本機を縦置きで立てかけたり、不安定な状態で置かないでください。転倒により故障の原因になることがあります。

■ 以下のような場所には設置しないでください

注 意

- 湿気やホコリ、油煙やタバコなどの煙が多い場所
  レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になることがあります。また、油により樹脂が劣化し、天つり設置の場合に落下するおそれがあります。
- 高圧電線や電力源の近く
  正しく動作しないことがあります。
- カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上
  火災または本機の故障の原因になります。
- 高温、低温、高湿度になる場所
- 振動/ 衝撃が加わる場所
- 熱感知器や煙感知器のそば
- 海の近く、エアコン吹き出し口の近く
- 温泉から出る硫黄ガスなどの腐食性ガスが発生する場所
  故障の原因になることがあります。なお、使用温度･湿度、保管温度の範囲は以下の通りです。
  ※ 使用温度範囲･使用湿度範囲は、通電中（投写状態、または、スタンバイ状態）において対象範囲となります。

使用温度範囲	使用湿度範囲	保管温度範囲
0℃～ 40℃	20%～ 85%	-20℃～ 60℃

■ レンズを素手で触らないでください

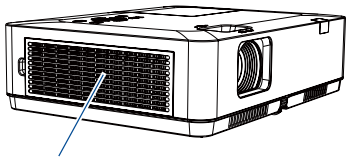
注 意

レンズを素手で触らないでください。レンズに汚れや指紋が付くと、画質を損なう原因になることがあります。

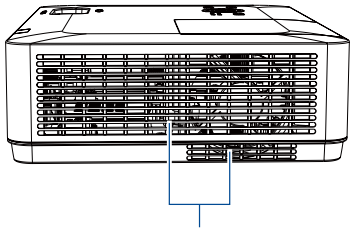
■ 壁などから十分な距離をあけて設置してください

注 意

吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、本機の寿命を縮めたり、故障の原因になります。
また、密閉された風通しの悪い狭いところに設置しないで、風通しのよい場所に設置してください。
側面の排気口および後部いずれも壁などから100cm以上、側面の吸気口から50cm以上離してください。また、本機の底面は0.5cm以上隙間を空けてください。



吸気口



排気口（温風）

■ 結露にご注意ください

部屋の温度を急に上げたときなど、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

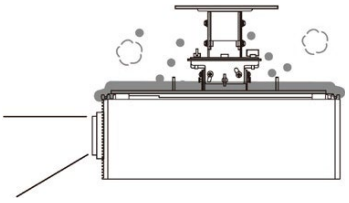
■ 海抜 1,400m 以上の高地で使用するときは設定を変更してください

海抜1,400m 以上の高地でご使用される場合は、プロジェクターの設定を変更する必要があります。詳しくは、設定メニューの［高地モード］を参照してください。

■ 天井から吊り下げてご使用になる場合

注 意

天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用になるときは、吸気口や排気口、エアフィルター周辺の掃除を定期的に行ってください。吸気口や排気口にホコリがたまると、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障や火災の原因になることがあります。吸気口や排気口についたホコリは掃除機などで 取り除いてください。



著作権についてのご注意

営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機の画面サイズ切り換え機能などを利用して画面の圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ネットワークのセキュリティーについてのご注意

ネットワークのセキュリティー対策に関しては、お客様ご自身の責任で行ってください。
不正アクセスなどネットワークのセキュリティー上の問題により発生した直接、間接の損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。
利用に際しては、プロジェクター本体、コンピューター、ネットワークに適切なセキュリティーの設定を行ってください。

- プロジェクターはインターネットに直接接続せず、ファイアウォールなどで保護されたネットワーク内に設置してください。

商標について

- Ethernet は Xerox 社の登録商標です。
- Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国および、その他の国における登録商標または、商標、商品名です。
- Mac, Mac OS, およびMacintoshは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- PJLink はJBMIA の登録商標です。
- PJLink 商標は、日本、米国および、その他の国や地域における登録または出願商標です。
- AMX は、Harman International Industries,Inc. の登録商標です。
- Crestron®、Crestron RoomView®、Crestron Connected™は、Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。

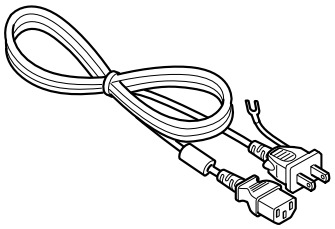
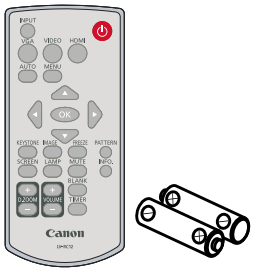
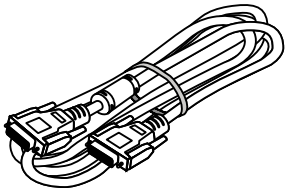
第三者のソフトウェアについて

この製品には、第三者のソフトウェアモジュールが含まれています。
詳細は、ダウンロードサイト（https://global.canon/iprj/）経由で、『使用しているソフトウェアについて』から取得したファイルをご確認ください。また、各モジュールのライセンス条件も同ファイルに記載されていますので、ご覧ください。

第三者ソフトウェアには、実行形式のソフトウェアモジュールを配布する条件として、そのモジュールのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。こうした第三者ソフトウェアのソースコードの入手方法については、製品をお買い上げいただいた販売会社にお問い合わせください。

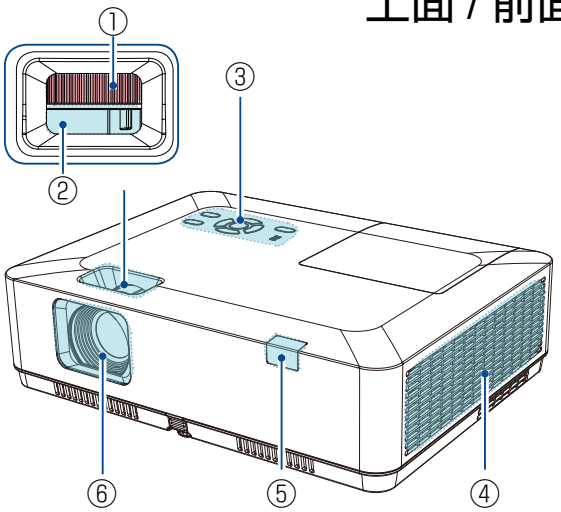
同梱品

次の同梱品が揃っていることを確認してください。

電源コード (1.8m)	リモコン (品番 : LV-RC12) 乾電池 (単四形x2)
 **注意 :** 電源コードの仕様は、本機を使用する国によって異なります。	
重要なお知らせ	コンピューターケーブル (1.5m)
	
かんたんガイド	保証書

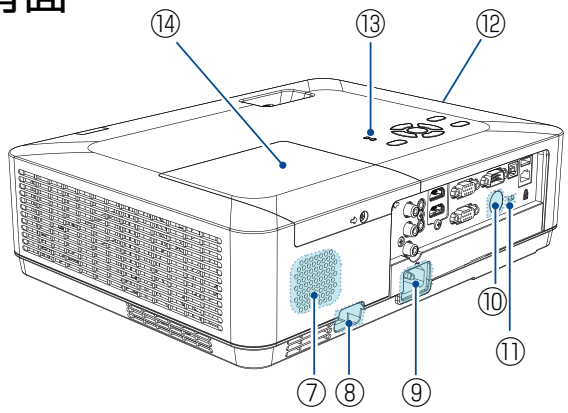
本体各部の名まえと機能

上面 / 前面



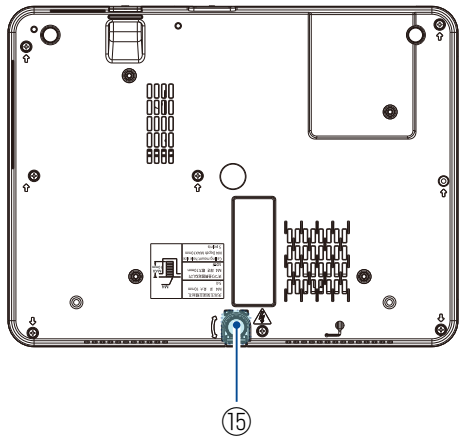
① フォーカスリング
② ズームリング
③ 本体操作部・LEDインジケーター
④ 排気口
⑤ リモコン受光部（前面）
⑥ 投写レンズ

背面



⑦ スピーカー
⑧ セキュリティバー
⑨ 電源コード接続部
⑩ リモコン受光部（背面）
⑪ 盗難防止用ロック穴
⑫ フィルターカバー
⑬ LEDインジケーター
⑭ ランプカバー

底面

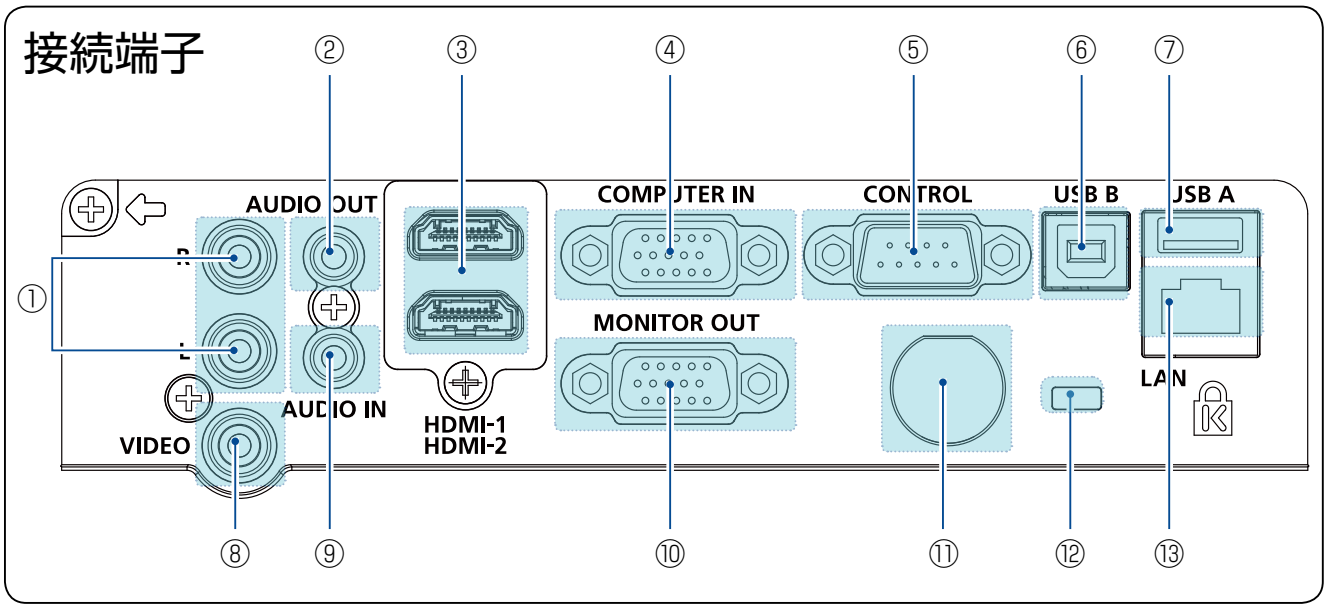


⑮ 調整脚

⚠ 注意：

排気口の近くに手やその他の物を置かないでください：

- 排気口から熱風を吹き出します。手や顔、または熱で変形や変色の恐れのあるものを排気口の近くに置かないでください。少なくとも100cm以上離してください。燃えたり破損の原因となります。



① **MONO（L/R）端子**
モノラルオーディオ信号（単一のオーディオ端子）をこの端子に接続します。

② **音声出力端子**
外部オーディオ機器の音声出力をこの端子に接続します。

③ **HDMI-1/HDMI-2端子**
HDMI1 デジタル出力信号または HDMI2 デジタル出力信号をこの端子に接続します。

④ **コンピューター入力端子**
RGB 映像出力をこの端子に接続します。

⑤ **コントロール端子**
RS-232C 機能を使用して本機を操作する場合、シリアル通信をこの端子に接続します。

⑥ **USB B端子**
USB ディスプレイ機能を使用する場合は、コンピューターを USB ケーブルで接続し、この端子に接続します。

⑦ **USB A端子**
メモリービューワー機能を使用する場合は、USB メモリーを直接この端子に接続してください。

⑧ **映像入力端子（VIDEO IN）**
ビデオ出力をこの端子に接続します。

⑨ **音声入力端子**
コンピューターの音声出力をこの端子に接続します。

⑩ **映像出力端子**
④に接続した映像信号を他のモニターに出力するときに接続します。

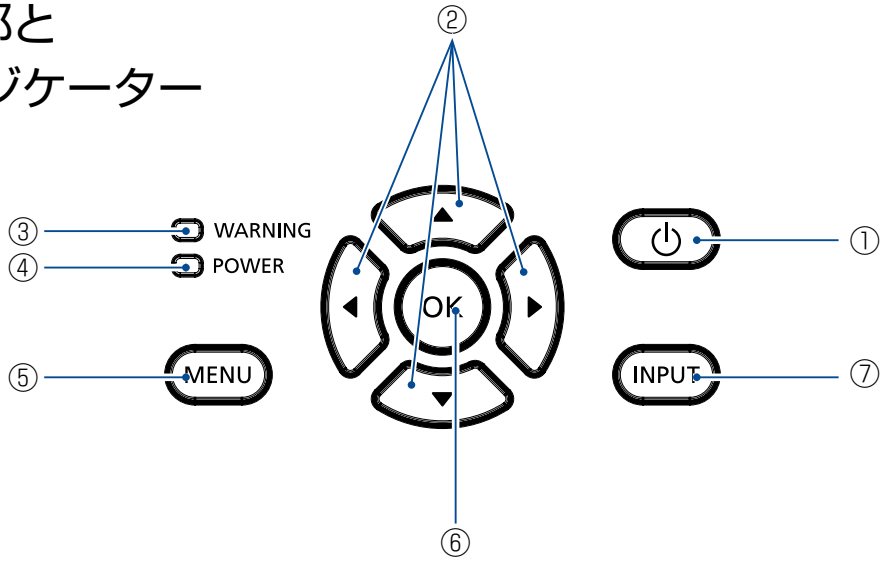
⑪ **リモコン受光部**
リモコンで操作する場合に使用します。

⑫ **盗難防止用ロック穴**
盗難防止用のチェーンなどを取り付けるときに使用します。

⑬ **LAN端子**
有線 LAN ケーブルを接続します。

各部の名称

本体操作部と LED インジケーター



① POWERボタン
電源を ON/OFF します。

② 方向ボタン（▲/▼/◀/▶）/音量ボタン（+/−）
- 項目を選択するか、OSDメニューでデータを調整します。
- 「デジタルズーム+/−」モードで画像をシフトします。
- 音量を調節します。

③ WARNINGインジケーター
プロジェクターの内部温度が動作範囲を超えると、インジケーターが赤く点滅します。

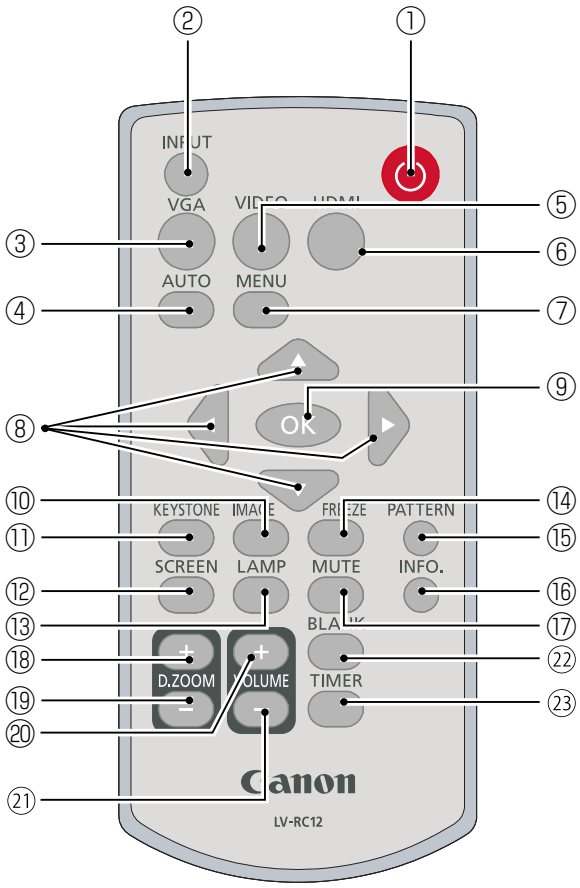
④ POWERインジケーター
- スタンバイモードの場合は赤色に点灯します。
- 動作中は緑色に点灯します。
- 省電力モードの場合は、緑色に点滅します
- 冷却中の場合は、赤く点滅します。
- 電源が異常な場合は、橙色に点灯します。

⑤ MENUボタン
投写画面に OSD メニューを表示します。

⑥ OKボタン
OSD メニューなどで選んだ項目を確定します。

⑦ INPUTボタン
INPUT メニューの表示 / 非表示を切り替えます。

リモコン



① **POWERボタン**
電源を ON/OFF します。

② **INPUTボタン**
INPUT メニューの表示 / 非表示を切り替えます。

③ **VGAボタン**
VGA 入力信号を選びます。

④ **AUTOボタン**
オートセットアップを実行します。

⑤ **VIDEOボタン**
ビデオ入力信号を選びます。

⑥ **HDMIボタン**
HDMI1/HDMI2 入力信号を選びます。

⑦ **MENUボタン**
投写画面にメニューを表示します。

⑧ **方向ボタン（▲/▼/◀/▶）**
OSD メニューでのポインタの移動やメニューの調整に使用します。また、デジタルズームモードで画像の表示領域を選択します。

⑨ **OKボタン**
メニューなどで選んだ項目を確定します。

⑩ **IMAGEボタン**
イメージモードを選びます。

⑪ **KEYSTONEボタン**
台形ひずみ補正を行います。

⑫ **SCREENボタン**
「スクリーンサイズ調整」メニューを表示します。

⑬ **LAMPボタン**
ランプモードを選択します。

⑭ **FREEZEボタン**
映像を一時的に静止します。

⑮ **PATTERNボタン**
テストパターンを表示します。

⑯ **INFO.ボタン**
本機の状態を表示します。

⑰ **MUTEボタン**
音声を一時的に消します。

⑱ **D.ZOOM ＋ボタン**
投写映像を拡大します。

⑲ **D.ZOOM －ボタン**
投写映像を縮小します。

⑳ **VOLUME ＋ボタン**
音量を上げます。

㉑ **VOLUME －ボタン**
音量を下げます。

㉒ **BLANKボタン**
映像を一時的に消します。

㉓ **TIMERボタン**
タイマー機能を実行します。

USBディスプレイ機能、メモリービューワー機能、ネットワークを入力信号として選択すると、[PATTERN]ボタンの機能は無効になります。

リモコンへの電池の入れかた

❶ 電池カバーを開く。

❷ 新しい電池を入れる。

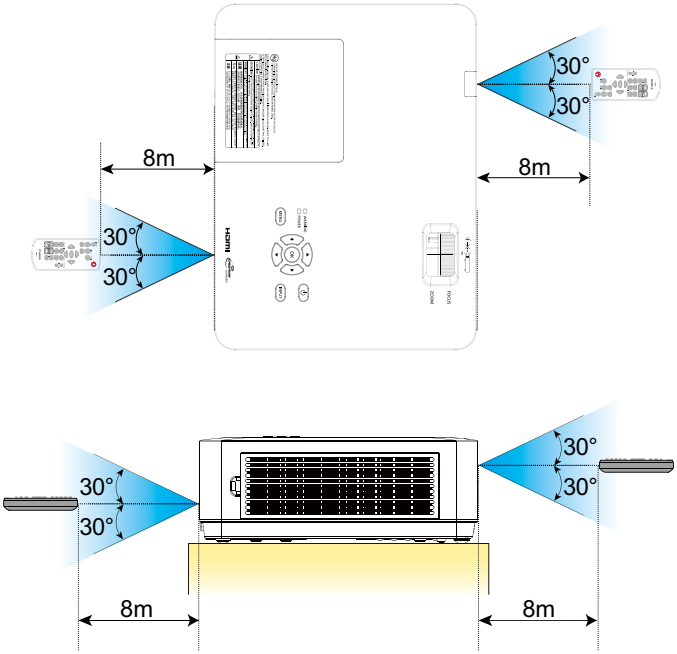
新しい単4 乾電池2 本を＋プラスと－マイナスの向きに注意して入れます。

❸ 電池カバーを閉じる。

- リモコンでの操作ができない場合は、新しい電池と交換してください。
- リモコンを落としたり衝撃を与えないでください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。故障の原因になることがあります。
- 電池を廃棄する時は、各自治体の条例に従って廃棄してください。

リモコンで操作できる範囲

プロジェクターのリモコン受光部にリモコンを向けます。
リモコンの最大操作範囲は受光部の正面から約30˚、直線で約8メートルです。



設置する

- 周囲の明るさが投写映像の画質に影響することがあります。最適な効果を得るには、環境内の明るさを調整することをお勧めします。
- 下図の値は概算値です。実際のものと異なることがあります。

■ LV-WU360

スクリーンサイズ（幅×高さ）m 16:10 アスペクト	30 型	80 型	100 型	120 型	150 型	200 型	300 型
	0.65×0.40	1.72×1.08	2.15×1.35	2.59×1.62	3.23×2.02	4.31×2.69	6.46×4.04
投写距離（最大）	0.87m	2.36m	2.96m	3.56m	4.45m	5.95m	8.93m
投写距離（最小）	1.05m	2.85m	3.56m	4.28m	5.36m	7.15m	10.74m

スクリーンサイズ（幅×高さ）m 16:9 アスペクト	30 型	80 型	100 型	120 型	150 型	200 型	300 型
	0.66×0.37	1.77×1.00	2.21×1.25	2.66×1.49	3.32×1.87	4.43×2.49	6.64×3.74
投写距離（最大）	0.90m	2.43m	3.04m	3.66m	4.58m	6.11m	9.18m
投写距離（最小）	1.08m	2.92m	3.66m	4.40m	5.51m	7.35m	11.03m

■ LV-WX370

スクリーンサイズ（幅×高さ）m 16:10 アスペクト	30 型	80 型	100 型	120 型	150 型	200 型	300 型
	0.65×0.40	1.72×1.08	2.15×1.35	2.59×1.62	3.23×2.02	4.31×2.69	6.46×4.04
投写距離（最大）	0.94m	2.55m	3.20m	3.84m	4.81m	6.42m	9.65m
投写距離（最小）	1.14m	3.07m	3.85m	4.62m	5.79m	7.72m	11.60m

スクリーンサイズ（幅×高さ）m 16:9 アスペクト	30 型	80 型	100 型	120 型	150 型	200 型	300 型
	0.66×0.37	1.77×1.00	2.21×1.25	2.66×1.49	3.32×1.87	4.43×2.49	6.64×3.74
投写距離（最大）	0.97m	2.63m	3.29m	3.95m	4.95m	6.60m	9.92m
投写距離（最小）	1.17m	3.16m	3.96m	4.75m	5.95m	7.94m	11.92m

■ LV-X350

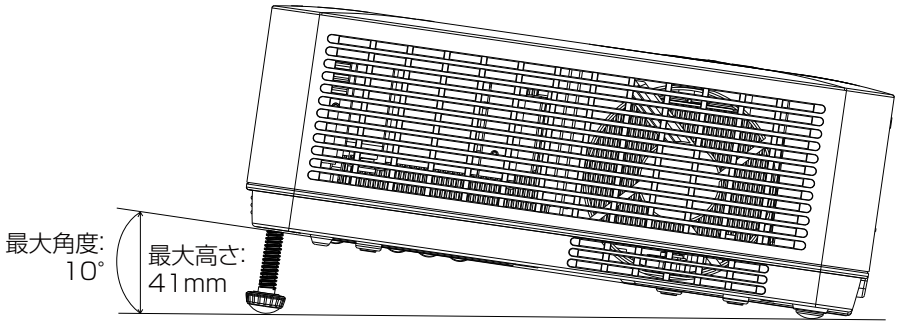
スクリーンサイズ（幅×高さ）m 4:3 アスペクト	30 型	80 型	100 型	120 型	150 型	200 型	300 型
	0.61×0.46	1.63×1.22	2.03×1.52	2.44×1.83	3.05×2.29	4.08×3.05	6.10×4.57
投写距離（最大）	0.89m	2.41m	3.02m	3.63m	4.54m	6.06m	9.10m
投写距離（最小）	1.07m	2.90m	3.63m	4.36m	5.46m	7.28m	10.94m

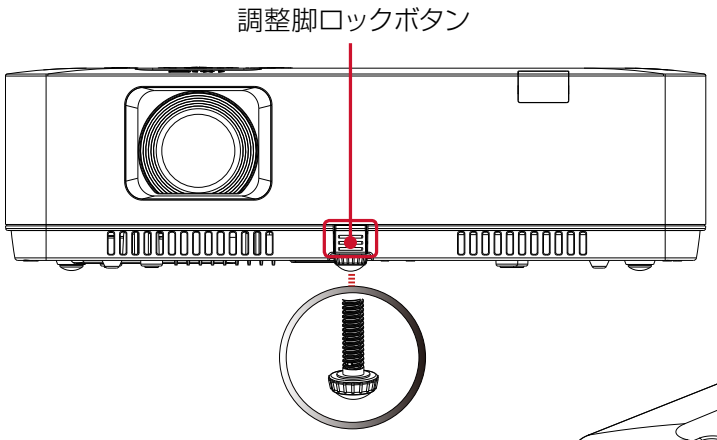
スクリーンサイズ（幅×高さ）m 16:9 アスペクト	30 型	80 型	100 型	120 型	150 型	200 型	300 型
	0.66×0.37	1.77×1.00	2.21×1.25	2.66×1.49	3.32×1.87	4.43×2.49	6.64×3.74
投写距離（最大）	0.97m	2.63m	3.29m	3.95m	4.95m	6.60m	9.92m
投写距離（最小）	1.17m	3.16m	3.96m	4.75m	5.95m	7.94m	11.92m

投写映像を調整する

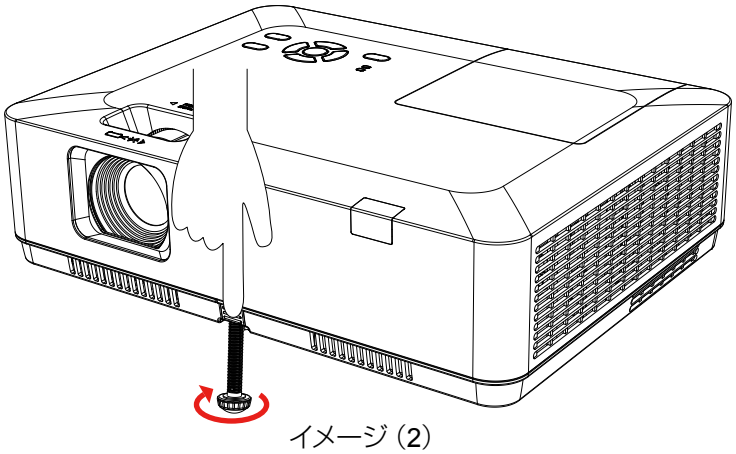
投写映像の位置を調整します。

1. 本機をスクリーンに対して垂直になるように設置します。本体前方を持ち上げてから、調整脚ロックボタンを指で押して調整脚を伸ばし、指を離して調整脚をロックします。
2. 調整脚をまわして投写画面の高さと傾きを微調整します。最大約10°（最大高さ41mm）まで上がります。





イメージ (1)



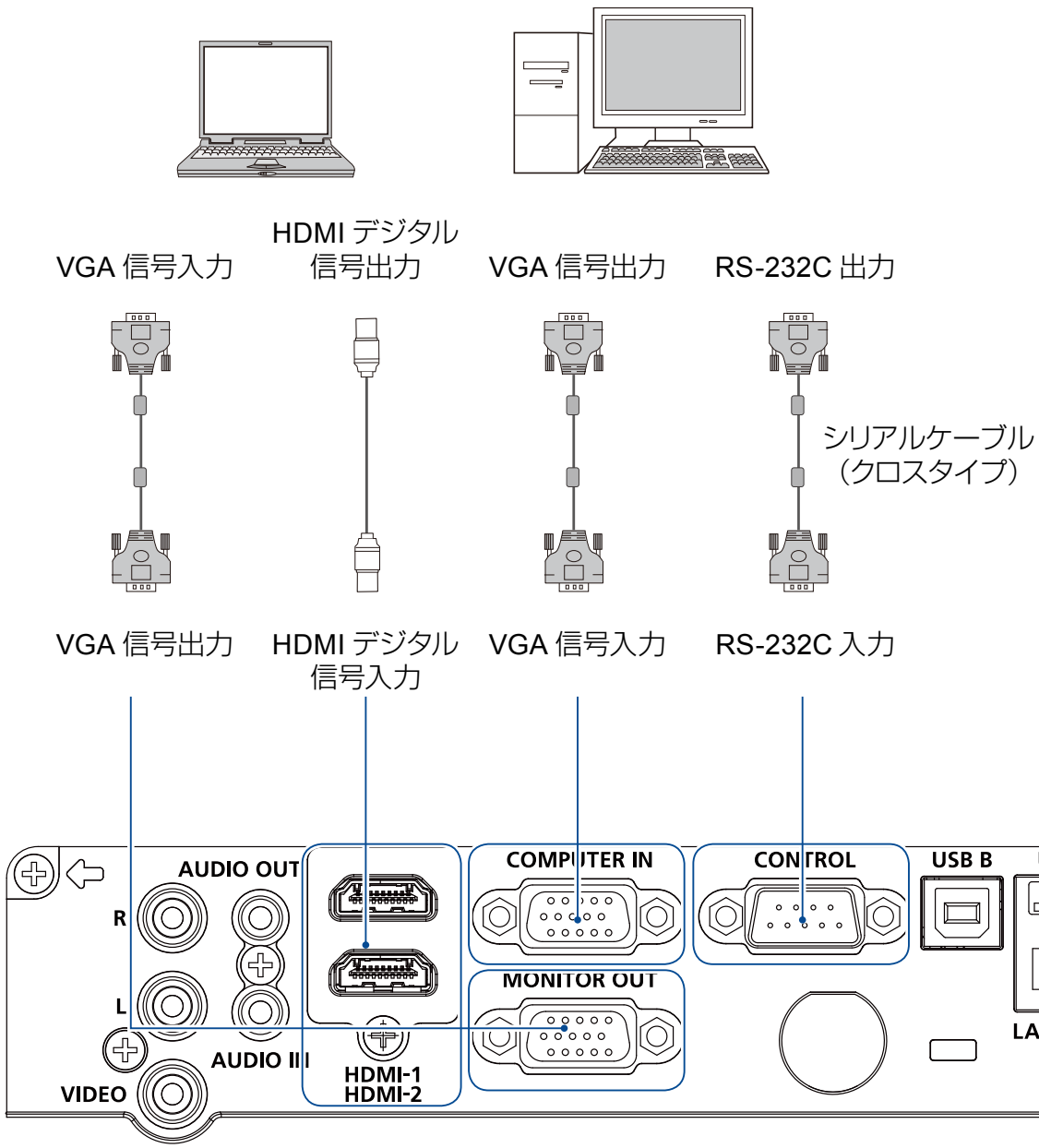
イメージ (2)

コンピューターと接続する（デジタル入力 / アナログ RGB）

接続に使用するケーブル：

- コンピューターケーブル
- シリアルケーブル（クロスタイプ）*
- HDMI ケーブル*

（*：市販のケーブルをお使いください。）

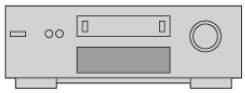


接続するときは、本機と外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

ビデオ機器と接続する

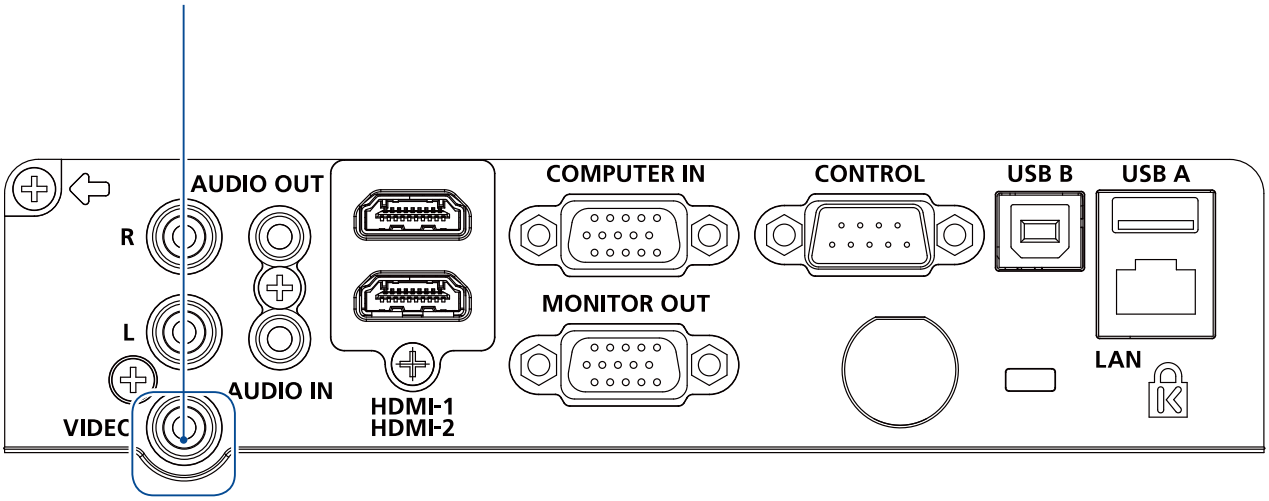
接続に使用するケーブル:
- ビデオケーブル*

(*:市販のケーブルをお使いください。)



ビデオ出力信号

ビデオ入力信号



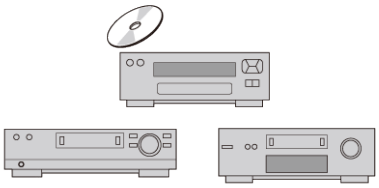
接続するときは、本機と外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

オーディオ機器と接続する

接続に使用するケーブル:
- オーディオケーブル*

(*:市販のケーブルをお使いください。)

外部オーディオ機器

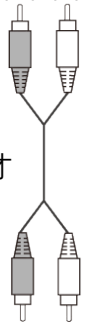


オーディオ出力

オーディオ入力

オーディオ出力

(R) (L)



オーディオケーブル

注意:

L(モノラル)端子のみ接続されている場合、L/R チャンネルの音声に変換されます。

(R) (L)

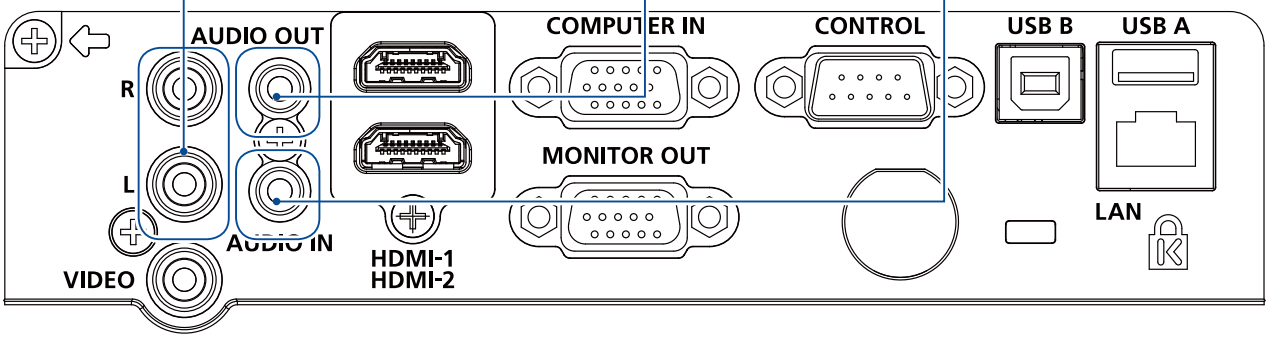
オーディオ入力

オーディオケーブル(ステレオ)

オーディオ出力

オーディオケーブル(ステレオ)

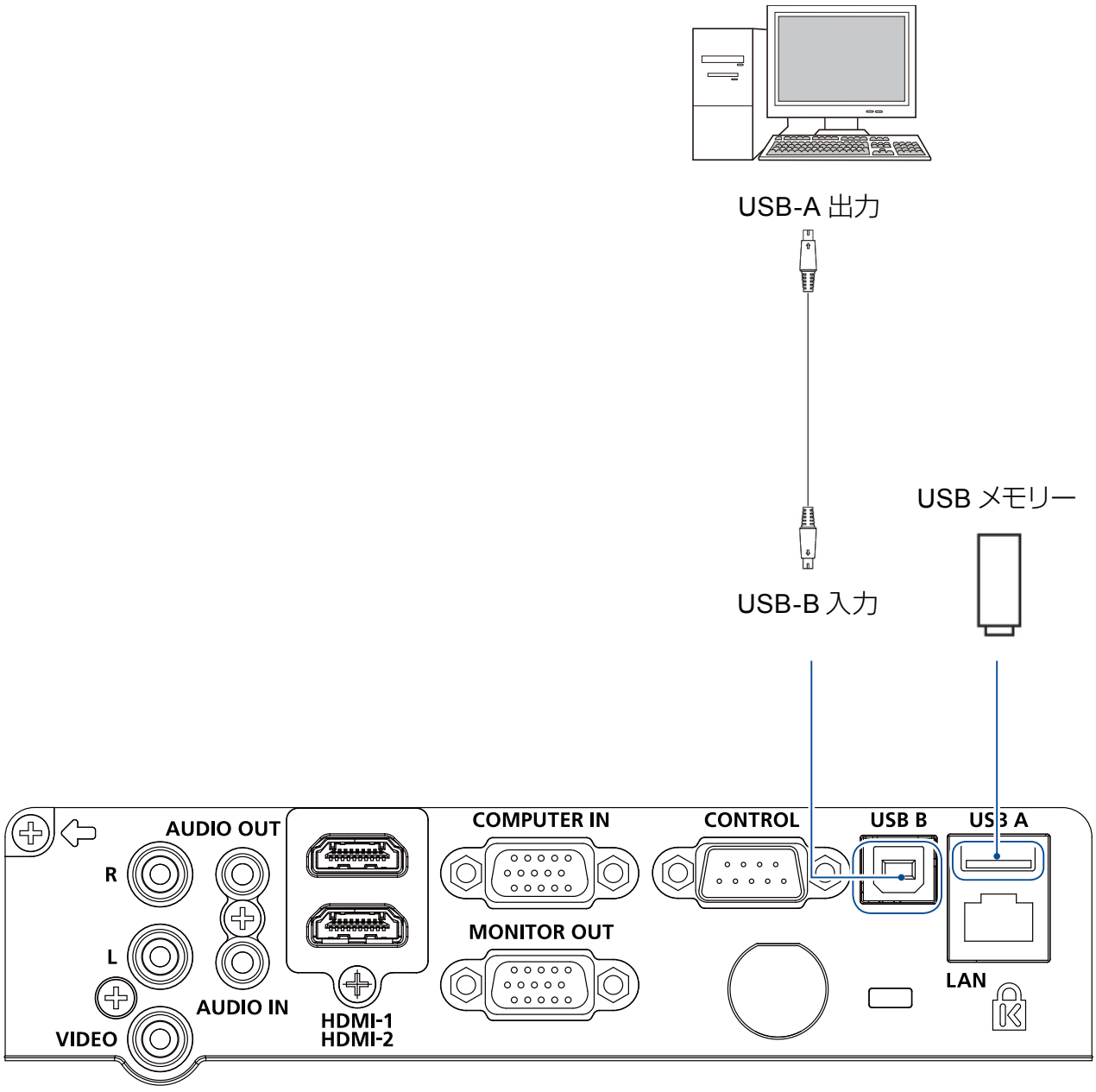
オーディオ入力



接続するときは、本機と外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

USB 機器を接続する

接続に使用するケーブル：
● USB-Aケーブル、または、USB-Bケーブル*
(*：市販のケーブルをお使いください。)



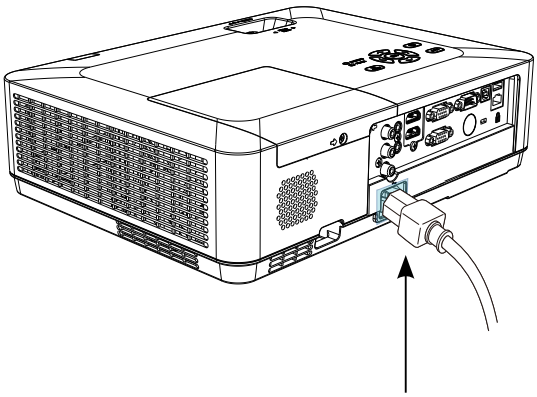
接続するときは、本機と外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

電源コードを接続する

本機で使用される標準電圧はAC100ですが、 異なる入力電圧に自動的に対応します。電源コードは、ケーブル付きの単相電源コードを使用しています。他のタイプの電源コードは使用しないでください。感電の原因になります。本機の電源を入れる前に、あらかじめすべての外部機器を接続してください。

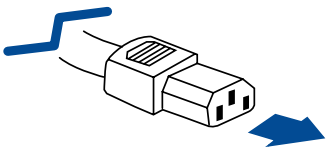
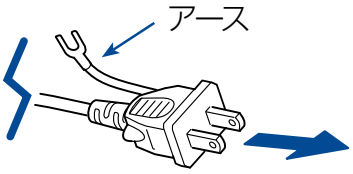
注意：
電源コードをすぐに抜き差しできるようコンセントは本機の近くに置いてください。

✓ **注意：**
プロジェクターを使用していないときは電源コードを抜いてください。電源が接続されているとスタンバイモードとなり、少量の電力が消費されます。



付属の電源コードをプロジェクターに接続します。

電源コードに関する注意事項
電源コードは、本機を使用する国/地域の規制に適合している必要があります。
電源プラグの種類が下記の通りであることを確認してください。

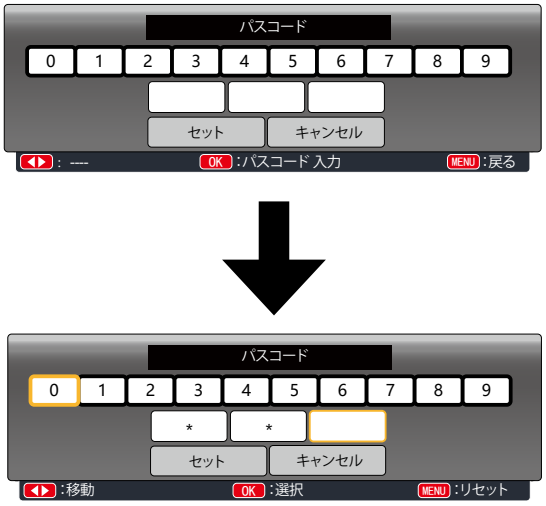
プロジェクター側	コンセントに接続する
 プロジェクターの電源コードコネクタに接続します。	 コンセントに接続します。

✓ **注意：**
付属以外の電源コードを使用すると、製品の性能が低下したり、感電、火災などの事故を引き起こす可能性があります。製品の性能と安全性を維持するため、付属の電源コードを使用してください。

電源を入れる

1. 電源を入れる前に、すべての外部機器を接続します。
2. 電源コードをコンセントに接続します。
   [POWER]インジケーターが赤く点灯します。
3. 本体操作部またはリモコンの[POWER]ボタンを押します。[POWER]インジケーターが緑色に点灯し、冷却ファンが作動します。
4. パスコードで保護されている場合は、パスコードダイアログボックスが表示されます。以下の指示に従ってパスコードを入力してください。

> ✓ **注意：**
> - ロゴ選択機能がOFFに設定されている場合、起動画面は表示されません。
> - 起動画面が表示されているあいだ、電源を切る以外の操作はできません。



パスコードを入力する

1. [▲/▼]ボタンを押して数字を選択し、[▶]ボタンを押して入力し、カーソルを移動します。入力した数字は“*”と表示されます。入力した数字を編集するには、[◀]ボタンを押して変更する数字にカーソルを移動し、[▲/▼]ボタンを押して正しい数字を選択します。
2. この手順を繰り返し、3桁の数字を入力します。
   3桁の数字を入力したら、カーソルを[SET]に移動し、[OK]ボタンを押します。
3. パスコードが無効な場合、赤色で"＊＊＊"と表示されます。有効な数字を入力してください。

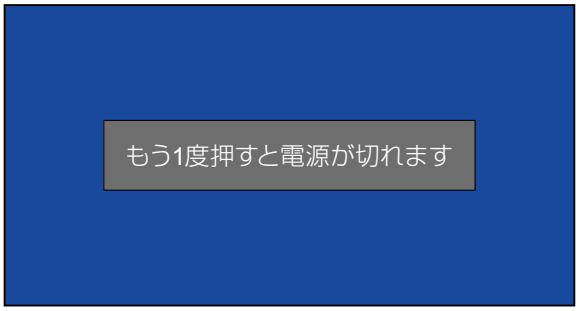
カーソルを[SET]に移動し、[OK]ボタンを押します。

パスコードは3桁の数字です。パスコードの設定方法について詳しくは、セットアップメニューのパスコードロック機能を参照してください。

パスコード操作に関する注意事項
パスコードが設定されたプロジェクターを操作するには、正しくパスコードを入力する必要があります。新しいパスコードを設定し、操作マニュアルを安全な場所に保管してください。パスコード忘れた場合は、パスコードの強制解除（P64）を参照してください。

電源を切る

1. 本体操作部またはリモコンの[POWER]ボタンを押します。「もう1度押すと電源が切れます」メッセージが表示されます。
2. メッセージが表示された後、4秒以内にもう一度[POWER]ボタンを押します。冷却ファンが動作し続けている間は、[POWER]インジケーターが赤く点滅します。冷却ファンが停止するまでに電源コードを抜かないでください。プロジェクターの寿命が短くなったり、故障や動作異常の原因となることがあります。
3. 内部の冷却が終わり、再度電源を投入する準備ができたら、[POWER]インジケーターが点滅から点灯に変わります。



「もう1度押すと電源が切れます」というメッセージが 4 秒間表示されます。

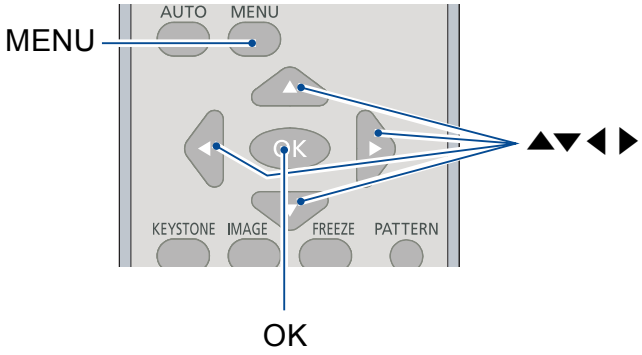
✓ **注意：**
ランプの寿命を長持ちさせるため、約5分以上点灯させてから電源を切ってください。
電源を切らずに使用し続けないでください。ランプの寿命を縮める可能性があります。電源は24時間に1回以上切り、1時間アイドル状態にしてください。

✓ **注意：**
- ダイレクトパワーオン機能が[入]に設定されている場合、電源コードをコンセントに接続すると電源が入ります。（52ページ参照）
- 冷却ファンの回転数は、内部の温度によって異なります。
- 本体が十分に冷えてから、ケースなどに入れてください。
- [Warning]インジケーターが点滅または赤く点灯した場合は、「[WARNING]インジケーター」を参照してください。（94ページ参照）
- ランプを冷却している間は[POWER]インジケーターが点滅します。このときは電源を入れないでください。 [POWER]インジケーターが赤色に点灯しているときのみ、電源を入れてください。
- 冷却ファンが停止してから電源コードを抜いてください。

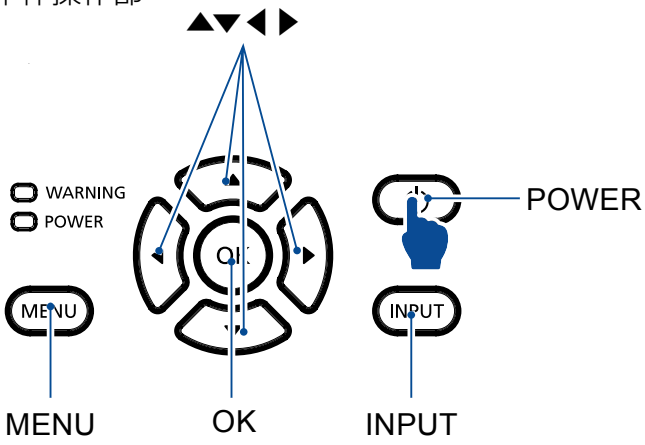
OSD メニューの操作方法

OSDメニューで本機の調整または設定することができます。
OSDメニューは多層構造になっています。 各メインメニューはいくつかのサブメニューで構成されています。各サブメニューは複数のサブメニューで構成されます。
調整と設定の手順については、各項目の説明を参照してください。

リモコン

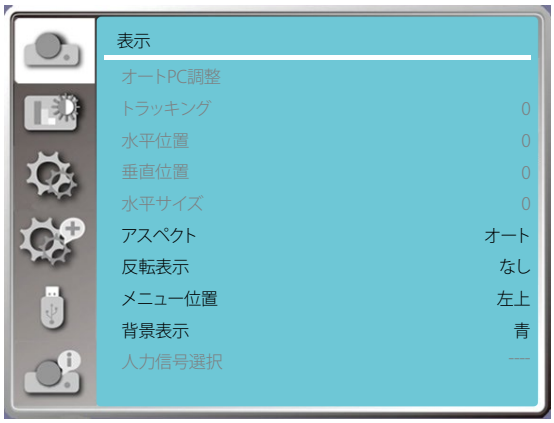


本体操作部

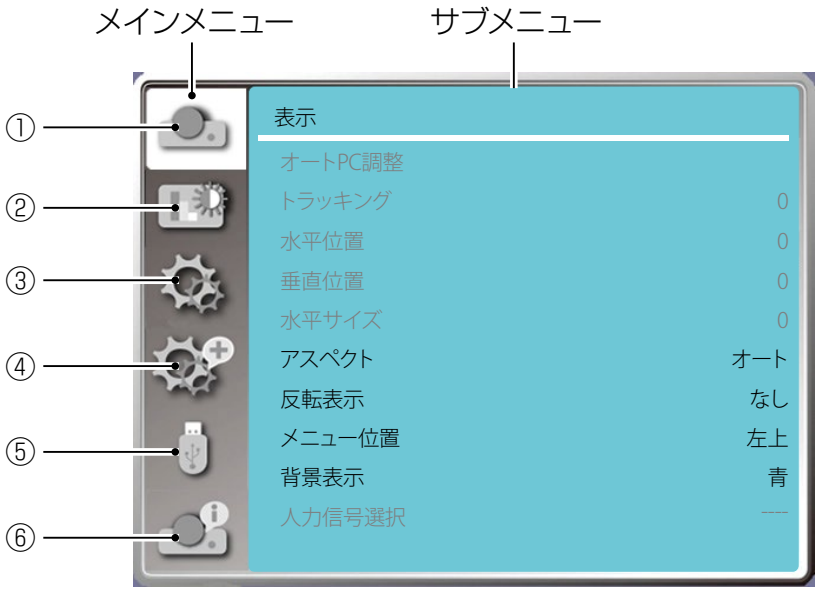


1. 本体操作部またはリモコンの[MENU]ボタンを押し、OSDメニューを表示します。
2. [▲/▼]ボタンを押して、メインメニューの項目を選択します。[▶]ボタンまたは[OK]ボタンを押すと、サブメニューに切り替わります。
3. [▲/▼]ボタンを押してサブメニューを選択し、[OK]ボタンまたは[▶]ボタンを押してオプションの設定または入力をします。
4. [▲/▼]ボタンを押して設定内容を選択するか、[OK]ボタンを押して終了します。
5. [◀]ボタンを押してメインメニューに戻ります。リモコンまたは本体操作部の[MENU]ボタンを押して、OSDメニューを終了します。

OSDメニュー



メニュー項目の概要



① 表示メニュー

- VGAフォーマットと一致するようにパラメータを調整するには、オートPC 調整、トラッキング、水平位置、垂直位置を選択します。
- アスペクト　：オート、16：9、拡張（アナログ入力）、フルを選択します。
- 反転表示　：なし、オート天吊 リア、オート天吊、リア 天吊、天吊、リアを選択します。
- メニュー位置　：OSDメニューの表示位置を設定します。
- 背景表示　：投写映像の背景色を設定します。
- 入力信号選択：入力ソースで互換性のあるシステム信号形式を選択します。

② 色調整メニュー

イメージモード選択メニューで使用できるオプションは、スタンダード、プレゼンテーション、ユーザー設定、カラーボード、黒板、シネマです。

- INPUTがビデオで利用可能な色調整オプション　：コントラスト、明るさ、色の濃さ、色合い、赤、緑、青およびシャープネス
- その他のINPUTで利用可能な色調整オプション　：コントラスト、明るさ、色温度、赤、緑、青およびシャープネス

③ 設定メニュー

ダイレクトパワーオン、スタンバイモード、高地モード、ランプモード、クーリングモード、クローズドキャプション、キーロック、アイリス、サウンド、HDMI 設定。プロジェクターの基本機能の操作を設定します。

④ 拡張設定メニュー

使用可能な調整オプションは、言語、オートセットアップ、キーストーン、ロゴ、セキュリティー、パワーマネージメント、フィルターカウンター、テストパターン、ネットワーク、工場出荷時設定、ランプカウンターです。

⑤ メモリービューワーメニュー

スライド開始、表示効果、表示順、回転、フィット、リピート、適用のパラメーターを選択します。

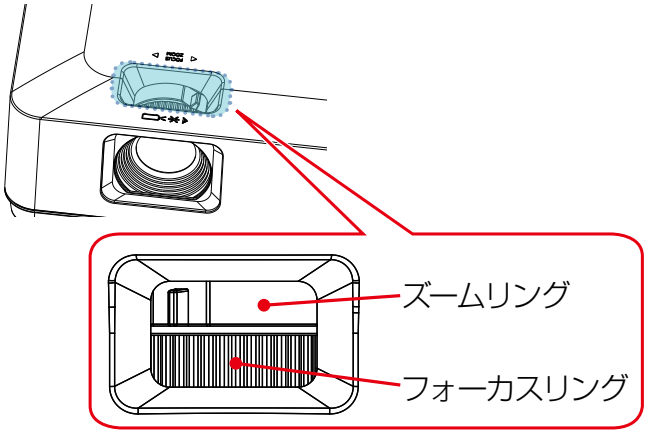
⑥ インフォメーションメニュー

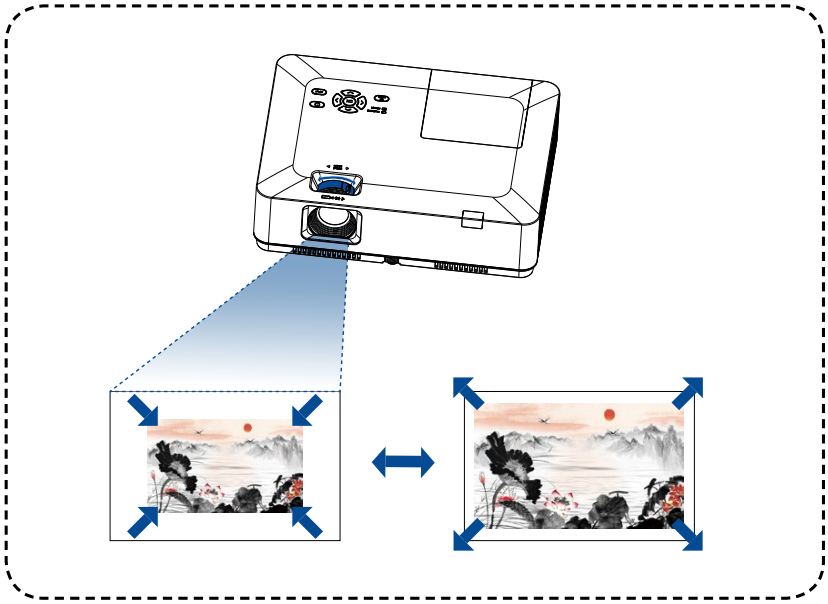
本機の状態に関する情報を表示します。

ズームとフォーカスを調整する

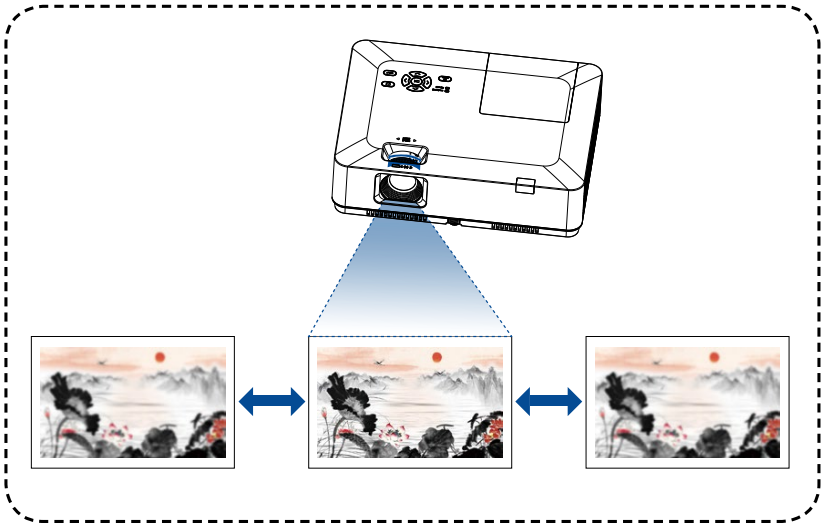
ズーム
画面の大きさを変更します。

フォーカス
画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。





プロジェクターのズームを調整する

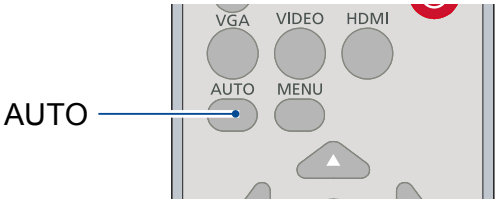


プロジェクターのフォーカスを調整する

オートセットアップ

リモコンの[AUTO]ボタンを押すと、拡張設定メニューのオートセットアップ（入力サーチ、オートPC調整、オートキーストーン）を実行します。

リモコン

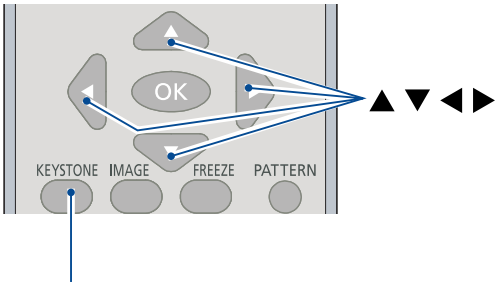


キーストーン

以下の手順で、投写映像の台形ひずみを調整します。

1. リモコンの[KEYSTONE]ボタンを押します。キーストーンのダイアログボックスが表示されます（H/Vキーストーン、4点キーストーン補正、湾曲補正、値のリセットを含む）。
2. 方向ボタンを押して台形ひずみを調整します。キーストーン調整の設定は保存されます。
3. [OK]ボタンを押すと[H/Vキーストーン]→[4点キーストーン補正]→[湾曲補正]へと順次切り替わります。

リモコン



H/Vキーストーン ..... 投写映像の上下、または左右方向の長さ（ひずみ）を個別に調整します。

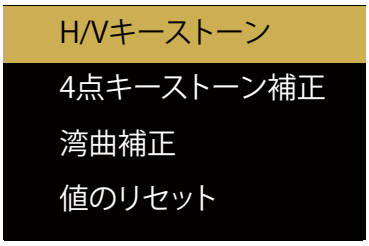
4点キーストーン補正 ..... 投写映像の四隅の位置をそれぞれ調整します。

湾曲補正 ..... 投写映像の左右端、もしくは上下端の湾曲を調整します。

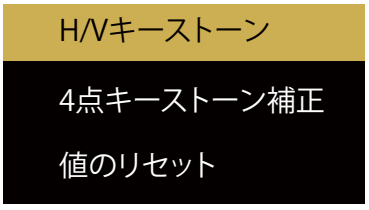
値のリセット ..... 設定した補正値を工場出荷時の状態にリセットします。

H/V キーストーン補正

- キーストーン補正を行っていない場合、矢印は白で表示されます。
- 調整値が入っている状態ではその方向を示す矢印が赤色に変わります。
- 調整量が最大値になると、矢印が消えます。
- H/Vキーストーン補正画面が表示されているときに[KEYSTONE]ボタンをもう一度押すと、補正画面が消えます。 キーストーンダイアログボックスが表示されているときに[OK]ボタンを押すと、4点キーストーン補正画面に切り替わります。
- 調整可能な範囲は、入力信号によります。



LV-WX370/LV-X350



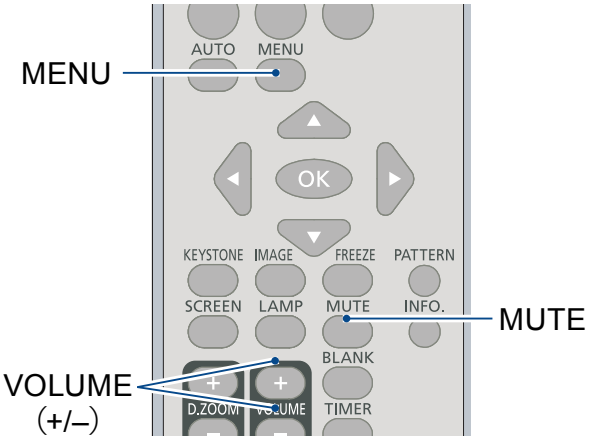
LV-WU360

音量調整

VOLUME
リモコンの[VOLUME] (+/–) ボタンで音量を調節します。

MUTE
リモコンの[MUTE]ボタンを押すと、一時的に音声が消えます。もう一度[MUTE]ボタンを押すか、[VOLUME] (+/–) ボタンを押すと解除され、音声が再生されます。

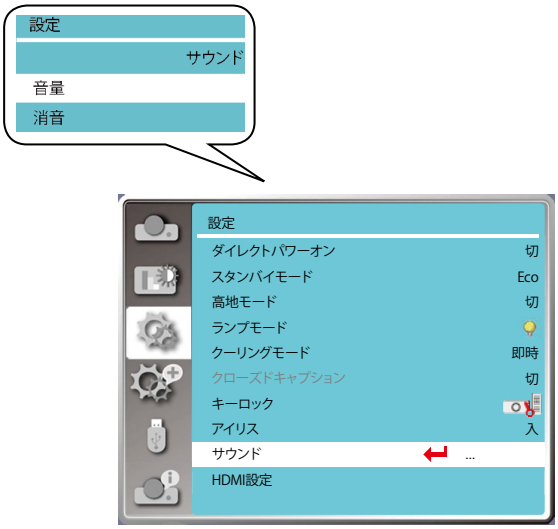
リモコン



サウンドメニューで音量を調整する

1. 本体操作部またはリモコンの[MENU]ボタンを押し、OSDメニューを表示します。
   [▲/▼]ボタンを押して設定メニューを選択し、[OK] ボタンまたは [▶] ボタンを押します。
2. [▲/▼]ボタンを押して[サウンド]を選択し、[OK]ボタンまたは[▶]ボタン押して確定します。
3. [▲/▼]ボタンを押して、[音量]または[消音]を選択します。
   音量.....[▲] ボタンを押すと音量が上がります。[▼] ボタンを押すと音量が下がります。
   消音.....[▲ / ▼] ボタンを押して、[入] または [切] を切り替えます。
4. [OK]ボタンを押して確定します。

サウンドメニュー



リモコン操作

FREEZE
[FREEZE]ボタンを押すと、画像が一時停止し、音声が消えます。
フリーズアイコンが画面に表示されます。再度[FREEZE]ボタンを押すか、任意のボタンを押すとフリーズ機能がキャンセルされ、映像の再生と音声が再開されます。

MUTE
[MUTE]ボタンを押すと音声が消えます。再度[MUTE]ボタンを押すか[VOLUME] (+/–) ボタンを押すとミュート機能が解除されます。

VOLUME +/–
音量を増減します。

IMAGE
[IMAGE]ボタンを押し、イメージモードを選択します。

LAMP
[LAMP]ボタンを押すと画面の明るさが変わります。

- ノーマル ..... 通常の明るさ。
- エコ..... ランプ輝度を低減します。ランプ電力を下げることで、目安となるランプの交換時間を延ばします。

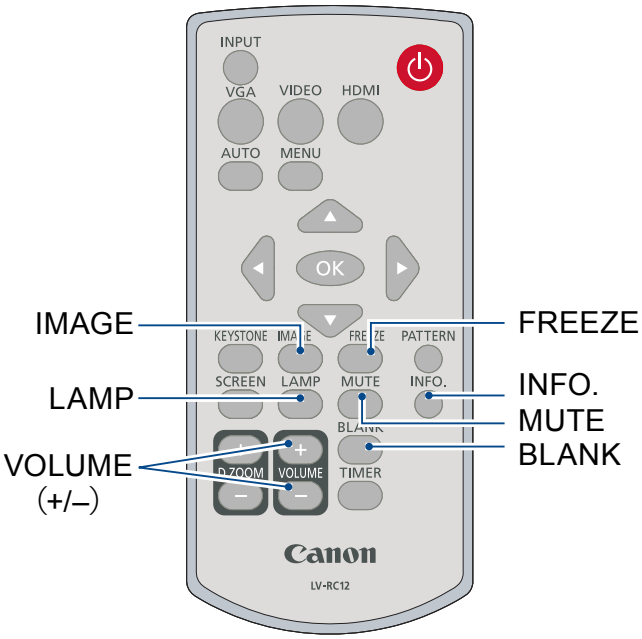
INFO.
投写している画像の情報と本機の動作状態を表示します。

BLANK
[BLANK]ボタンを押すとブランク画面を表示し、映像と音声を消すことができます。再度[BLANK]ボタン、または他のボタンを押すと元に戻ります。
[BLANK]ボタンを押すと、映像が次のように切り替わります：

ブランク → 通常 → ブランク → 通常 →...

✓ **注意：**
他のボタンについては、次のページを参照してください。

リモコン



TIMER

[TIMER]ボタンを押すと、タイマーアニメーション（00:00）が右下に表示され、（00：00～59：59）の形式で時間が計測されます。
もう一度[TIMER]ボタンを押すと計測を止め、再度[TIMER]ボタンを押すとカウントがリセットされます。

タイマー表示

D.ZOOM (+)

[D.ZOOM +]ボタンを押すと、デジタルズームモードになります。
OSDメニューが消えると、画面にデジタルズームの情報が表示されます。
*入力信号がVGA、RGBHV、または画面サイズが標準、ワイドに設定されているときに調整できます。

D.ZOOM (–)

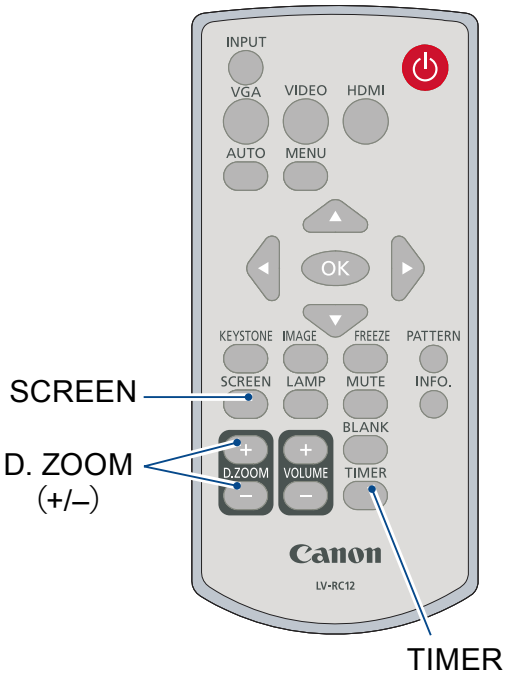
[D.ZOOM –]ボタンを押すと、デジタルズームモードになります。
OSDメニューが消えると、画面にデジタルズームの情報が表示されます。

デジタルズームの調整中に他のボタンを押すと、デジタルズームモードが終了します。

SCREEN

[SCREEN]ボタンを押し、必要なアスペクトを選択します。

リモコン

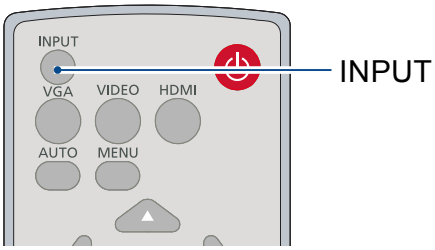


入力選択

基本操作

本体操作部またはリモコンの[INPUT]ボタンを押し、コンピューター、ビデオ、HDMI-1、HDMI-2、メモリービューワー、ネットワーク、USBディスプレイから投写する映像機器が接続されている映像機器の入力信号を選択します。
また、リモコンの[VGA]、[HDMI]、[VIDEO]ボタンを押すと、コンピューター、HDMI-1、HDMI-2、ビデオの入力信号を選択することもできます。

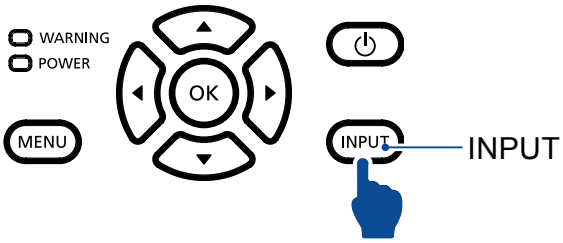
リモコン



メニュー操作

1. [INPUT]ボタンを押すと、入力メニューが表示されます。
2. [▲/▼]ボタンを押して、コンピューター、ビデオ、HDMI-1、HDMI-2、メモリービューワー、ネットワーク、USBディスプレイのいずれかを選択し、[OK]ボタンを押して入力ソースを確定します。

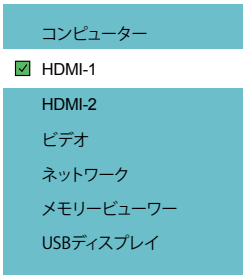
本体操作部



コンピューター

コンピューターがコンピューター入力端子に接続されている場合に選択します。

入力メニュー



HDMI-1

映像機器がHDMI-1端子に接続されている場合に選択します。

HDMI-2

映像機器がHDMI-2端子に接続されている場合に選択します。

ビデオ

映像機器が映像入力端子に接続されている場合に選択します。

ネットワーク

本機がネットワークに接続されている場合に選択します。

メモリービューワー

USBメモリーが、デバイスがUSB A端子に接続されている場合に選択します。

USB ディスプレイ

USBケーブルを使用してコンピューターがUSB B端子に接続されている場合に選択します。

✓ **注意：**

- オートセットアップオプションの入力信号検索機能が[入]に設定されているときに[AUTO]ボタンを押すと、入力信号を自動的に検索できます。入力信号が[USB ディスプレイ]、[メモリービューワー]、[ネットワーク]のときは、入力信号検索機能は無効となります。
- 入力信号が[USB ディスプレイ]、[メモリービューワー]、[ネットワーク]の時、以下の機能は無効となります。
  フリーズ、アスペクト、オートセットアップ、テストパターン、デジタルズーム
- メモリービューワーの機能の詳細については、69-71ページ、89-91ページを参照してください。
- USBディスプレイ機能の詳細については、92ページを参照してください。

オート PC 調整

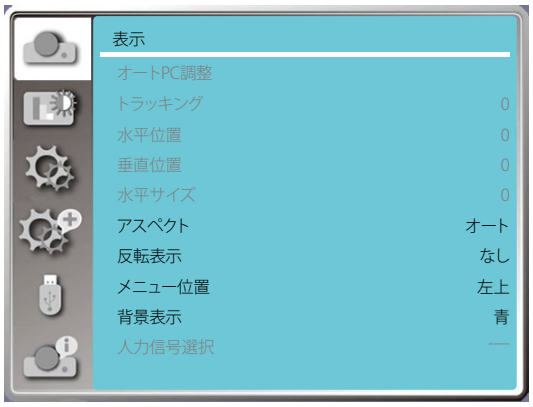
オートPC調整機能を使用すると、トラッキング、水平位置、垂直位置、水平サイズを自動で調整する機能です。

メニューの操作

オートPC調整

1) リモコンまたは本体操作部の[MENU]ボタンを押して、OSDメニューを表示します。
2) [▲/▼]ボタンを押して表示メニューを選択し、[OK]ボタンまたは[▶]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して、[オートPC調整]メニューを選択します。
4) [OK]ボタンを押します。

オートPC調整メニュー



トラッキング

(PC信号入力時のみ)
トラッキング (同期) がずれて画面のちらつきがあるときに調整します。

1) [▲/▼]ボタンを押して[トラッキング]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して、トラッキングを調整します。
   調整範囲は 0 ～ +31 です。ズレやちらつきが最小になるように調整してください。

水平位置

(PC信号入力時のみ)
画面の水平方向の位置を調整します。

1) [▲/▼]ボタンを押して[水平位置]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して、画像の水平位置を調整します。
   調整範囲は -5 ～ +5 です。

✓ **注意：**

- 入力信号が初めて入力されると自動的にオートPC調整機能を実行します。
- ご使用のコンピューターが入力信号と互換性がない場合、オートPC調整機能が動作しないことがあります。
- HDMI入力の場合は、オートPC調整機能が動作しません。
- 入力信号選択メニューで以下の信号フォーマットが選択されていると、オートPC調整機能が動作しないことがあります。
  720 x 480i、720 x 576i、
  720 x 480p、720 x 576p、
  1280 x 720p、1920 x 1080i、
  1920 x 1080p

表示

垂直位置

（PC信号入力時のみ）
画面の垂直方向の位置を調整します。

1) [▲/▼]ボタンを押して[垂直位置]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して、画像の垂直位置を調整します。
   調整範囲は -5 ～ +5 です。

水平サイズ

（PC信号入力時のみ）
縦縞のパターンによって引き起こされる干渉を調整して減らすことができます。以下の投写パターンでは、円形パターン（ノイズ）が発生する場合があります。干渉の量を最小に調整します。 ユーザーはクロックをポイントして画像を調整できます。

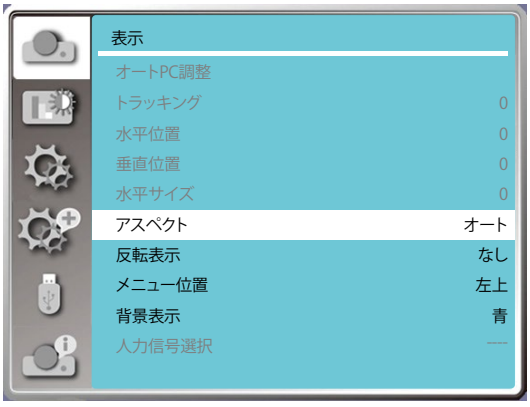
1) [▲/▼]ボタンを押して[水平サイズ]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して、画像の水平サイズのレベルを調整します。
   調整範囲は -15 ～ +15 です。

アスペクト

入力信号のアスペクト比を変えずに、画面サイズに合わせて映像を調整します。
リモコンまたは本体操作部の[MENU]ボタンを押して、OSDメニューを表示します。
[▲/▼]ボタンを押して[表示]メニューを選択し、[OK]ボタンまたは[▶]ボタンを押します。

1) [▲/▼]ボタンを押して[アスペクト]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して、必要な項目を選択します。

アスペクトメニュー



オート ..... 入力信号のアスペクト比を保ったまま、表示できる最大の大きさで表示します。
16:9..... アスペクト比、横16 : 縦9 のワイド画面で投写します。
フル..... フルスクリーンサイズで投写します。
・コンピューター信号入力時のみ

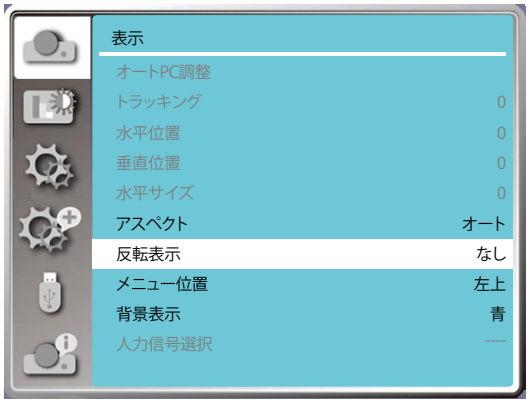
拡張 ..... アスペクトを以下の項目で手動設定します。
水平ドット数 ... 画像を設定値分だけ垂直に分割します。調整範囲はワイドスクリーンで1～5です。
垂直ドット数 ... 画像を設定値分だけ水平に分割します。調整範囲はワイドスクリーンで1～5です。
水平位置 ..... プロジェクターを水平にします。調整範囲は1からHトータルで設定した値です。
垂直位置 ..... プロジェクターを垂直にします。調整範囲は1からVトータルで設定した値です。
・コンピューター信号入力時のみ

反転表示

プロジェクターの設置向きに合わせて画像の投写方法を変更します。
リモコンまたは本体操作部の[MENU]ボタンを押して、OSDメニューを表示します。
[▲/▼]ボタンを押して表示メニューを選択し、[OK]ボタンまたは[▶]ボタンを押します。

1) [▲/▼]ボタンを押して[反転表示]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押すと向きが切り替わります。

反転表示メニュー



なし.....反転表示を行わずにスクリーンの手前から投写するときに選びます。
リア.....スクリーンの裏から投写するときに選びます。
天吊 .....天井から吊り下げ、スクリーンの手前から投写するときに選びます。
リア天吊 .....天井から吊り下げ、スクリーンの裏から投写するときに選びます。
オート天吊 .....天井から吊り下げ、スクリーンの手前から投写するときに選びます。
自動で天吊モードに設定されます。
オート天吊リア.....天井から吊り下げ、スクリーンの裏から投写するときに選びます。
自動で天吊モードに設定されます。

表示

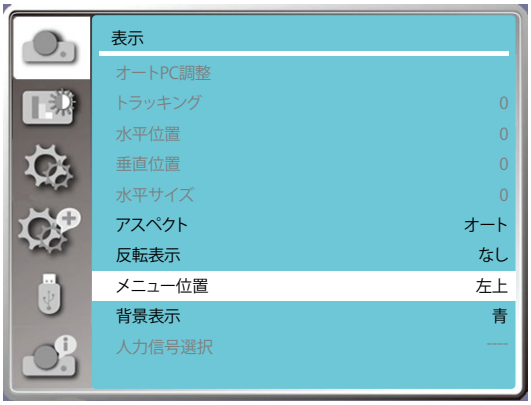
メニュー位置

OSDメニューの表示位置を設定します。
リモコンまたは本体操作部の[MENU]ボタンを押して、OSDメニューを表示します。 [▲/▼]ボタンを押して[表示]メニューを選択し、[OK]ボタンまたは[▶]ボタンを押します。

1) [▲/▼]ボタンを押して[メニュー位置]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押してメニューの位置を変更します。

左上 .....画面の左上隅に表示します。
右上 .....画面の右上隅に表示します。
センター.....画面の中央に表示します。
左下 .....画面の左下隅に表示します。
右下 .....画面の右下隅に表示します。

メニュー位置メニュー



背景表示

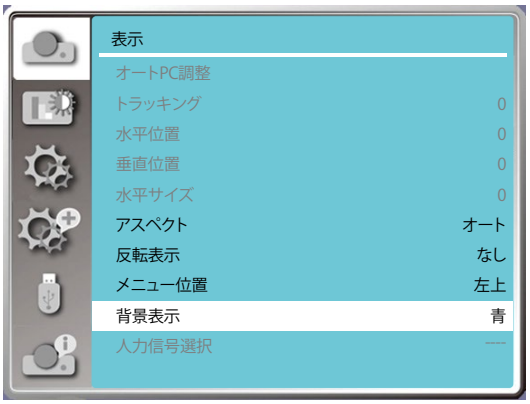
背景色を調整します。
リモコンまたは本体操作部の[MENU]ボタンを押して、OSDメニューを表示します。 [▲/▼]ボタンを押して[表示]メニューを選択し、[OK]ボタンまたは[▶]ボタンを押します。

1) [▲/▼]ボタンを押して[背景表示]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して、必要な項目を選択します。

青.....投写領域全体を青色で表示します。
黒.....投写領域全体を黒色で表示します。

✓**注意：**
入力信号が[USBディスプレイ]、[メモリービューワー]、[ネットワーク]のときは、無効になります。

背景表示メニュー



入力信号選択

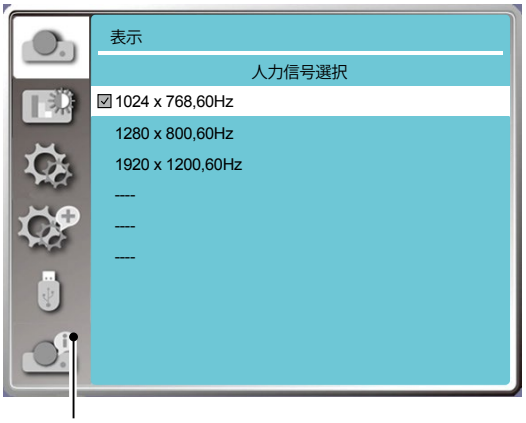
コンピューター入力

コンピューターを入力信号としている場合、自動的に信号フォーマットを検出し、セットアップ操作をしなくても正しく映像を投写することができます。

次のいずれかが表示されます。

Auto	オートPC調整機能は、必要な調整を行い正しく投写できるように調整します。正しく投写されない場合は、手動で調整してください。
-----	[コンピューター]信号が検出されませんでした。コンピューターとの接続を確認してください。

入力信号選択メニュー



選択した入力信号が入力信号選択メニューに表示されます。

✓ **注意：**
オートPC調整機能によって生成されたデータを保存することがあります。

入力信号選択を手動で選択する

1) リモコンの[MENU]ボタンを押し、OSDメニューを表示します。[◀/▶]ボタンを押して入力アイコンを選択し、[▲/▼]ボタンまたは[OK]ボタンを押します。[入力]メニューが表示されます。
2) [▲/▼]ボタンを押して[入力信号選択]を選択し、[OK]ボタンを押します。

✓ **注意：**
入力信号が[HDMI-1]、[HDMI-2]、[メモリービューワー]、[ネットワーク]、[USBディスプレイ]の場合、コンピュータシステムメニューは無効になります。

表示

ビデオ入力

入力信号の解像度をコンピューターに合わせます。
ビデオ入力信号カラーシステムまたはコンポーネント入力信号スキャンモードを設定します。

1) [▲/▼]ボタンを押して[システム]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して、希望するシステムを選択します。

入力信号選択メニュー

ビデオ入力時の入力信号選択メニュー

コンピューター入力信号

1024x768 60HZなど、互換性のある入力信号名を表示します。

AUTO：接続されているコンピューターに互換性のある入力信号がない場合、コンピューターは自動的に実行するように調整でき、システムにAUTO表示されます。映像が正しく投写されない場合は、コンピューターの入力信号に合わせて調整してください。

----：　コンピューターから信号が入力されていません。接続を確認してください。

ビデオ入力信号

AUTO：プロジェクターが入力信号のカラーシステムを自動的に選択するときは、[PAL-M]または[PAL-N]を手動で設定します。

[PAL]/[SECAM]/[NTSC]/[NTSC4.43]/[PAL-M]/[PAL-N]/[PAL60]：

[AUTO]でプロジェクターが正しく映像を表示できない場合は、信号フォーマットを手動で設定してください。

イメージモード

画像モードを設定し、投写映像の画質を調整します。

直接操作

リモコンの[IMAGE]ボタンを押して、画像モードを選択します。

メニュー操作

リモコンまたは本体操作部の[MENU]ボタンを押してOSDメニューを表示します。[▲/▼]ボタンを押して[色調整]メニューを選択し、[OK]ボタンまたは[▶]ボタンを押します。

1) [▲/▼]ボタンを押して[イメージモード]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して、希望する項目を選択します。

<u>スタンダード</u>
プロジェクターのデフォルトのモードです。自然な色合いになります。

<u>プレゼンテーション</u>
明るい部屋で文字を中心とした映像に適しています。

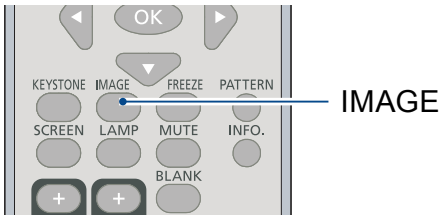
<u>ユーザー設定</u>
色調整をカスタマイズできます。

<u>カラーボード</u>
赤、青、黄、緑の壁面に投写するのに適しています。[OK]ボタンを押して[カラーボード]メニューに入り、[▲/▼]ボタンを押して赤、青、黄または緑を選択し、[OK]ボタンを押します。

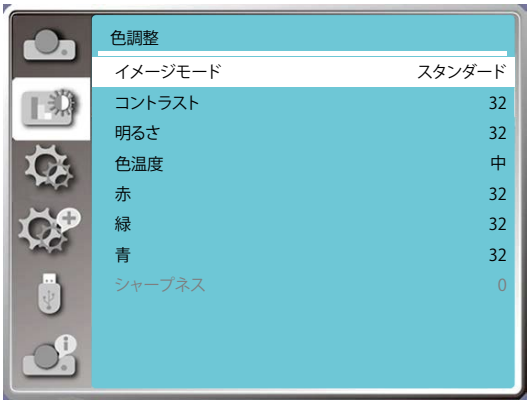
<u>黒板</u>
黒板（濃緑色）に投写するのに適しています。黒板に投写される映像の質を向上させます（緑色）。本モードでは、黒ではなく緑色のボード用に設計されています。

<u>シネマ</u>
映画を見るのに適した豊かなグレースケールです。

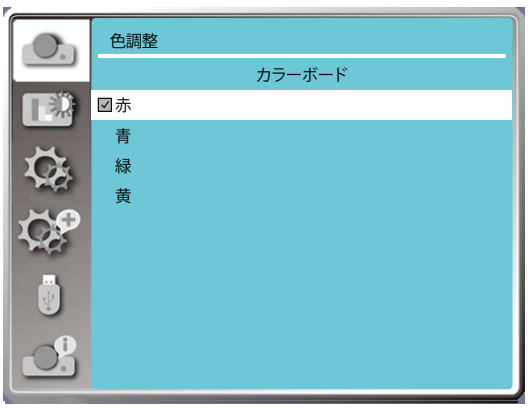
リモコン



イメージモード（PC 用）



カラーボード



色調整

リモコンまたは本体操作部の[MENU]ボタンを押して、OSDメニューを表示します。[▲/▼]ボタンを押して[色調整]メニューを選択し、[OK]ボタンまたは[▶]ボタンを押します。

1) [▲/▼]ボタンを押して必要な項目を選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して設定値を調整します。

コントラスト

コントラストを下げるには、[▼]ボタンを押します。調整範囲は0～+63 (-63) です。
[▲]ボタンを押すと、コントラストを0～+63の範囲で増加します。

明るさ

[▼]ボタンを押して明るさを下げます。調整範囲は0～+ 63 (-63) です。
[▲]ボタンを押して明るさを上げます。範囲は0～+ 63です。

色温度 (入力信号がコンピューター系の場合)

[▲/▼]ボタンを押して、必要な色温度 (高、中、低) を選択します。
高：青味がかります。
中：適切な自然色。
低：赤味がかります。

色の濃さ (入力信号がビデオ系の場合)

[▼]ボタンを押すと彩度が下がり、[▲]ボタンを押すと彩度が上がります。

色合い (入力信号がビデオ系の場合)

[▲/▼]ボタンを押して、必要な色合いを選択します。

赤

[▼]ボタンを押すと赤の色合いが減少し、[▲]ボタンを押すと赤の色合いが増加します。

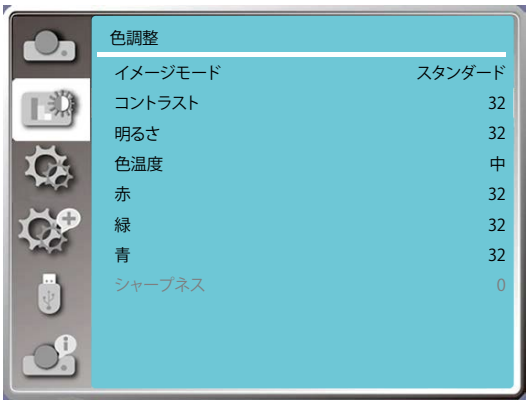
緑

[▼]ボタンを押すと緑の色合いが減少し、[▲]ボタンを押すと緑の色合いが増加します。

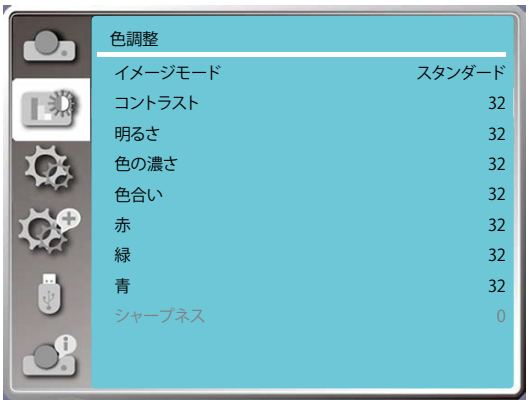
青

[▼]ボタンを押すと青の色合いが減少し、[▲]ボタンを押すと青の色合いが増加します。

色調整 (コンピューター用)



色調整 (ビデオ入力)



シャープネス

[▼]ボタンを押してイメージを柔らかくし、[▲]ボタンを
押してシャープにします。調整範囲は0～+ 15です。

設定

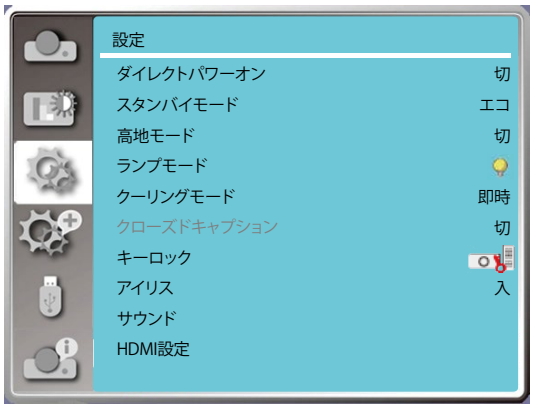
[設定]メニューで各種機能の設定をします。

メニュー操作

リモコンまたは本体操作部の[MENU]ボタンを押して、OSDメニューを表示します。
[▲/▼]ボタンを押して[設定]メニューを選択し、[OK]ボタンまたは[▶]ボタンを押します。

1) [▲/▼]ボタンを押して、必要な項目を選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押してオプションを設定します。

設定メニュー



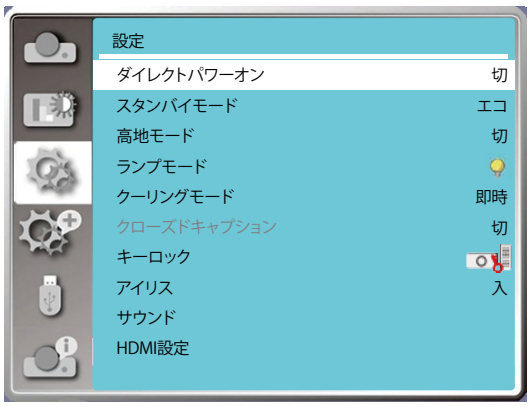
ダイレクトパワーオン

[POWER]ボタンを押さずに電源コードの接続だけで電源が入るように設定できます。

1) [▲/▼]ボタンを押して[ダイレクトパワーオン]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して、必要な項目を選択します。

切.....電源を入れるために【POWER】ボタンの操作が必要です。
入.....電源コードの接続だけで電源が入ります。

ダイレクトパワーオン



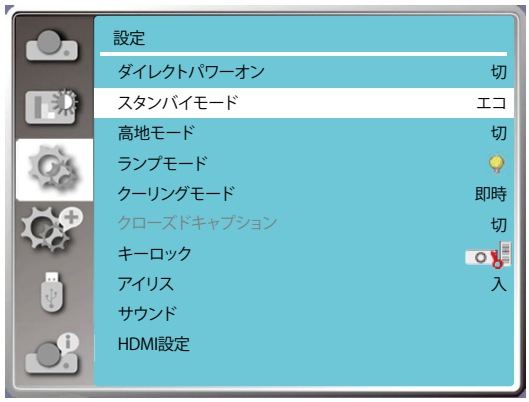
スタンバイモード

スタンバイ状態時にネットワーク機能の一部を停止し、消費電力を削減する設定です。

1) [▲/▼]ボタンを押して[スタンバイモード]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押してレベルを調整します。

ノーマル.....ネットワーク機能やシリアル通信機能に制約はありません。
Wake On Lan...スタンバイモードで消費電力を低減します。ネットワーク機能が無効になりますが、Wake On Lanではプロジェクターの電源を入れることができます。
POWER ONコマンド以外のRS-232Cシリアル通信は使用できません。
エコ .....RS-232Cシリアル通信のみ使用できます。

スタンバイモード



高地モード

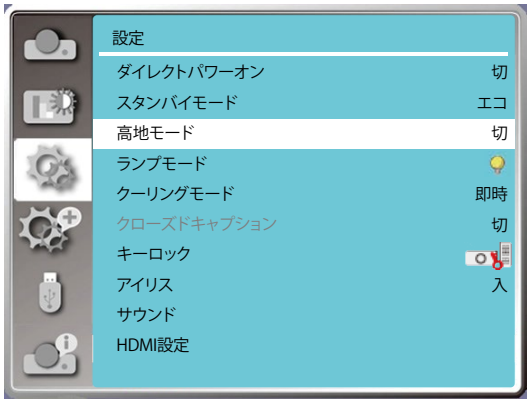
プロジェクターの設置場所（高地での使用）などによって、冷却ファンの回転動作を切り換えます。

1) [▲/▼]ボタンを押して[高地モード]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して、必要なメニューを選択します。

切..... 通常の回転速度です。
入..... 海抜約1,400 m～2,700 mの場所で使用するときに設定します。

✓ **注意：**
海抜約1,400m～2,700mで操作するときは、高地モードを[入]に設定してください。

高地モード



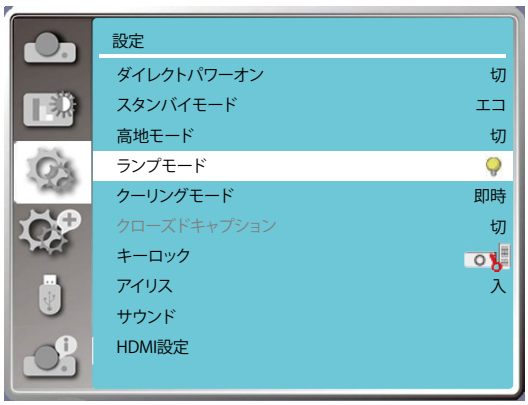
ランプモード

ランプの明るさを「ノーマル」、「エコ」の2段階で切り換え･選択することができます。

1) [▲/▼]ボタンを押して[ランプモード]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して、必要なメニューを切り替えます。

ノーマル ..... 通常の明るさで投写します。
エコ..... ランプ輝度を低減します。ランプ電力を下げることで、目安となるランプの交換時間を延ばします。

ランプモード



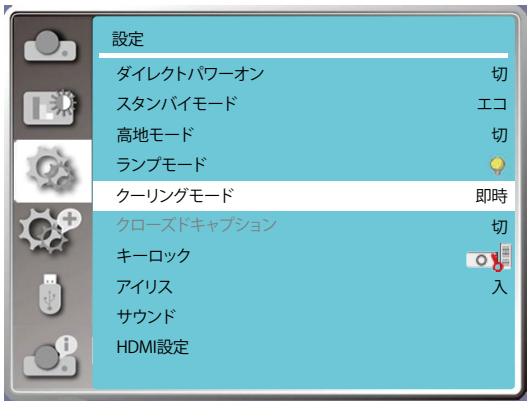
クーリングモード

プロジェクターの電源を切った後の冷却時間を設定します。

1) [▲/▼]ボタンを押して、[クーリングモード]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して、切り替えます。

ノーマル .... 標準の駆動モードで実行します。
即時 .....シャットダウン後すぐに電源コードを抜くことができます。
60秒 ..... ノーマルモードよりも短時間で動作しますが、動作音は大きくなります。

クーリングモード



✓ **注意：**
- [即時]を選択すると、電源を切った後にプロジェクターを再起動するまでの時間が通常より長くなります。
- ランプが高温になると冷えるまでに時間がかかることがあります。

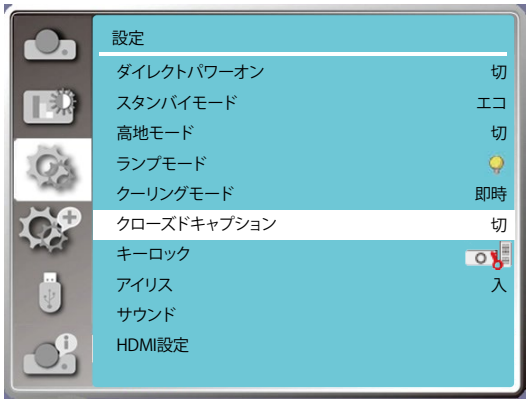
クローズドキャプション

プログラム音やその他の情報を投写画面に表示するための機能です。クローズドキャプションの入力信号のチャンネルを切り替えることもえきます。

1) [▲/▼]ボタンを押して、[クローズドキャプション]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して、必要なメニューを切り替えます。

オフ .... クローズドキャプションを表示しません。
CC1 .... CC1のデータを表示します。
CC2 .... CC2データを表示します。
CC3 .... CC3データを表示します。
CC4 .... CC4データを表示します。

クローズドキャプション



✓ **注意：**
- 本機能が無効な場合は、アイコンはグレーアウト表示されます。
- OSDメニューとタイマーが表示されているときは無効です。

キーロック

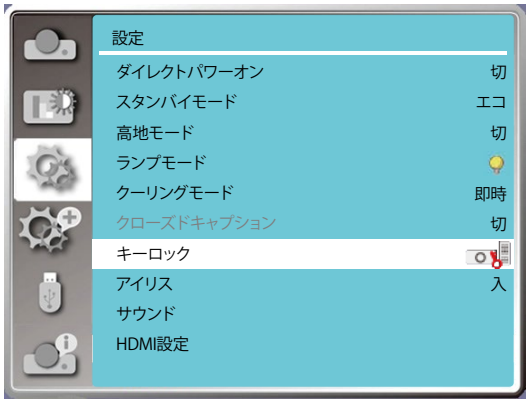
本体操作部またはリモコンの操作ボタンをロックしてプロジェクターが誤って操作されることを防いだり、ロックを解除したりします。

1) [▲/▼]ボタンを押して[キーロック]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して、必要なメニューを切り替えます。

オフ ..... 本体操作部またはリモコンの操作ボタンは有効です。
プロジェクター ... 本体操作部の操作ボタンは無効です。
リモコン ..... リモコンの操作ボタンは無効です。

✓ **注意：**
本体操作部をロックした状態で、リモコンがない、またはリモコンに問題がある場合は、販売店にご連絡ください。

キーロック

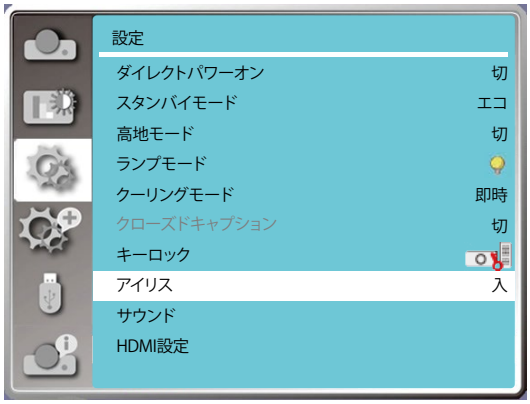


アイリス

アイリスを[入]にすると映像信号に応じて減光します。

1) [▲/▼]ボタンを押して[アイリス]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して選択肢を選びます。

アイリス



設定

サウンド

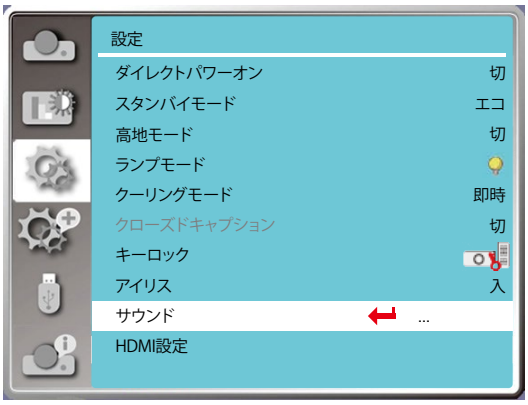
音量を調整します。

1) [▲/▼]ボタンを押して[サウンド]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して、必要なメニューを切り替えます。

音量 .....[▼]ボタンを押して音量を上げ、0～+ 25の範囲で音量を上げます。[▲]ボタンを押して音量を下げます。範囲は0～+ 25です。

消音 .....ミュート機能の入/切を切り替えます。
入：音声が消えます。
切：再び音声が流れます。

サウンド

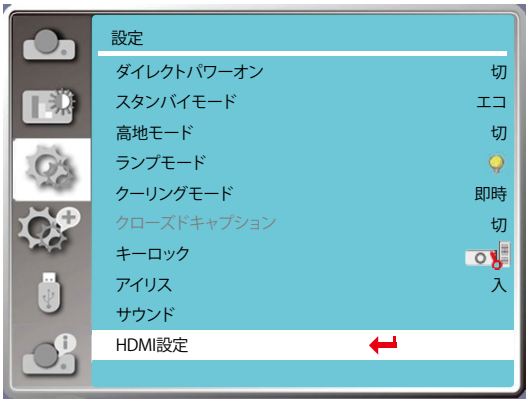


HDMI 設定

HDMI端子に接続された外部機器からの映像が正常に投写されない場合、画像または音声の調整をします。
リモコンまたは本体操作部の[MENU]ボタンを押して、OSDメニューを表示します。[▲/▼]ボタンを押して[設定]メニューを選択し、[OK]ボタンまたは[▶]ボタンを押してサブメニューに入ります。

1) [▲/▼]ボタンを押して[HDMI設定]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
   - [HDMI設定]メニューが表示されます。
3) [▲/▼]ボタンを押して、[入力範囲]または[サウンド]を選択します。
4) [OK]ボタンを押します。

HDMI 設定



✓ **注意：**
HDMIオプションは、[HDMI-1]および[HDMI-2]端子のみ選択できます。

入力範囲

オート	信号レベルを自動的に設定します。
標準	入力レベルを 16 ～ 235 の制限付きで入力します。
拡張	入力レベルを 0 ～ 255 でフル入力します。

✓ **注意：**
- プロジェクターの最良の設定は、お使いの外部出力機器とわずかに異なる場合があります。
- 外部出力については、外部機器の使用説明書を参照してください。

サウンド

Audio 端子	AUDIO 入力端子に接続している外部機器の音声を入力します。
HDMI	HDMI 入力端子に接続している外部機器の音声を入力します。

EQ 設定

Mode 1-4	HDMI 入力端子に接続している映像機器に応じて HDMI 受信レベルを変更します。映像にノイズが入ったり、映らないときは、設定を変更してください。

拡張設定

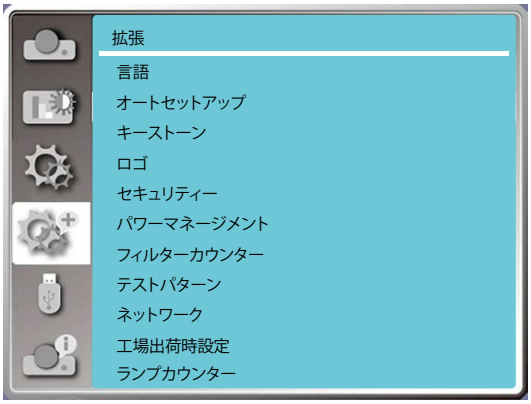
[拡張設定]メニューで、以下のような機能を選択することができます。

メニュー操作

リモコンまたは本体操作部の[MENU]ボタンを押して、OSDメニューを表示します。
[▲/▼]ボタンを押して拡張設定メニューを選択し、[OK]ボタンまたは[▶]ボタンを押します。

1) [▲/▼]ボタンを押して、必要な項目を選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押してオプションを設定します。
4) [OK]ボタンを押します。

拡張設定メニュー



言語

メニューに表示する言語を選びます。

1) [▲/▼]ボタンを押して[言語]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して、必要な言語を選択します。
4) [OK]ボタンを押します。

メニュー名、設定、OSD、ボタンなどは、選択した言語で表示できます。

以下の言語を選択できます。
英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポーランド語、スウェーデン語、オランダ語、ポルトガル語、日本語、簡体字中国語、繁体字中国語、韓国語、ロシア語、アラビア語、トルコ語、フィンランド語、ノルウェー語、デンマーク語、インドネシア語、ハンガリー語、チェコ語、カザフスタン語、ベトナム語、タイ語、ペルシア語。

言語

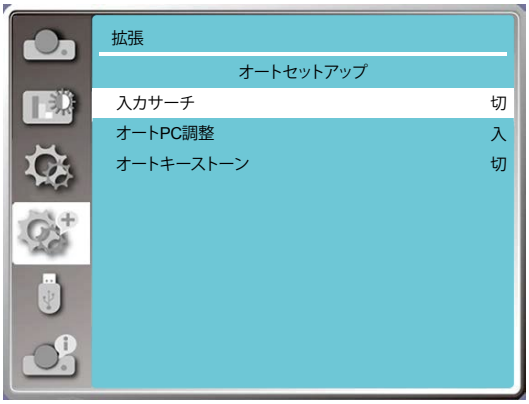
オートセットアップ

リモコンの[AUTO]ボタンを押すと、以下の機能が実行されます。
入力サーチ、オートPC調整、オートキーストーン

1) [▲/▼]ボタンを押して、[オートセットアップ]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して、必要な項目を選択します。

入力サーチ.....入力信号が検出され、映像が自動的に投写されます。
オートPC調整 .....アナログ信号を入力したとき、[トラッキング]、[水平位置]、[垂直位置]、[水平サイズ]を自動的に調整します。
オートキーストーン...投写映像の縦方向のひずみを自動的に補正します。

オートセットアップ



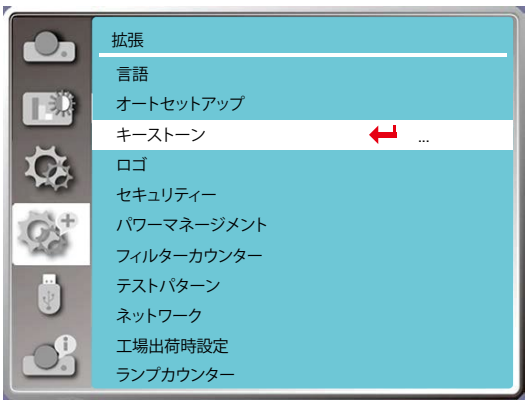
✓ **注意：**
- [入力サーチ]、[オートPC調整]、[オートキーストーン]のいずれかを少なくともオンに設定する必要があります。
- [オートキーストーン]を選択しても映像が正しく投写されないときは、手動で調整してください。
- プロジェクターの反転表示を[天吊]または[リア天吊]に設定した場合は、天吊り投写した時にオートキーストーン機能が無効になります。
- プロジェクターの反転表示を[オート天吊]または[オート天吊・リア]に設定した場合は、天吊り投写した時にオートキーストーン機能が無効になります。

キーストーン

リモコンまたは本体操作部の[MENU]ボタンを押し、OSDメニューを表示します。
[▲/▼]ボタンを押して[拡張]メニューを選択し、[OK]ボタンまたは[▶]ボタンを押します。

1) [▲/▼]ボタンを押して[キーストーン]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して必要な項目を選択します。
4) [OK]ボタンを押します。

キーストーン



拡張設定

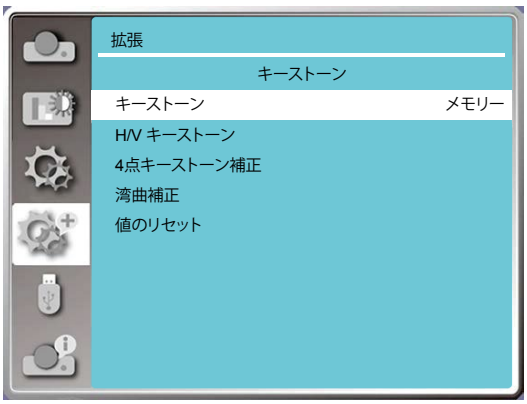
キーストーン

この機能は、オートキーストーンのオプションが[切]に設定されている場合のみ有効です。

メモリー..... 電源を切ったり電源コードを抜いた後でも、キーストーンの設定値が保存されます。

リセット ..... 電源を切ったり電源コードを抜いたりすると、キーストーンの設定値が解除されます。

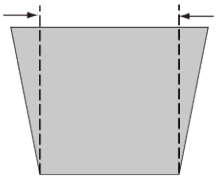
キーストーン



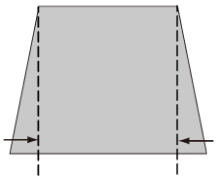
H/Vキーストーン

投写映像を水平または垂直方向に補正します。

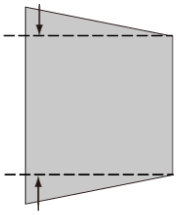
[▲] ボタンを押すと、上部幅が縮小されます。



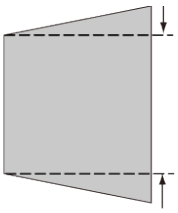
[▼] ボタンを押すと、下部幅が縮小されます。



[◀] ボタンを押すと、左の幅が小さくなります。



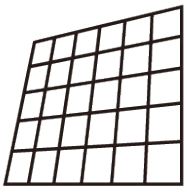
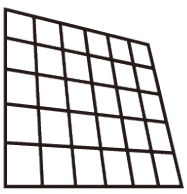
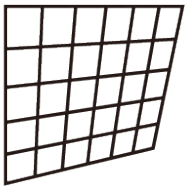
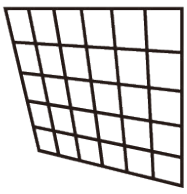
[▶] ボタンを押すと、右の幅が小さくなります。



4点キーストーン補正

画面の四隅の位置を調整してひずみを補正します。

[▲/▼/◀/▶]ボタンを押して、画面の四隅の位置を補正します。四隅の点は、以下の順で選択されます。

4 点キーストーン補正			
左上	右上	右下	左下
			

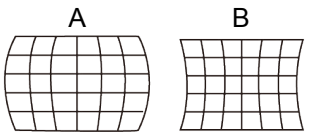
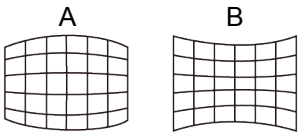
✓ **注意：**

- 白い矢印は修正がないことを示します。
- 赤い矢印はその方向の調整値が入っていることを示します。
- 調整量が最大値になると矢印が消えます。

湾曲補正 (LV-WX370 / LV-X350)

縦線や横線の膨らみやへこみを補正します。

[▲/▼/◀/▶]ボタンを押してオプションを調整します。

項目	操作	調整	
湾曲補正 X/Y ゲイン	▶を押す	B の状態から A の状態に調整する	
	◀を押す	A の状態から B の状態に調整する	
	▲を押す	B の状態から A の状態に調整する	
	▼を押す	A の状態から B の状態に調整する	
湾曲補正 X オフセット	▶を押す	画面の右側のひずみを調整をする	
	◀を押す	画面の左側のひずみを調整をする	
湾曲補正 Y オフセット	▲を押す	画面の上側のひずみを調整をする	
	▼を押す	画面の下側のひずみを調整をする	

✓ **注意：**

- [H/Vキーストーン]の値を調整した後に[4点キーストーン補正]を調整すると、[H/Vキーストーン]の補正値がリセットされます。また、[4点キーストーン補正]と[湾曲補正]についての値を調整した後に[H/Vキーストーン]を調整すると、[4点キーストーン補正]がリセットされます。
- [湾曲補正Xオフセット]と[湾曲補正Yオフセット]は個別に調整することはできません。[湾曲補正X/Yゲイン]を調整した後、[湾曲補正Xオフセット]と[湾曲補正Yオフセット]を調整します。
- リモコンの[KEYSTONE]ボタンを押すと、[キーストーン]メニューが表示されます（[H/Vキーストーン]、[4点キーストーン補正]、[湾曲補正]、リセット値を含む）。[▲/▼]ボタンを押すと、4つのオプションを切り替えられます。
- 最大キーストーンの範囲は垂直方向±30˚、水平方向±15˚ですが、画質が劣化し、ピントが合いにくくなります。 最小補正値で設置してください。
- H/Vキーストーン機能の調整で画面サイズを変更することができます。
- キーストーン調整は映像のアスペクトに影響する場合があります。

値のリセット

調整値を工場出荷時の設定に戻します。

1) [▲/▼/◀/▶]ボタンを押して[値のリセット]を選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
   キーストーンで調整した値がリセットされます。

拡張設定

ロゴ

ロゴ画面、ロゴパスコードロック、電源を入れたときのパスコードの変更、およびデフォルトのロゴ画面の設定を行うことができます。

1) [▲/▼]ボタンを押して[ロゴ]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して必要な項目を選択します。

ロゴ

✓ **注意：**
ロゴのパスコードを新しい番号に変更した場合、番号をメモするなど忘れないようにしてください。新しいパスコードを紛失または忘れた場合、ロゴパスコードを再度変更することはできません。

<u>ロゴ選択</u>
本機の電源を入れたときに表示されるロゴ画面を設定します。
Canon (default)...Canonロゴを表示します。
ユーザー.....キャプチャーしたロゴ画面を表示します。
切.....カウントダウンのロゴ画面を表示します。

<u>キャプチャー（LV-WX370 / LV-X350）</u>
投写中の画像をキャプチャーし、電源を入れた時やプレゼンテーション中に使用できます。
画像をキャプチャーするには、[OK]ボタンを押します。確認ダイアログボックスが表示され、[はい]を選択してキャプチャーします。
画像をキャプチャーした後、「ロゴ選択」を選択し、[ユーザー]に設定します。 次回電源を入れたときにキャプチャーした画像が表示されます。

<u>ロゴパスコードロック</u>
権限のない人がロゴ画面を変更するのを防ぐのに役立ちます。

切.....[ロゴ]メニューで変更することができます。
入.....設定を変更するときにロゴパスコードが必要になります。

ロゴ画面のパスコードをロックするには、[OK]ボタンを押して「ロゴパスコードロック]を選択します。[ロゴパスコード]ポップアップダイアログボックスが表示されます。ロゴ画面のパスコードを入力するには、以下の手順で行います。

- [◀/▶]ボタンで番号を選択し、[OK]ボタンを押して確定します。次の番号を[◀/▶]ボタンで選択します。入力した番号は[*]と表示されます。入力した番号を編集するには、[MENU]ボタンを押して変更したい番号にカーソルを移動し、[▲/▼]ボタンを押して正しい番号を選択します。
- この手順を繰り返して、3桁の数字を入力します。3桁の数字を入力したら、カーソルを[SET]に移動し、[OK]ボタンを押します。
- 入力したロゴパスコードが無効な場合、赤色で[***]と表示されます。有効なパスコードを入力してください。
- 有効なロゴパスコードを入力した後、[◀/▶]ボタンを押してスイッチをオフとオンに切り替えることができます。

ロゴパスコード変更

ロゴパスコードを変更することができます。[OK]ボタンを押して[ロゴパスコード変更]を選択します。[ロゴパスコード]のダイアログボックスが表示されたら、[▲/▼]ボタンを押して有効なロゴパスコードを入力します。[新ロゴパスコード]ダイアログボックスが表示されます。 新しいロゴパスコードを設定し、ダイアログボックス内の内容を確認し、[セット]を選択すると新しいパスコードが設定されます。

新しいパスコードはメモするなどして忘れないようにしてください。

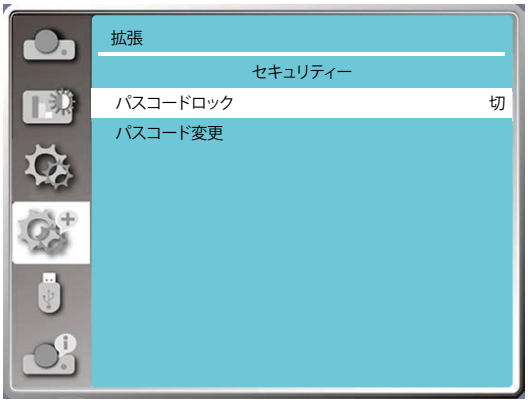
ロゴパスコードを強制解除するには、工場出荷時設定を行ってください。

セキュリティー

本機の操作権限がない人が操作できないように、プロジェクターの機能をロックするパスコードを設定します。 電源を入れたとき、[パスコードの入力]ダイアログボックスが表示されます。

1) [▲/▼]ボタンを押して、[セキュリティー]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して、必要な項目を切り替えます。

セキュリティー



パスコードロック

本機能は、権限のない人がプロジェクターを操作できないようにします。

切.....パスコードでのロックを行いません。

入.....電源がオンのときに[パスコード]画面が表示されます。パスコードロックまたはパスコード（3桁）を変更する場合は、パスコードを入力する必要があります。出荷時のデフォルトパスコードは「111」です。

パスコード変更

- パスコードを変更することができます。[OK]ボタンを押して[パスコード変更]を選択します。[パスコード]のダイアログボックスが表示されたら、[◀/▶]ボタンを押して有効なパスコードを入力し、[セット]を選択すると[新パスコード]ダイアログボックスが表示されます。 新しいパスコードを設定し、ダイアログボックス内の内容を確認し、[セット]を選択すると新しいパスコードが設定されます。
- 入力した番号は[*]と表示されます。入力した番号を編集するには、[MENU]ボタンを押して変更したい番号にカーソルを移動し、[◀/▶]ボタンを押して正しい番号を選択します。
- この手順を繰り返し、3桁の数字を入力します。
- 3桁の数字を入力し、カーソルを[設定]に移動します。[OK]ボタンを押すと、プロジェクターの操作ができます。
- パスコードが無効な場合、赤色で[***]と表示されます。有効なパスコードを入力してください。

新しいパスコードダイアログボックスが表示されます。新しいパスコードを設定し、ダイアログボックスに含まれている内容を確認し、[設定]を選択すると、新しいパスコードが設定されます。

拡張設定

✓ **注意：**
パスコードを新しい番号に変更した場合、メモするなどして忘れないようにしてください。

パスコードを強制解除するには

1) 本体の[POWER]ボタンと[OK]ボタンを同時に押しながら、電源コードを本体に差し込んで、LEDインジケーターが点滅から点灯に変わるまで待つ。
2) [POWER]ボタンを押して点灯すると、パスコード入力画面が表示されるので「111」を入力します。
3) OSDメニューの[セキュリティー]→[パスコード]→[入]を選択します。再度、入力画面が表示されるので、デフォルト値(111)を入力し、パスコードを[切]にするか、新しいパスコードを設定します。

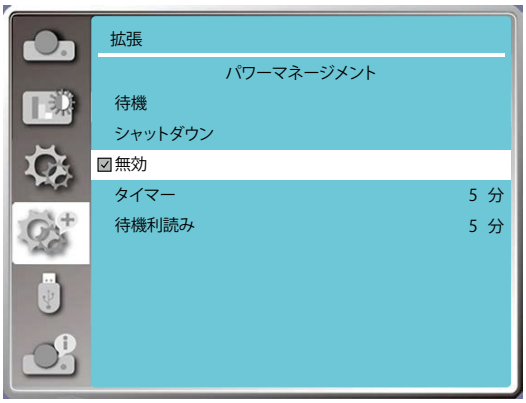
パワーマネージメント

一定期間映像入力信号がない状態（無信号状態）が続くと、自動的に本機をシャットダウンしたり待機状態にする設定を行います。

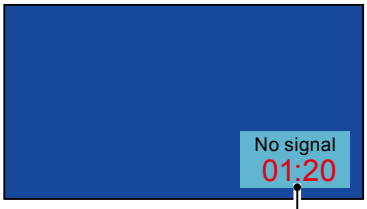
1) [▲/▼]ボタンを押して[パワーマネージメント]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して、必要な項目を切り替えます。

待機 .....ランプを消灯し、ランプが完全に冷却されると、[POWER]インジケーターが緑色に点滅します。[POWER]インジケーターが緑色に点滅します。入力信号を受信したり、本体操作部やリモコンの[POWER]ボタンを除くいずれかのボタンが押されると、ランプは再び点灯します。
シャットダウン...ランプが完全に冷却された後に電源を切ります。
無効 .....パワーマネージメント機能を無効にします。
タイマー.....パワーマネージメント機能が働くまでの時間を設定します。
入力信号が途切れてから30秒間ボタンが押されないと、画面に「入力信号なし」というメッセージと、設定された時間のカウントダウンが表示されます。
[▲/▼/◀/▶]ボタンを押すと、1～30分の範囲で設定できます。

パワーマネージメント



タイマー



電源が切れるまでの残り時間

待機秒読み

- 待機モードからスタンバイ（0～30分）までの間隔を設定します。0分に設定した場合は、自動的にスタンバイモードには切り替わりません。
- [POWER]ボタンを押して、待機モードからスタンバイに変更した後、[POWER]ボタンを押して電源を入れます。

✓ **注意：**
スタンバイの工場出荷時値は「5分」、待機モードのカウントダウン時間の工場出荷時値は「5分」です。

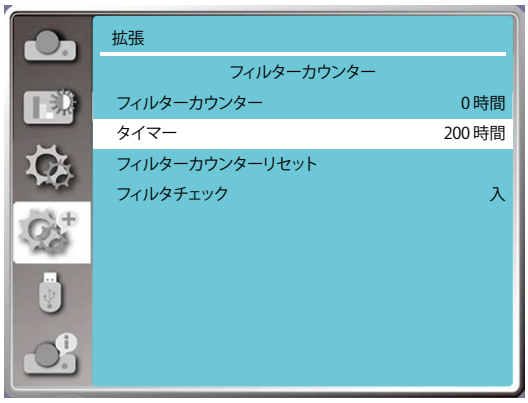
フィルターカウンター

フィルターの設定や使用時間のリセットを行ないます。

1) [▲/▼]ボタンを押して[フィルターカウンター]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して、必要な項目を切り替えます。

フィルターの交換が必要な時間になったとき、フィルター警告アイコンが表示されます。初期状態を選択し、フィルター交換後にタイマーを設定してください。フィルターカウンターをリセットするとフィルター警告アイコンが消えます。

フィルターカウンター



フィルターカウンター....フィルターの使用時間を表示します。

タイマー.....警告アイコンを表示する時間を設定します。

- 切： 警告アイコンを表示しません。
- 300H：300時間経過すると表示します。

フィルターカウンターリセット....フィルターのカウンターをリセットします。

フィルタチェック.....フィルター警告の表示の有無を設定します。

- 入：フィルター警告を表示します。フィルターの詰まりを検知すると、画面に「フィルター警告！フィルターを交換してください！」アイコンが表示されます。
- 切：フィルター警告を表示しません。

✓ **注意：**
「フィルター警告！フィルターを交換してください！」アイコンの表示時間は約30秒間です。表示されている間は、[POWER]ボタンのみ有効になります。

拡張設定

テストパターン

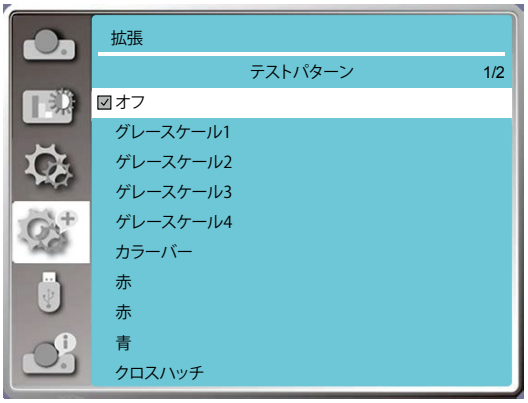
映像信号入力を接続しなくてもテストパターンを投写することができます。

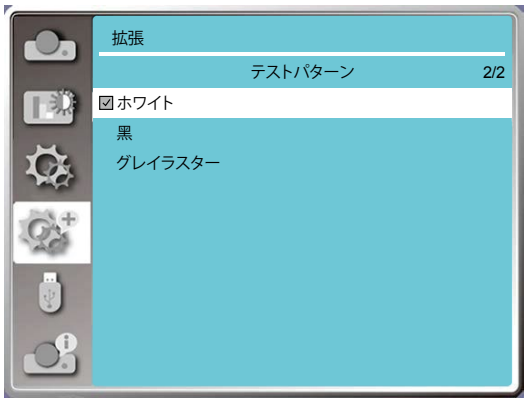
1) [▲/▼]ボタンを押して[テストパターン]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して、必要な項目を選択します。
4) [OK]ボタンを押します。

本機で使用できるテストパターンは、以下の通りです。
グレイスケール1 /グレイスケール2 /グレイスケール3 /グレイスケール4 /カラーバー/赤/緑/青/クロスハッチ/ホワイト/黒/グレイラスター：

OSDメニューを使用してテストパターンを表示します。

テストパターン





ネットワーク

機能：本機（プロジェクター）をネットワークに接続することで、コンピューターからプロジェクターを制御することができます。

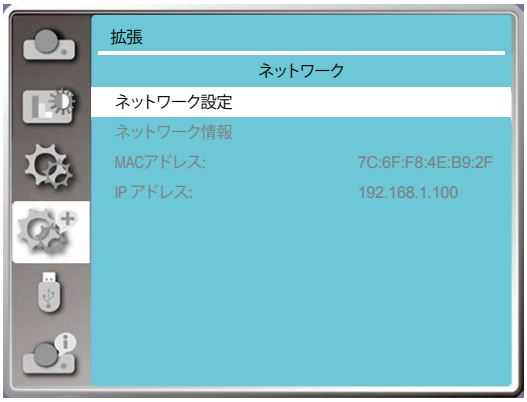
準備

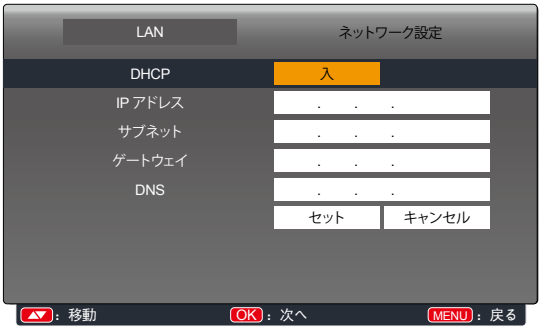
1. 必要な機器：本機（プロジェクター）、コンピューター、ネットワークケーブル
2. 接続：プロジェクターとコンピューターをLANケーブルを使ってネットワーク環境に接続します。
3. コンピューター、プロジェクターの順で電源を入れると、コンピューターとプロジェクターのLANポートが点滅します。

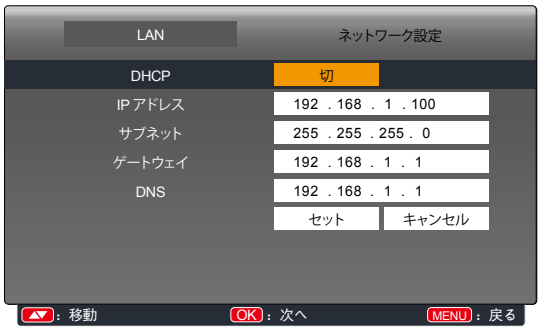
操作手順

1. 本機の電源を入れます。
2. DHCP、自動IP割り当てをオンに設定し、IPアドレスを取得します。（ネットワークに慣れている場合は、DHCPをオフに設定し、IPアドレスを手動で設定することができます）。
3. ネットワーク設定メニューを開きます。
   1) リモコンまたは本体操作部の[MENU]ボタンを押し、[▲/▼]ボタンを押してネットワークアイコンを選択します。
   2) [▲/▼]ボタンを押して[ネットワーク設定]を選択し、[OK]ボタンを押します。
      MAC アドレス .....有線ネットワークの MAC アドレスを表示します。
      IP アドレス .....有線ネットワークの IP アドレスを表示します。
   3) [▲/▼]ボタンを押してDHCPをオンにし、IPアドレス、サブネット、ゲートウェイ、DNSを自動的に取得し、[OK]ボタンを押して確定します。
      または、[▲/▼]ボタンを押してDHCPをオフにし、[OK]ボタンを押してIPアドレスを入力し、[▼]ボタンを押してサブネット、ゲートウェイ、DNSの値も入力します。[OK]ボタンを押して確定します。

ネットワーク



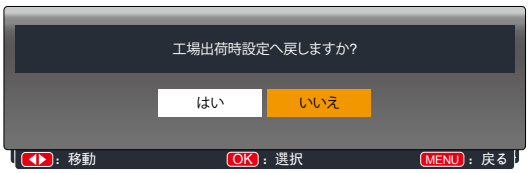




工場出荷時設定

すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。

1) [▲/▼]ボタンを押して、[工場出荷時設定]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンまたは[▶]ボタンを押します。
3) [◀/▶]ボタンを押して「はい」を選択し、[OK]ボタンを押します。



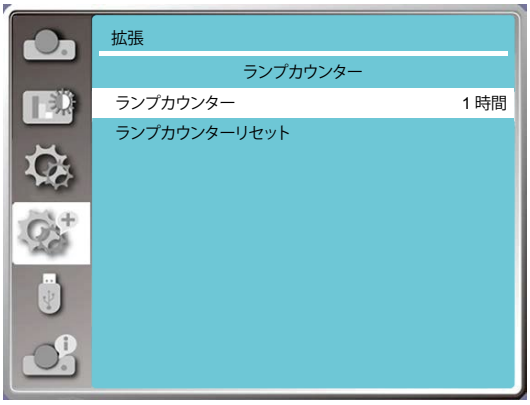
ランプカウンター

ランプ使用時間を表示します。エコで使用した時間に換算されて表示されます。
ランプを交換するときは、必ずランプカウンターをリセットしてください。ランプを交換すると、[WARNING] インジケーターが消え、ランプ交換アイコンが消えます。

1) [▲/▼]ボタンを押して[ランプカウンター]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンまたは[▶]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して「ランプカウンターリセット」を選 択し、[OK]ボタンを押します。「ランプカウンターリセット？」メッセージが表示されるので、[はい]を選択し、[OK]ボタンを押します。
4) [OK]ポップアップダイアログボックスで、[はい]を選択してランプカウンターをリセットします。

✓ 注意：
ランプ交換時以外は、ランプカウンターをリセットしないでください。

ランプカウンター



USBメモリーをプロジェクターに挿入すると、USBメモリーに保存されている画像*を投写することができます。リモコンの[MENU]ボタンを押すと、OSDメニューが表示されます。 [▲/▼]ボタンを押して[メモリービューワー]メニューを選択し、[OK]ボタンまたは[▶]ボタンを押します。

1) [▲/▼]ボタンを押して、必要な項目を選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押してオプションを設定します。
4) [OK]ボタンを押します。

スライド開始

スライドショーで再生します。

1) [◀/▶]ボタンを押してファイルを選択します。
2) [▲/▼]ボタンを押して[スライド開始]メニューを選択します。
3) [OK]ボタンまたは[▶]ボタンを押します。
   - 全画面表示で再生されます。
   - [OK]ボタンを押すと、サムネイルが表示されます

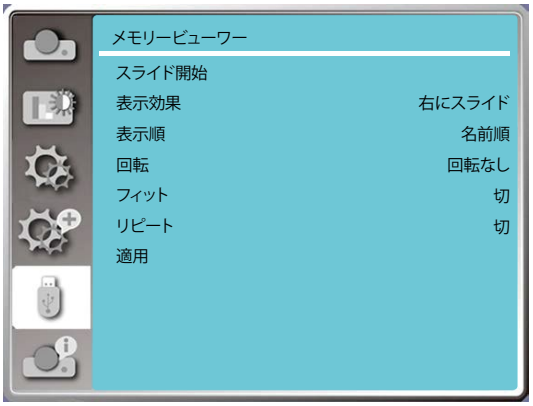
表示効果

スライドを切り替えるときの効果を設定します。

1) [▲/▼]ボタンを押して、[表示効果]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンまたは[▶]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して、必要な項目を切り替えます。

右にスライド.... スライドを左から右にスライドさせ、切り替えます。
左にスライド.... スライドを右から左にスライドさせ、切り替えます

メモリービューワー



注意：

- 入力信号で[メモリービューワー]を選択すると、[メモリービューワー]メニューが使用できます。
- [スライド開始]メニューに加え、設定を変更する場合もあります。[アプリケーション]を実装していない場合、変更の設定値は無効です。

メモリービューワー

表示順

スライドの投写順を設定します。

1) [▲/▼]ボタンを押して、[ソート順]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して、必要な項目を切り替えます。

名前順..... ファイルまたはフォルダの名前で並べ替えます。
時間順..... ファイルまたはフォルダの時間で並べ替えます。
サイズ順... ファイルまたはフォルダのサイズで並べ替えます。
拡張子順.. ファイルまたはフォルダの拡張子で並べ替えます。

回転

画像の回転方向を設定します。

1) [▲/▼]ボタンを押して[回転]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して、必要な項目を切り替えます。

回転なし ... 回転が無効です。
270° ..... 反時計回りに270度回転します。
180° ..... 時計回りに180度回転します。
90° ..... 時計回りに90度回転します。

フィット

投写するスクリーンサイズに合わせた投写の設定をします。

1) [▲/▼]ボタンを押して、[フィット]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して、必要な項目を切り替えます。

入.....スクリーンのアスペクト比で表示します。
切.....通常のピクセルで表示します。

リピート

スライドを繰り返し再生します。

1) [▲/▼]ボタンを押して[リピート]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンまたは[▶]ボタンを押します。
3) [▲/▼]ボタンを押して、必要な項目を切り替えます。

入.....最後の画像を再生した後、最初の画像に戻って再生します。
切.....最後の画像を再生した後、サムネイル表示画面に戻ります。

適用

スライドの再生のみ使用できます。

1) [▲/▼]ボタンを押して、[適用]メニューを選択します。
2) [OK]ボタンまたは[▶]ボタンを押します。

インフォメーション

投写中の映像の信号形式や、プロジェクターの動作状態を表示します。

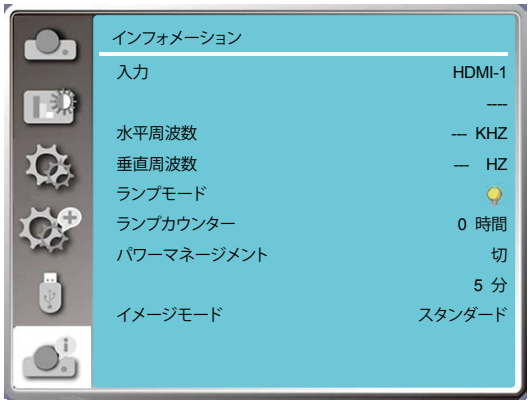
メニュー操作

リモコンの[INFO.]ボタンまたは本体操作部の[MENU]ボタンを押し、OSDメニューを表示します。[▲/▼]ボタンで[インフォメーション]メニューを選択し、[OK]ボタンまたは[▶]を押します。

インフォメーションメニューには、以下の内容が表示されます。

入力信号 ..... 選択中の入力信号を表示します。
水平周波数... 入力信号の水平周波数をkHz単位で表示します。信号が存在しない場合は "--- kHz"が表示されます。
垂直周波数 .. 入力信号の垂直周波数をkHz単位で表示します。信号が存在しない場合は "--- kHz"が表示されます。
ランプモード..... ランプの状態を表示します。
ランプカウンター..... ランプの使用時間を表示します。
パワーマネージメント... 選択しているパワーマネージメントモードを表示します。
イメージモード..... 選択しているイメージモードを表示します。

インフォメーション



ネットワーク制御操作

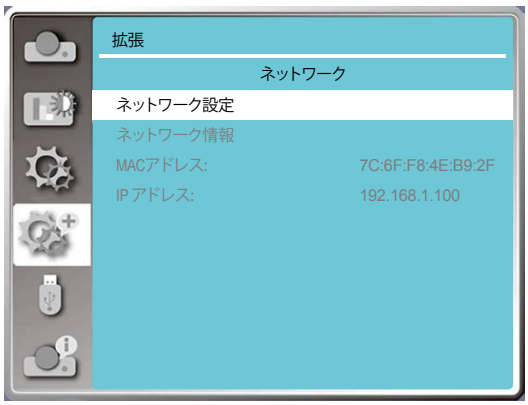
機能：同じネットワーク環境内のリモートコントロールコンピューターを対象としています。

準備

1. 必要な機器：本機（プロジェクター）、コンピューター、LANケーブル
2. 接続：プロジェクターとコンピューターを、LANケーブルを介してネットワーク環境に接続します。
3. コンピューター、プロジェクターの順で電源を入れると、コンピューターとプロジェクターのLANポートが点滅します。

操作手順

1. 本機の電源を入れます。
2. DHCPと自動IP割り当てをオンに設定し、IPアドレスを取得します。（DHCPをオフに設定し、IPアドレスを手動で設定することができます。）
3. ネットワーク設定メニューを開きます。
   1) リモコンまたは本体操作部の[MENU]ボタンを押し、[▲/▼]ボタンを押して[ネットワーク]を選択します。
   2) [OK]ボタンまたは[▶]ボタンを押すと[ネットワーク]メニューが表示されます。
   3) [▲/▼]ボタンでネットワーク設定を選択し、[OK]を押して確定します。
   4) [▲/▼]ボタンを押してDHCPを[On]オンにし、[OK]ボタンを押して確定します。
   5) [▲/▼]ボタンを押して[Set]を選択し、[OK]ボタンを押します。「しばらくお待ちください」というメッセージが消えるまで待ちます。



ネットワーク制御

Web ブラウザから入力する

1) コンピューターでWebブラウザを起動します。
2) Webブラウザのアドレスに本機のIPアドレスを入力します。
3) [ログイン]をクリックし[パスワード]にパスワード*を入力します。
   * 工場出荷時の設定は、ユーザー名「admin」（管理者権限）、パスワード「admin」です。

4) [ログイン]をクリックします。

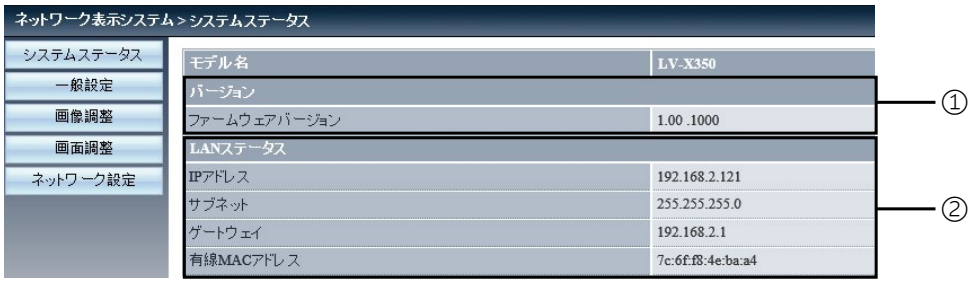
注意：

- Webブラウザ画面の右上隅をクリックして表示言語を選択できます。
- 複数のWebブラウザやコンピューターで本機の設定や制御をしないでください。
- パスワードを変更してください。
- ネットワークがスクリーンコントロールに表示されない場合は、ネットワーク管理者に相談してください。

各オプションの説明

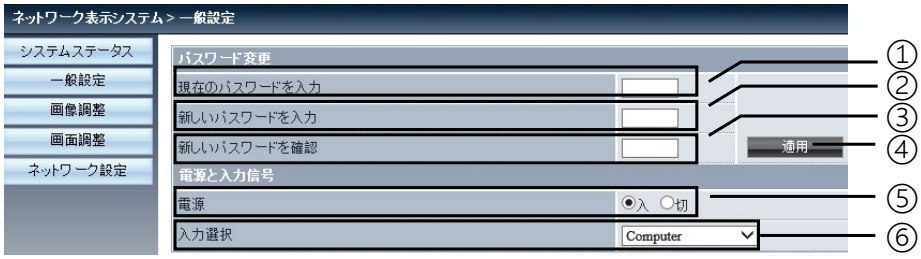
① システムステータス ： [システムステータス]ページを表示します。
② 一般設定 ： [一般設定]ページを表示します。
③ 画像調整 ： [画像調整]ページを表示します。
④ 画面調整 ： [画面調整]ページを表示します。
⑤ ネットワーク設定 ： [ネットワーク設定]ページを表示します。

[システムステータス] ページ



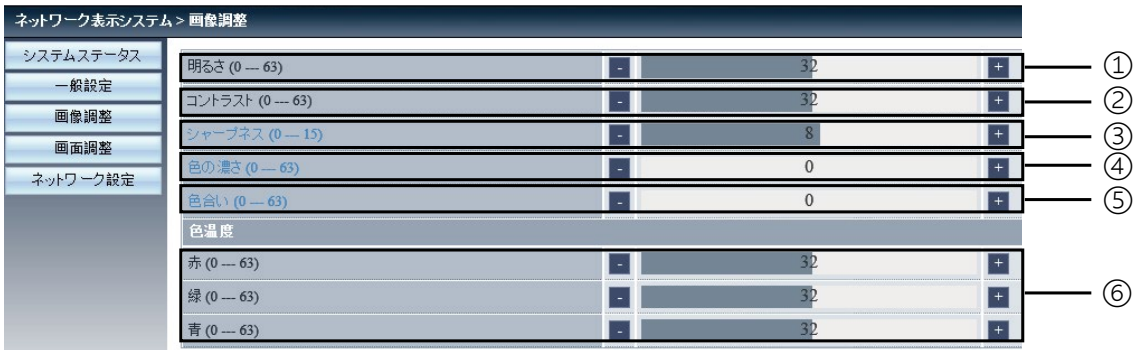
① ファームウェアバージョン ： 本機のファームウェアバージョンを表示します。
② LANステータス ： LANの接続状態を表示します。

[一般設定] ページ



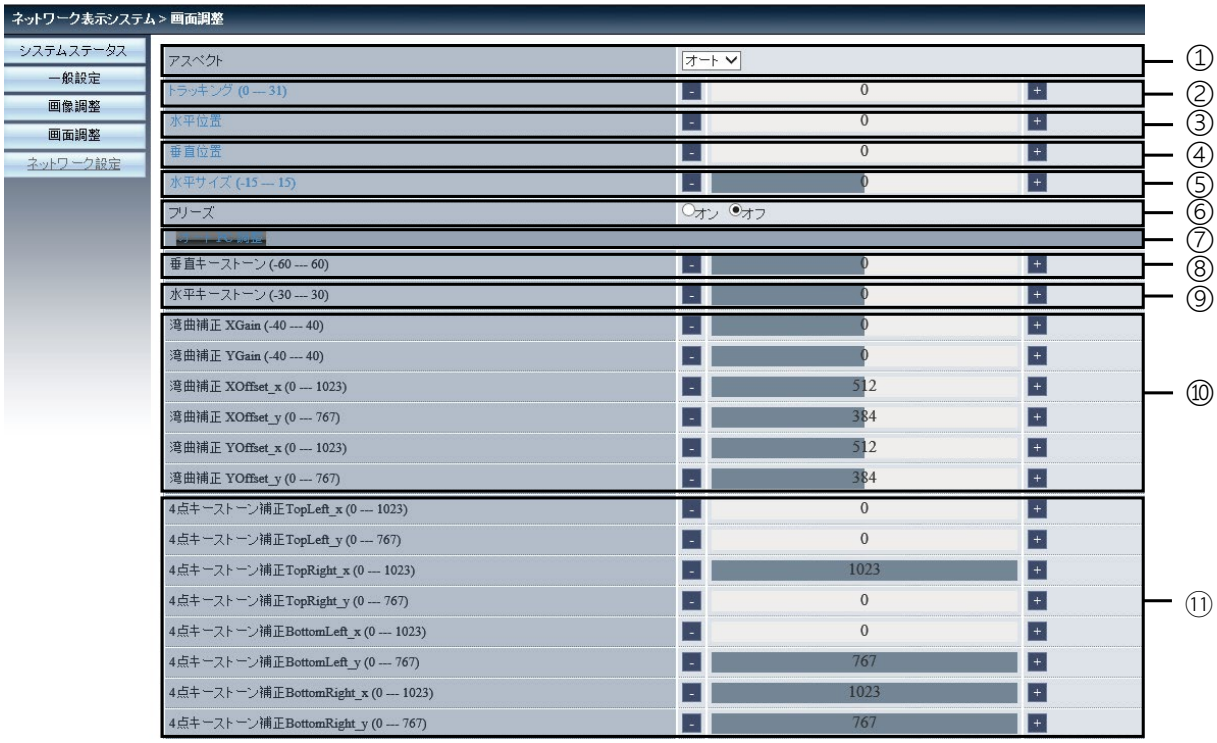
① 現在のパスワードを入力 ： 現在設定しているパスワードを入力します。
② 新しいパスワードを入力 ： 新しいパスワードを入力します。
③ 新しいパスワードを確認 ： 新しいパスワードを再入力します。
④ 適用 ： 設定を更新します。
⑤ 電源の入/切 ： 本機の電源をオン/オフします。
⑥ 入力選択 ： 本機の入力信号を切り替えます。

[画像調整] ページ



① 明るさ ： 明るさを調整します。
② コントラスト ： コントラストを調整します。
③ シャープネス ： 鮮明度を調整します。
④ 色の濃さ ： 彩度を調整します。
⑤ 色合い ： 色合いを調整します。
⑥ 色温度 ： 色温度を調整します。

[画面調整] ページ



① アスペクト　　：アスペクト比を切り替えます。
② トラッキング　　：位相を調整します。
③ 水平位置　　：水平位置を調整します。
④ 垂直位置　　：垂直位置を調整します。
⑤ 水平サイズ　　：水平方向の大きさを調整します。
⑥ フリーズ　　：画面の一時停止機能のオン/オフを選択します。
⑦ オートPC調整　：自動コンピューター調整機能を実行します。
⑧ 垂直キーストーン：垂直方向の台形ひずみを補正します。
⑨ 水平キーストーン：水平方向の台形ひずみを補正します。
⑩ 湾曲補正　　：湾曲補正をします。
⑪ ４点キーストーン：4点キーストーン補正をします。

[ネットワーク設定] ページ

① ネットワーク設定

IPアドレスの取得（自動/手動）

IPアドレス　：DHCPサーバーを使用しない場合、IPアドレスを入力します。

サブネット　：DHCPサーバーを使用しない場合、サブネットマスクを入力します。

ゲートウェイ：DHCPサーバーを使用しない場合、ゲートウェイアドレスを入力します。

DNS　　：DHCPサーバーを使用しない場合、DNSアドレスを入力します。

使用可能な文字：デジタル（0～9）、ピリオド（.）

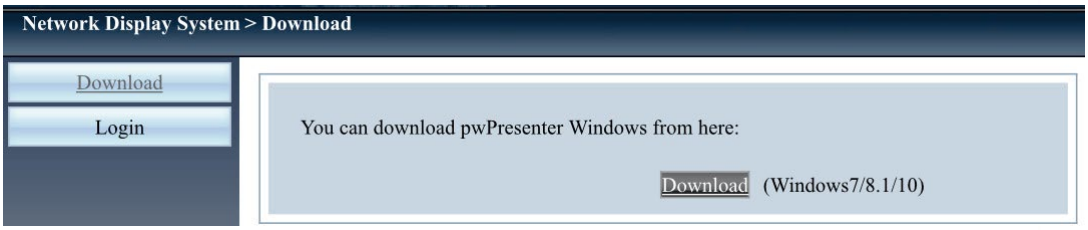
（例：192.168.0.253）

② 適用

設定を更新します。

ネットワークディスプレイを使用する

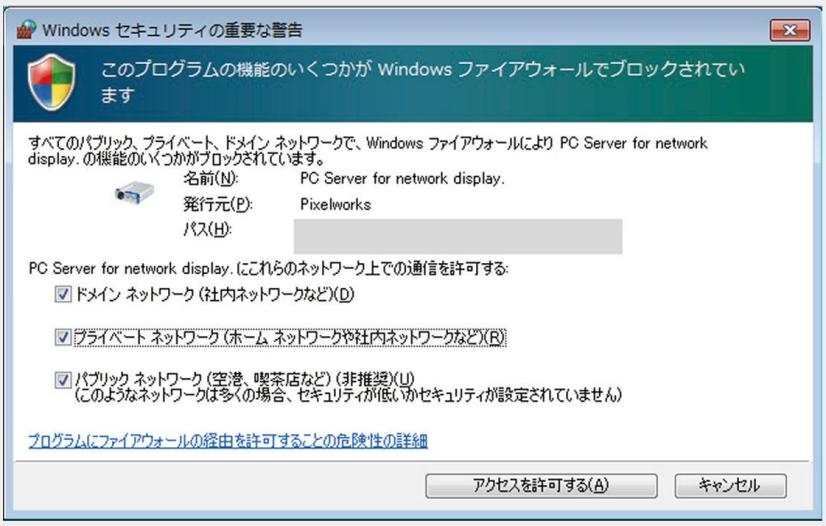
入力信号で[ネットワーク]を選択しているとき、コンピューターの画像をネットワークを介して投写することができます。
Webページのメインインターフェースに本機のIPアドレスを入力した後、[ダウンロード]をクリックすると、プロジェクターに対応するpwPresenter softwareをダウンロードします。



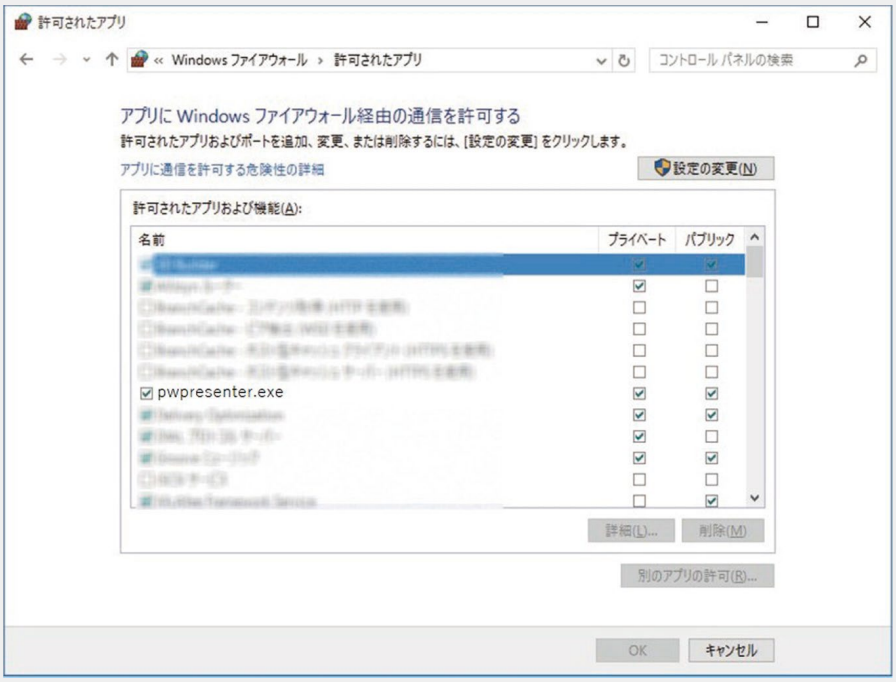
アイコンをクリックすると、pwPresenter softwareが起動します。

Windows ファイアウォールについて

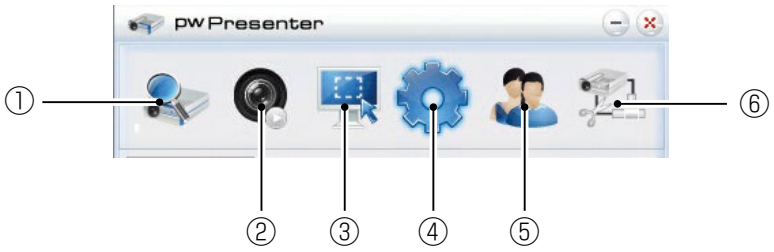
本アプリケーションの初回起動時、Windowsファイアウォールの設定により、以下のようなアラートが表示される場合があります。
プロジェクターとの通信に必要な設定のため、すべてのチェックボックスにチェックを入れ、[アクセスを許可する] ボタンをクリックしてください。



アラートを閉じた後に設定を変更する場合は [スタート] メニューを開き、[コントロールパネル] > [システムとセキュリティー] > [Windows ファイアウォール] > [Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する] を選択します。
許可されたプログラムおよび機能の一覧より「pwpresenter.exe」を選択し、すべてのチェックボックスにチェックを入れて下さい。

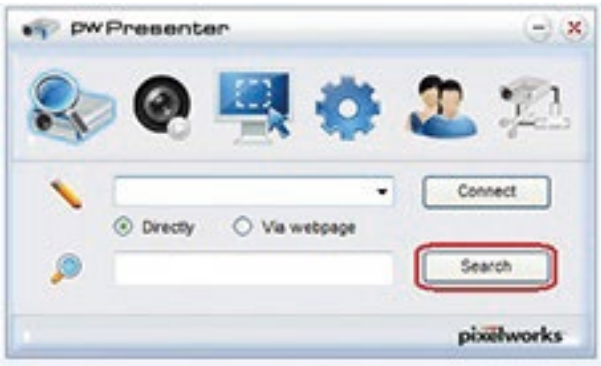


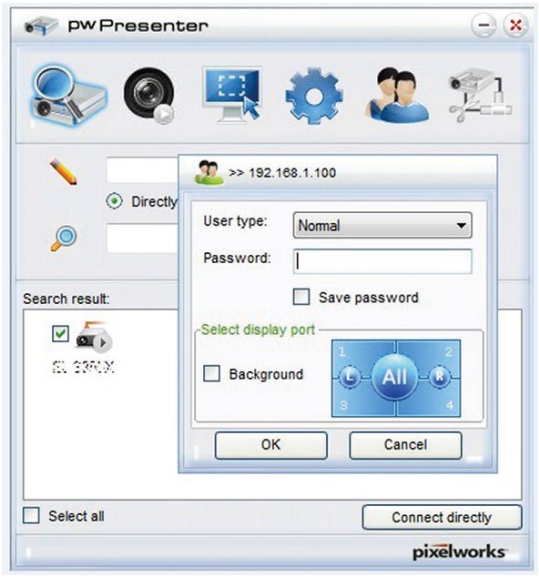
ネットワーク制御



① ネットワークに接続しているプロジェクターの検索
検索条件を空にした状態で「Search」をクリックして検索し、必要なプロジェクターを選択して接続します。または、プロジェクターの IP アドレス（例：192.168.1.100）を入力し、「Connect」をクリックします。

✓注意：
pwPresenter softwareで検索を行う前に、入力信号を[ネットワーク]にしてください。



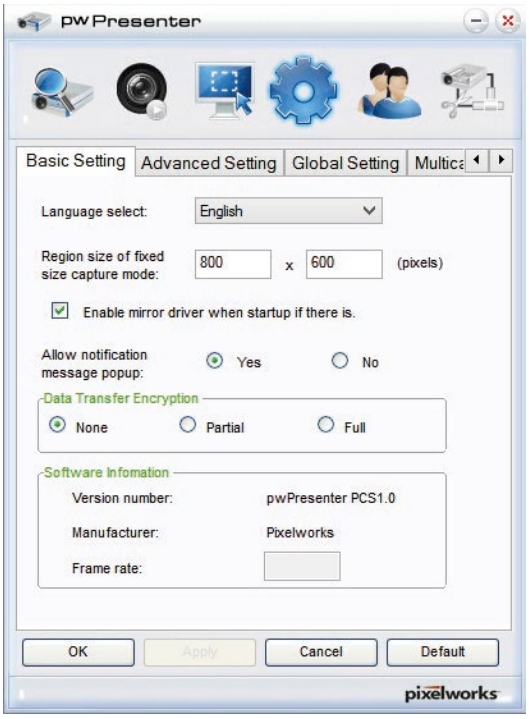


② スクリーンショットの開始または一時停止
選択した画像（の保存）を開始または一時停止します。

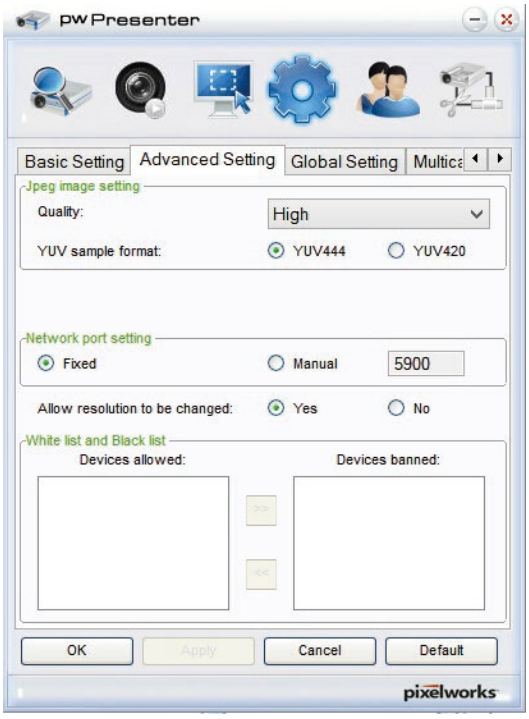
③ スクリーンショットのモードを選択
投写するサイズを設定します。

④ パラメータ設定

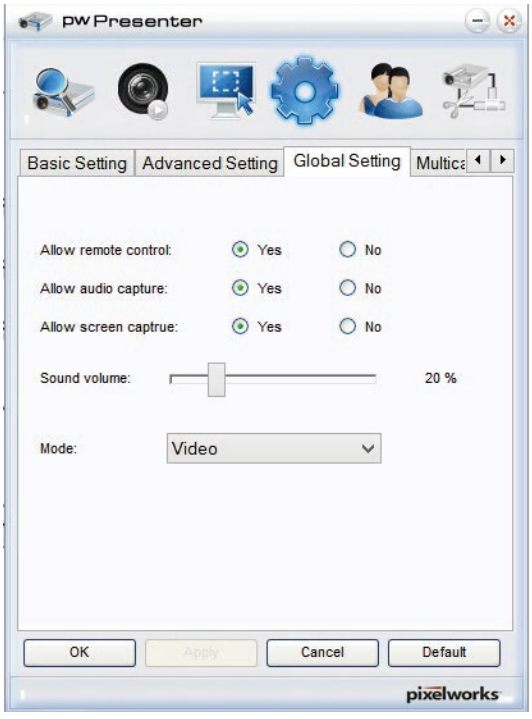
Basic setting：言語、キャプチャ領域サイズなどの設定をします。



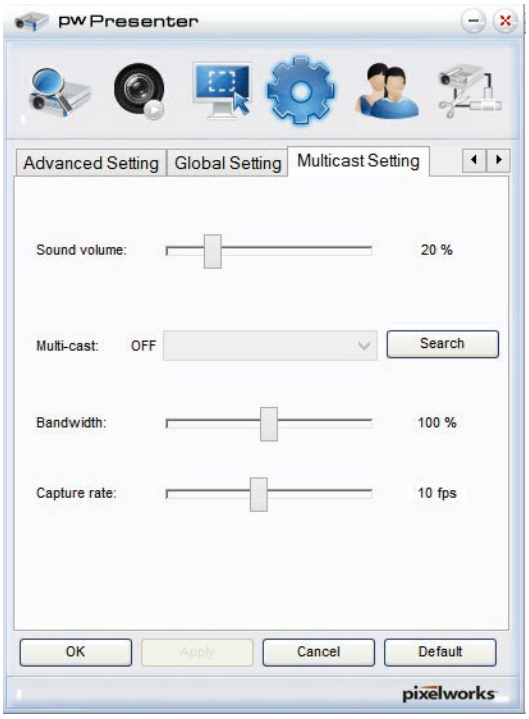
Advanced setting：JPEG 画像設定、ネットワークポート設定、ホワイトリスト、ブラックリストなどの設定をします。



Global setting：リモートコントロール設定、サウンドキャプチャとスクリーンキャプチャなどの設定をします。

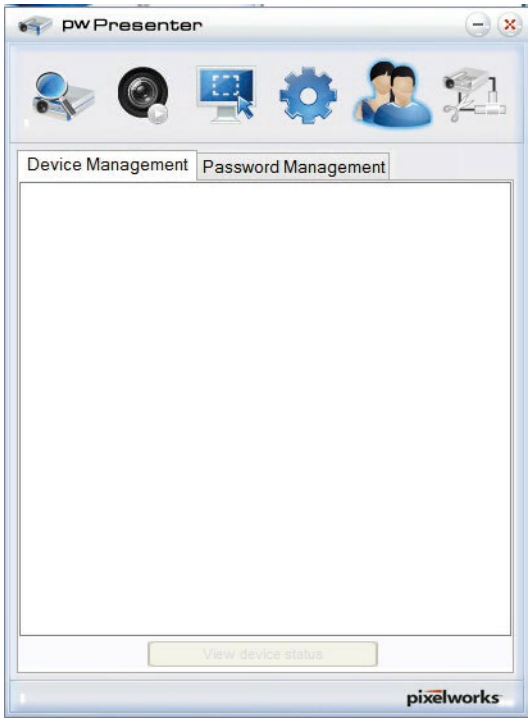


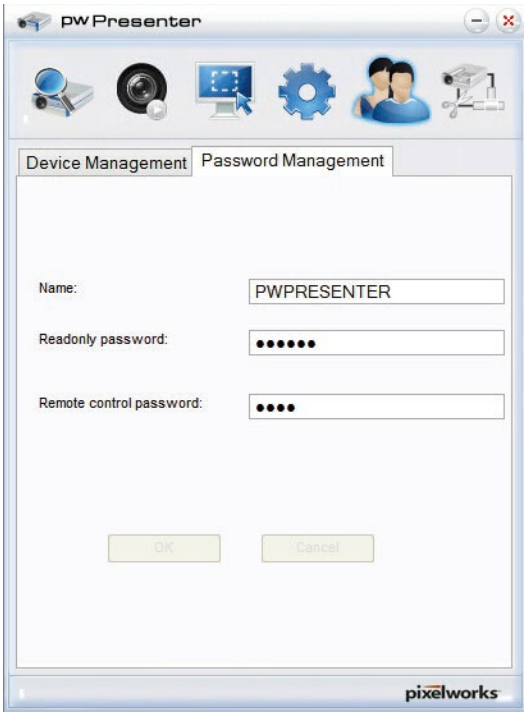
Multicast setting：音量設定、帯域幅、サンプリング周波数などの設定をします。



ネットワーク制御

⑤ ネットワークプロジェクター管理
pwPresenter のネットワークユーザー名とパスワードなどを設定します。





⑥ 本機との接続を切断します。

Web ブラウザからプロジェクターを遠隔操作する（e-Control®）

プロジェクターが適切にネットワークに接続されているとき、WebブラウザまたはPJLinkアプリケーションを使用してコンピュータからプロジェクターを操作できます。

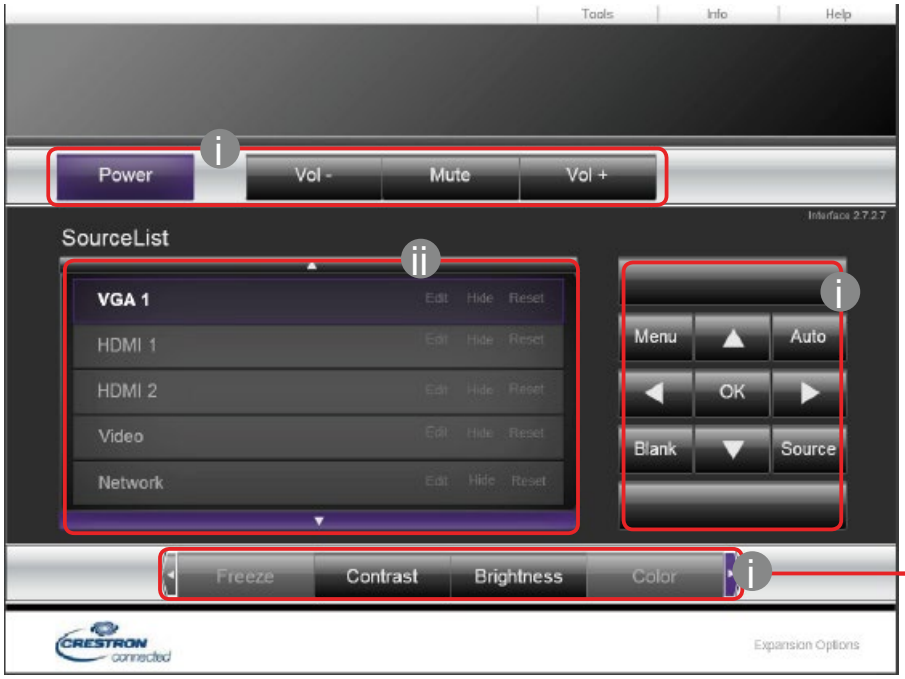
☞ 必要なOS環境：Windows7/8.1/10, Mac OS X v10.5 ~ v10.14

1. ブラウザのアドレスバーにプロジェクターのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。
（例 , http://192.168.1.100/crestron）

☞ 対応Webブラウザ：IE11, Chrome v44.0以下

2. リモートネットワーク制御ページが表示されます。表示されたページで、リモコンやプロジェクターのコントロールパネルを使って操作するのと同じように、プロジェクターを操作することができます。

- メインページ



[◀/▶]ボタンを押すと別のボタンが表示されます。

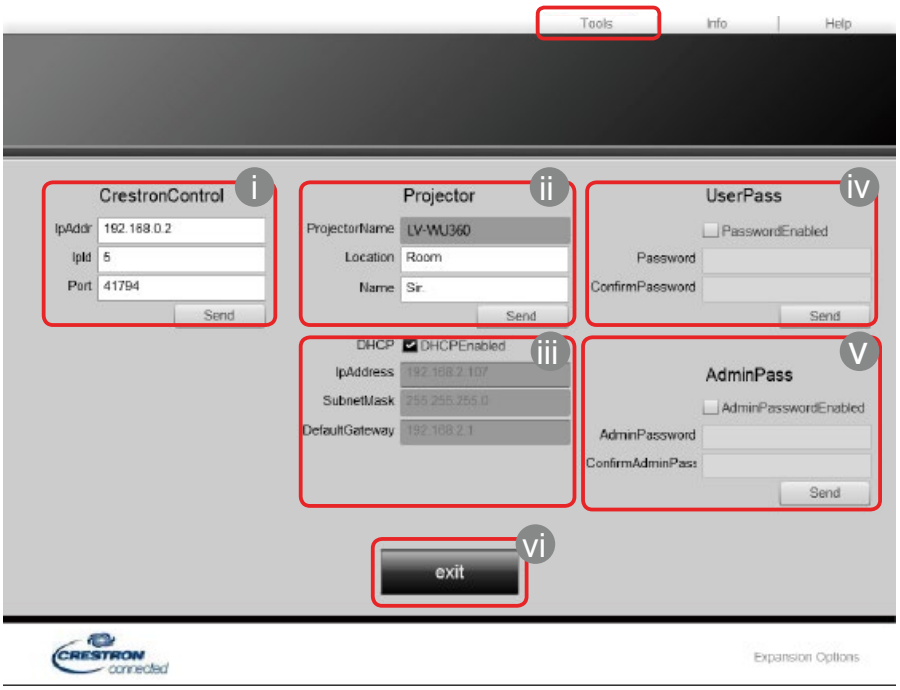
1) 表示されたボタンは、OSDメニューやリモコンのボタンと同じように動作します。詳しくは「プロジェクター/リモコン」(20ページ/23ページ)と「各メニューの説明」(35ページ)を参照してください。

2) 入力信号を切り替えるには、切り替えたい入力信号をクリックします。

☞ プロジェクターのコントロールパネル、またはリモコンを使ってOSDメニューの設定を変更する場合、変更内容がプロジェクターに反映されるまでに少し時間がかかります。

3. [Tools]ページでは、プロジェクターを管理したり、ネットワーク設定を行ったり、本機をリモートネットワークに安全に接続させたりすることができます。

- ツールページ

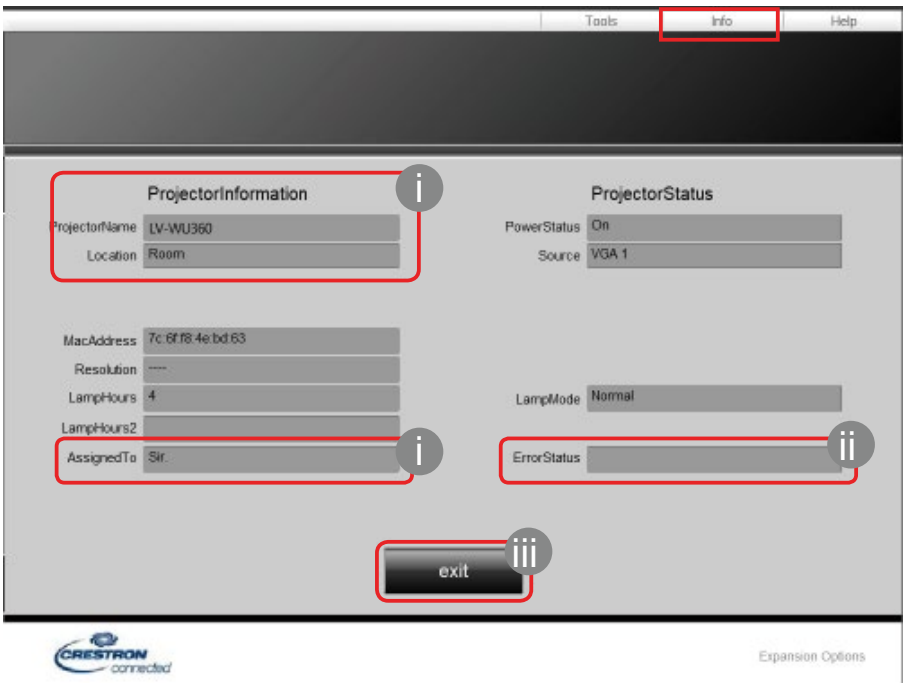


1) Crestron Control Systemを使用する場合、Crestron Control Systemの取扱説明書をお読みになり、正しく設定してください。
2) プロジェクター名、設置場所、責任者を最大22文字の半角文字で入力することができます。
3) [ネットワーク]を調整できます。
4) パスワードを設定すると、リモートネットワーク制御へのアクセスはパスワードで保護されます。パスワードによる保護機能を有効にするには、[Enable]の前にあるチェックボックスをオンにし、[New Password]にパスワードを入力します。[Confirm]にパスワードを再入力し、確認します。パスワード保護機能を無効にするには、チェックボックスをオフにします。
5) パスワードを設定すると、[Tools]ページへのアクセスはパスワードで保護されます。
6) [Exit]ボタンをクリックすると、リモートネットワーク制御ページに戻ります。

☞
- 設定後、[Send]ボタンをクリックすると設定した値がプロジェクターに保存されます。
- パスワードを設定すると、[Tools]ボタンの横に[Log Out]ボタンが表示されます。
- 設定したパスワードを忘れないように、パスワードは書き留めておいてください。パスワードを忘れたときに利用できるようになります。
- パスワードを忘れてしまった場合は、次の手順でリセットすることができます。
  - ウェブブラウザで e-Control ®のログを開きます。
  - プロジェクターの【MENU】ボタンと【▶】ボタンを3秒間長押しします。
  - 以上でパスワードがリセットされました。
- ソフトウェアは英語版です。
- DHCPをオンにすると、Webページへの接続が切断されることがあります。その場合は、プロジェクターの新しいIPアドレスを確認して入力し、もう一度接続してください。

4. [Info]ページには、本機の情報と状態が表示されます。

● Infoページ



1) [Tools]ページで入力した情報がここに表示されます。
初めてe-Control ®を使用するときは、すべて空欄になっています。

2) プロジェクターにエラーが発生した場合、次の情報が表示されます。

☞ プロジェクターが正常な状態、あるいは下記以外のエラーがある場合は、[Error Status] の欄は"0:No Error"が表示されます。

Error Status（エラー状態）	説明
3：Lamp fail	作動中にランプが点灯または消灯しません。
3：Over Temp	プロジェクターの温度が高すぎる、または検出できません。
3：Fan Lock	ファンの回転速度を設定または検出できません。
3：Over Lamp	ランプ警告メッセージが表示された後も、ランプを使用し続けています。

（3 =エラー）

3) [Exit]ボタンをクリックすると、リモートネットワーク制御ページに戻ります。

5. [Help]ボタンを押すと、タイトルウィンドウが右上隅に表示されます。 同じローカルエリアネットワークに接続されているRoomView™ソフトウェアにメッセージを配信することができます。

詳細については、http：//www.crestron.comかwww.crestron.com/getroomviewをご覧ください。

ネットワーク制御

PJLink アプリケーションを使ってプロジェクターを操作する

本機は、PJLink標準プロトコルに対応し、共通のアプリケーションを使ってモデルや製造元が異なるプロジェクターの操作の管理や監視をすることができます。

PJLink について

- PJLink機能を使用するには、PJLinkアプリケーションが必要です。
- PJLinkの仕様については、ビジネス機械・情報システム産業協会(JBMIA)のホームページをご覧ください。(http://pjlink.jbmia.or.jp/)
- 本機は、JBMIA PJLinkクラス1の規格に準拠しています。また、PJLinkクラス1が定義するすべてのコマンドに対応しており、PJLink標準規格バージョン1.4でその準拠が確認されています。

パスワード機能の使いかた

PJLinkアプリケーションを介したプロジェクターへの不正なアクセスを防ぐため、プロジェクターにパスワードを設定することができます。
以下の手順でパスワードを設定します。

1. Webサイトのリンクを開き、[Network Display System]を開きます。: [Network Setup]メニューを選択します。
2. PJLinkセットアップオプションで、[Password Enable]を選択します。
3. [Input Password]オプションの後の列にパスワードを入力します。
4. 変更するパスワードを数字の0～9から選択し、入力します。
5. [Confirm Password]オプションの後の列に変更するパスワードを再度入力し、[Apply]を押します。
   パスワードを忘れた場合は、「projectorcontroller」を使用してください。

PJLink のコマンド

本機は、プロジェクターを制御する標準プロトコルPJLinkをサポートしています。 サポートされているコマンドは以下のとおりです。

コマンド	説明	備考 (パラメータ)
POWR	電源コントロール	0 = 電源オフ 1 = 電源オン
POWR?	電源の状態について問い合わせます	0 = スタンバイ 1 = 電源オン
INPT	入力切り替え	11 = COMPUTER 21 = VIDEO 31 = HDMI-1 32 = HDMI-2 41 = USB Viewer 51 = USB Display 52 = LAN
INPT?	入力切り替えについて問い合わせます	
AVMT	ミュートコントロール	10 = BLANK 無効 11 = BLANK 有効 20 = オーディオのミュート無効 21 = オーディオのミュート有効 30 = BLANK およびオーディオのミュート無効 31 = BLANK およびオーディオのミュート有効
AVMT?	ミュートの状態について問い合わせます	
ERST?	エラー状態について問い合わせます	最初のバイト:ファンエラー、0 または 2 2 番目のバイト:ランプエラー、0 または 2 3 番目のバイト:温度エラー、0 または 2 4 番目のバイト:常に 0 5 番目のバイト:常に 0 6 番目のバイト:その他のエラー、0 または 2 * 0 または 2 の意味は次のとおりです。 0 = エラー検出なし、2 = エラー
LAMP?	ランプ状態について問い合わせます	1 番目の値 (1 ～ 4 桁):累積ランプ作動時間数 (ランプモードが [エコ] のとき計算されたランプの動作時間 (時間) を示します。) 2 番目の値:0 = ランプオフ、1 =ランプオン
INST?	有効な入力について問い合わせます	次の値が返ります。 「11　21　31　32　41　51　52」
NAME?	プロジェクター名について問い合わせます	コマンドは [Tools] ページで指定したプロジェクター名で応答します。
INF1?	製造元について問い合わせます	「Canon」が返ります。
INF2?	モデル名について問い合わせます	「LV-WU360」、「LV-WX370」または「LV-X350」が返ります。
INF0?	その他の情報について問い合わせます	「バージョンナンバー」が返ります。
CLSS?	クラス情報について問い合わせます	「1」が返ります。

☞
- 入力信号がスクリーンに表示された場合にのみ、PJLink「INPT?」に対する応答が返ります。入力信号が何もない場合は、「ERR3」が返ります。
- 次の状況では、上記の操作がおこなえない、あるいはデータの監視が正しくおこなわれない場合があります。
  - スタンバイ中
  - 入力ソース切り替え中
  - コマンド処理中
  - AUTO PC実行時
  - 電源を入れた後、スプラッシュスクリーンが消える前
- 1台のコンピュータにつき1台のプロジェクターの操作または監視をします。
- PJLinkを使用して操作または監視をする方法については、使用するPJLinkアプリケーションの取扱説明書を参照してください。
- 問い合わせコマンドを発信してプロジェクターの動作状態を監視する時は、プロジェクターが前回送信した問い合わせコマンドの応答を受信してから、次の問い合わせコマンドを送信してください。

用語集

下記の用語の詳しい説明については、市販されている技術書をお読みください。

用語	説明
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。このプロトコルは、ネットワークに接続された機器にIPアドレスを自動的に割り当てます。
IPアドレス	ネットワークに接続されたコンピュータを識別するための数字によるアドレス。
サブネットマスク	IPアドレスで分割されたネットワーク（またはサブネット）のネットワークアドレスが使用するビット数を定義するための数値。
デフォルトゲートウェイ	サブネットマスクで分割されたネットワーク（サブネット）間で通信するためのサーバー（またはルーター）。

メモリービューワー機能

USBメモリーを本機に挿入すると、USBメモリーに保存された映像や画像を投写できます。

■ メモリービューワー機能の投写内容

メモリービューワー機能は、以下の画像ファイルに対応しています。

	拡張子	ビデオコード	オーディオコード	ビデオフォーマット
映像	avi	Motion JPEG	ADPCM	最大 1280x720,30fps

	拡張子	フォーマット	説明
画像	jpg/jpeg	ベースラインエンコーダー 24 プログレッシブ RGB24bit	最大解像度：10000 × 10000 パネル解像度
	bmp	1.4.8 ビットパレットベース RGB24,32 bit	最大解像度：1280 × 800
	png	24, 48-bit True Color	
	gif	1.4.8 ビットパレットベース	
	tiff		

メモリービューワー画面を表示する

USBメモリーを本機に挿入すると、USBメモリーに保存された動画や静止画などを投写できます。

1) 本体操作部またはリモコンの[INPUT]ボタンを押し、[メモリービューワー]を選択します。
2) USBメモリーをUSB A端子に挿入します。
3) リモコンまたは本体操作部の[0K]ボタンを押します。
4) [▲/▼]ボタンを押して必要な項目を切り替えます。
   - USBメモリーのルートディレクトリがサムネイルで表示されます。

画像を再生する

再生中は、1つの画像のみを表示します。

1) [◀/▶]ボタンを押してファイルを選択します。
2) [OK]または[▶]ボタンを押してファイルを選択します。
   - フルスクリーンで表示します。
3) [OK]ボタンを押します。
   - サムネイル表示に戻ります。

便利な機能

スライドショーを再生する

スライドショーモードは同じフォルダ内のすべての画像を自動的に再生する機能です。

1) [◀/▶]ボタンを押してファイルを選択します。
2) [▲/▼]ボタンで[メモリービューワー]メニューを選択し、[スライド開始]メニューを選択します。
3) [OK]ボタンを押します。
   - フルスクリーンで表示します。
   - サムネイル表示に戻ります。

映像を再生する

映像ファイルを再生します。

4) [◀/▶]ボタンを押してファイルを選択します。
5) [OK]ボタンを押します。
   - フルスクリーンで表示します。
   - リモコンを使用して、画面下部に表示されているコントローラーを操作します。

	再生を停止しサムネイル表示に戻ります。
	映像を一時停止 / 再生します。
	映像を早送り / 巻き戻します。
	映像を 2 倍速で早送り / 巻き戻します。
	アイコンをクリックするたびに切り替わります。アイコンが表示された場合は、映像を再生できます。

メモリービューワーを終了する

1) スクリーンの左隅に表示される を[◀/▶]ボタンを押して選択します。
2) [OK]ボタンを押します。
3) USBメモリーを取り外します。

注意：

- FAT32（32GB）までのメモリーしか読み込むことができません。
- USBメモリーを挿入するときは、端子を傷つけないように挿入方向を確認してください。
- USBメモリーを挿入したり、取り外すときは、以下の点にご注意ください。
  a. 本機にUSBメモリーを挿入、または本機がデータを読み込んでいるときに、インジケーターが点滅します。インジケーターが点滅中は、USBメモリーを取り外さないでください。
  b. 挿入してもインジケーターが点灯しないUSBメモリーは、本機でデータの読み取りができません。ブラウズ機能をオフにして本機の電源を切り、USBメモリーを取り外してください。
  c. USBメモリーを頻繁に挿入したり、取り外したりしないでください。挿入してから少なくとも5秒経過してから取り外してください。再度挿入するときは、取り外してから5秒経過してから行ってください。

USBメモリーの操作と保存に関する注意事項

- 煙が出たり異臭がする場合は、外部機器をはずしてキヤノンお客様相談センターにお問い合わせください。
- USBポートに異物や金属類を入れないでください。静電気は、データの損失や破損の原因となります。

USB ディスプレイ機能

コンピューターに保存されている画像と音声をUSBケーブルを使って投写できます。

Windows を使用している場合：

■ Windows の動作環境

OS	Win7, Win8.1, Win10
CPU	Intel Core 2 Duo 2.0 GHZ 以上の互換プロセッサー
記憶容量	256MB 以上（512MB 以上）
使用可能なディスク容量	20MB 以上
モニター	解像度：640 × 480、1600 × 1200 以上

上記の条件を満たすコンピューターで正常に動作することを保証するものではありません。

便利な機能

USBディスプレイ機能で投写する

1) USB Bケーブルを使用して、本機とコンピューターのUSB B端子に接続します。
2) リモコンまたは本体操作部の[INPUT]ボタンを押し、入力ソースメニューの[USBディスプレイ]を選択します。
3) コンピューターのタスクバーにある アイコンをクリックし、ポップアップメニューバーから項目を1つ選択します。
   - ポップアップメニューは英語でのみ表示されます。
     アイコンが表示されない場合、プロジェクターが仮想CDドライブとして認識されているので、autorun.exeを実行してください。

[Active audio] /[Disable audio]	コンピューターのオーディオの出力を設定します。
[Play video] / [Pause video]	映像を再生したり、再生を一時停止したりします。
[Start / Stop]	コンピューターの画像の表示 / 非表示を切り替えます。
[Exit]	グレーアウトしているため選択できません。

✓ **注意：**
- コンピューター画面の解像度が切り替わります。
- 入力信号で[USBディスプレイ]を選択すると、コンピューターから認識されます。他の入力信号を選択をするかUSBケーブルを外すと、コンピューターからドライバが削除され、認識されなくなります。
- 本機をコンピューター画面で操作するときは、画面が表示されるまでしばらくお待ちください。
- USBケーブルはコンピューターのUSB B端子に直接接続してください。USBハブなどに接続すると、通常とは異なる動作をする場合があります。

USBディスプレイの終了

USBケーブルを取り外します。

Mac を使用している場合：

■ MacOS の動作環境

OS	Mac OS X v10.5 ~ 10.14
CPU	Power PC G4 1GHz 以上の互換プロセッサー
記憶容量	512MB 以上
使用可能な ディスク容量	20MB 以上
モニター	解像度：640 × 480、1600 × 1200 以上

上記の条件を満たすコンピューターで正常に動作することを保証するものではありません。

USBディスプレイ機能で投写する

1) USB Bケーブルを使用して、本機とコンピューターのUSB B端子に接続します。
2) リモコンまたは本体操作部の[INPUT]ボタンを押し、入力ソースメニューの[USBディスプレイ]を選択します。
3) 仮想ディスクにインストールされている[Monitor.app]ボタンをダブルクリックします。
   - コンピューターの画面に画像を表示します（投写します）。
4) コンピューターのタスクバーにある アイコンをクリックし、ポップアップメニューバーから項目を1つ選択します。

[Active audio] /[Disable audio]	コンピューターのオーディオの出力を設定します。
[Play video] / [Pause video]	映像を再生したり、再生を一時停止したりします。
[Start / Stop]	コンピューターの画像の表示 / 非表示を切り替えます。
[Exit]	USB ディスプレイ機能を終了します。

✓ **注意：**
- コンピューター画面の解像度が切り替わります。
- 本機をコンピューター画面で操作するときは、画面が表示されるまでしばらくお待ちください。
- USBケーブルはコンピューターのUSB B端子に直接接続してください。USBハブなどに接続すると、通常とは異なる動作をする場合があります。

USBディスプレイの終了

USBケーブルを取り外します。

[WARNING] インジケーター

[WARNING]インジケーターはプロジェクターの保護機能の状態を表示します。メンテナンス作業が必要かを確認するには、[WARNING]および[POWER]インジケーターを確認してください。

本機の電源が切れ、[WARNING]インジケーターが赤く点滅する

本機の過熱時に内部の機器を保護するため、電源が自動的に切れます。本機が冷えると[POWER]インジケーターが点滅します。動作温度まで下がると、[POWER]ボタンを押して再度電源を入れることができます。

[WARNING] インジケーターが赤色に点滅する

✓ **注意：**
本機の内部温度が正常に下がり、再び電源が入ると、[POWER]インジケーターは点滅しなくなります。

以下の点をご確認ください。

- 本機の換気のために十分な隙間はありますか？ 設置状態と排気口がふさがれていないかを確認してください。
- 本機は空調機器の吹き出し口の近くに設置されていますか？ 本機を空調機器の吹き出し口から遠ざけてください。
- フィルターは汚れていませんか？ フィルターは定期的に清掃してください。

電源異常で、[POWER]インジケーターが黄色に点灯する

（電源の）異常を検出すると[POWER]インジケーターが黄色に点灯し、内部の機器を保護するために本機の電源が切れます。 電源コードを抜き、再度接続してください。
本機を再起動すると、検査ルーチンが実行されます。 問題が解消しない場合は電源コードを抜き、修理を依頼してください。

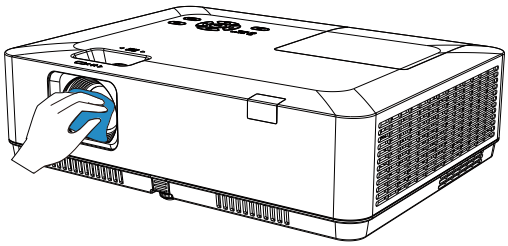
[POWER] インジケーターが黄色に点灯する

汚れていたり、表示効果が悪くなったときは本機を清掃してください。

注意：
清掃をする前に、必ずプロジェクターの電源を切り、冷却してください。

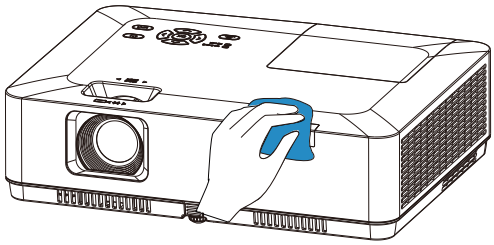
レンズを清掃する

最初にブロアーで表目のゴミ、ホコリを取り除き、それから柔らかい布で汚れを軽く拭いてください。有機溶剤を含むクリーナーなどは使用しないでください。研磨クリーナー、溶液、またはその他の化学薬品がレンズを傷つけることがあります。



本機のキャビネットを清掃する

清潔な柔らかい布でキャビネットの表面を拭きます。少量の中性洗剤で湿らせた清潔な柔らかい布でキャビネットを軽く拭き、汚れを取り除きます。キャビネットにクリーナーをかけすぎないでください。研磨クリーナー、溶液、またはその他の化学薬品がキャビネットを傷つけることがあります。
使用後は本機をケースなどに入れ、塵やホコリから保護したり、傷ついたりしないようにしてください。



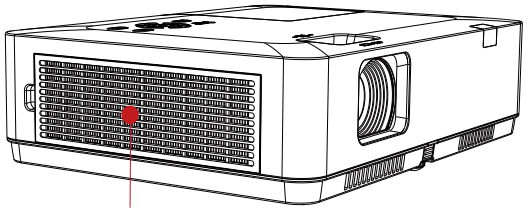
警告：
本体のメンテナンスの際に接着剤・潤滑剤・油・アルカリ性洗剤などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下し事故やけがの原因となりますので使用しないでください。

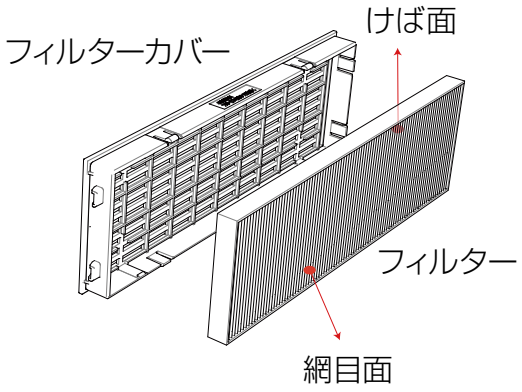
フィルターを清掃する

フィルターが詰まっていると冷却ファンの効果が低下し、本機が過熱してランプや光学部品などの寿命が短くなったり故障の原因になります。
プロジェクターの使用時間が300時間を超えるとフィルター警告アイコンが表示されます。フィルター警告アイコンが表示されたら、すぐにフィルターを清掃してください。
フィルターを清掃するには、次の手順に従ってください。

メンテナンスとクリーニング

1. 本機の電源を切り、電源プラグを抜きます。
2. フィルターカバーを取り外し、フィルターを取り外します。
3. ブラシで静かに清掃します。
4. フィルターのけば面側をフィルターカバーに取り付けます。
5. フィルターカバーを取り付け、電源プラグをコンセントに接続します。

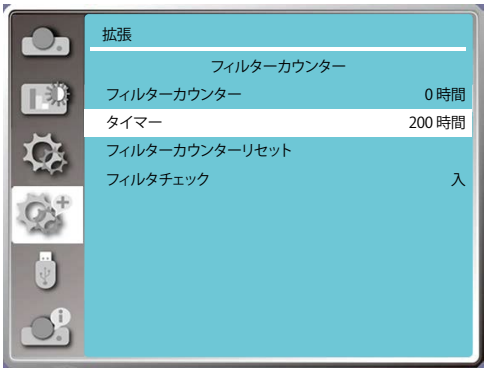




✓ **注意：**
フィルターを取り外している間は、本機を操作しないでください。レンズ部品にホコリが付着して、画質が低下することがあります。

フィルターカウンターをリセットする

1. [MENU]ボタンを押すとOSDメニューが表示されます。[◀ / ▶] ボタンを押して設定メニューを選択し、[▶] または [OK] ボタンを押します。
2. [▲/▼]ボタンを押して「フィルターカウンター」を選択し、[▶]または[OK]ボタンを押します。[▲/▼]ボタンを押して「フィルターカウンターリセット」を選択し、[OK]ボタンを押します。「フィルターカウンターをリセットしますか?」というメッセージが表示されます。続行するには[はい]を選択します。
3. 別のポップアップダイアログボックスで[はい]を選択し、フィルターカウンターをリセットしてください。



✓ **注意：**
- フィルターの清掃または交換後は、フィルターカウンターをリセットしてください。

注意：
ホコリや煙が出る場所では使用しないでください。画質に影響を与える可能性があります。ホコリや煙のある場所で本機を使用すると、レンズ、LCDパネル、レンズ部品にホコリが付着することがあります。

ランプを交換する

本機では、次のランプを使用しています。
ランプの品番：LV-LP43
ご購入の際は、販売店にご相談ください。

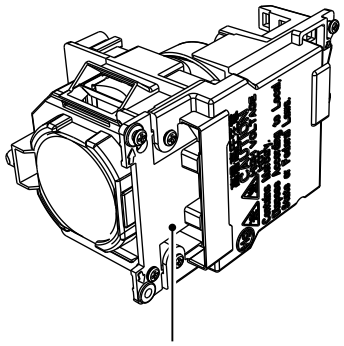
ランプ警告アイコンは、使用時間がランプの交換時期の300時間前から表示されます。
ランプ交換アイコンは、使用時間がランプの交換時期を超えると表示されます。

ランプ警告アイコン

ランプ交換アイコン

ランプユニット

プロジェクターのランプは消耗品です。[拡張設定]メニューの[ランプカウンター]で使用時間を確認できます。



ランプユニット

注意：
- ランプが熱くなっていたら交換しないでください。使用後に電源を切ってから少なくとも1時間後に交換してください。ランプユニットの内部カバー部が使用中に熱くなっているので、やけどをする可能性があります。

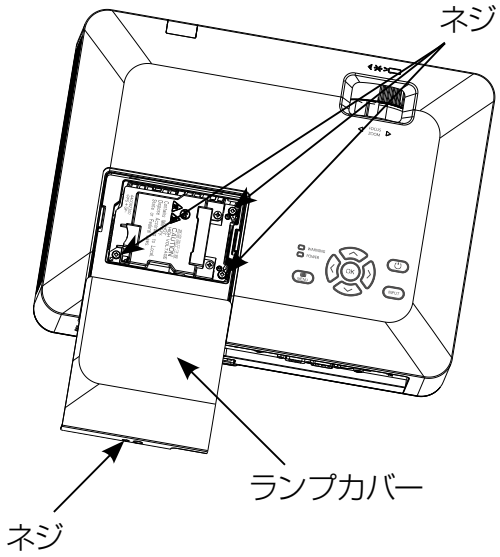
警告：
ランプが点灯しなくなって交換するときは以下の点に注意してください。けがの原因になります。
- 電源投入時や使用中に点灯しなくなったときは、ランプが破裂している可能性があります。その場合、絶対にお客様自身でランプの交換作業は行わず、設置業者または販売店に依頼してください。
- 本機を天井から吊り下げて設置している場合、ランプカバーを開けたり、ランプを交換するなどのときは、ランプが落下する可能性があります。ランプの交換作業時は、本機の下に人がいないことを確認し、また真下には立たず、横から作業してください。

注意：
- 本機内部の温度が高いため、ランプカバーを開く前に少なくとも1時間冷やしてください。
- ランプは必ず指定のものを使用してください。ランプを落としたり、触ったりしないでください。破損して人身事故につながる可能性があります。

メンテナンスとクリーニング

ランプを交換するには、以下の手順で行ってください。

1. 電源を切り、電源コードを抜きます。必ず1時間以上放置してください。
2. ドライバーで1本ネジをゆるめ、ランプカバーを外します。
3. ランプユニットの3 本のネジをゆるめ、ランプユニットごと引き出します。
4. 交換用のランプユニットを本体の奥までしっかり押し込み、3 本のネジを締めて固定します。
5. ランプカバーを取り付け、ネジを締めて固定します。



警告：

ランプについて

本プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプには、次のような性質があります。

- ランプは使用時間の経過による劣化などで、次第に暗くなります。
- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きます。
- ランプ交換の指示「ランプ交換」が出た場合、ランプが破裂する可能性が高くなっています。すみやかに新しいランプと交換してください。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間は大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 万一に備え、あらかじめ交換用のランプをご用意ください。

トラブルシューティング

販売店またはキヤノンお客様相談センターに連絡する前に、次の点を確認してください。

トラブルシューティング	解決
電源が入らない	● プロジェクターの電源コードをコンセントに差し込まれていることを確認してください。 ● [POWER] インジケーターが赤く点灯していることを確認してください。これは、プロジェクターの電源を再投入する準備ができていることを示します。 ● [WARNING]インジケーターが消灯していることを確認してください。 ● リモコンで電源を入れることができれば、本体操作部がキーロックされています。リモコン操作で[設定]メニューから[キーロック]を[オフ]に設定してください。 ● 本体操作部で電源を入れることができれば、リモコンがキーロックされています。本体操作で[設定]メニューから[キーロック]を[オフ]に設定してください。
ロゴ画面が表示されない	● [ロゴ]の[ロゴ選択]が[切]に選択されていないかを確認してください。
ロゴ画面が標準設定と異なる	● ロゴ選択メニューの[ユーザー]または[切]が選択されていないかを確認してください。
入力信号を自動的に切り替える（または切り替えない）	● [オートセットアップ]の[入力サーチ]が[入]になっているかを確認してください。
画像がぼやけて見える	● プロジェクターのフォーカスを調整します。 ● 適切な投影距離で設置してください。 ● 投影レンズをクリーニングしてください。 ● 低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだとき、レンズが結露することがあります。その場合、しばらくまって結露がとれたことを確認してからプロジェクターの電源を入れてください。
映像が上下、または左右逆に投写される	● 反転表示メニューを確認してください。
画像が暗く見える	● 色調整メニューの[コントラスト]および[明るさ]を確認してください。 ● ランプの明るさの設定を確認してください。 ● ランプの交換警告を確認します。ランプの交換警告は、ランプがその交換時期に到達していることを示しています。すぐに同じモデルの新しいランプと交換してください。

付録

トラブルシューティング	解決
画像が表示されない	● プロジェクターとコンピューターまたは映像機器との接続を確認します。 ● コンピューターからの正しい入力信号を確認します。 特定のノートブックコンピューターと接続した場合、ディスプレイの出力設定が変更されることがあります。 設定の詳細については、コンピューターに付属の取扱説明書を参照してください。 ● 電源を入れてから投写するまで約30秒かかります。 ● 信号、カラーシステム、イメージシステム、またはコンピュータシステムのモードを確認します。 ● 周囲温度が[0℃-40℃]の範囲内にあることを確認してください。 ● ブランク画像が表示されています。リモコンの[BLANK]、または他のボタンを押してください。
異常な色	● 信号、カラーシステム、イメージシステム、またはコンピュータシステムのモードを確認てください。 ● [色調整]の[イメージモード]が[黒板]になっていないかを確認してください。
オートPC調整機能が動作しない	● 入力信号を確認してください。 ● HDMI入力の場合は、オートPC調整機能が動作しません。 ● 入力信号選択メニューで以下の信号フォーマットが選択されていると、オートPC調整機能が動作しないことがあります。 720 x 480i、720 x 576i、720 x 480p、720 x 576p、1280 x 720p、1920 x 1080i、1920 x 1080p
電源を切るとキーストーン設定が保存されない	● 設定調整後に[キーストーン]の[メモリー]を選択したことを確認します。キーストーンの設定は、[メモリー]を選択しないと保持されません。
パワーマネージメントの失敗	● フリーズまたはブランク操作の場合、パワーマネージメント機能は動作しません。
自動設定が機能しない	● 各設定メニューで「オフ」に設定されていないことを確認してください。 ● 反転表示機能で[なし]が設定されていないことを確認してください。
画像が歪んだり消えたりする	● オートPC調整メニューまたはリモコンの[SCREEN]ボタンを押してから画面サイズを確認し、修正します。
電源投入後、パスコードダイアログが表示される	● パスコードロック機能が設定されています。
リモコンが動作しない	● 電池を確認してください。 ● プロジェクターとリモコンの間に障害物がないことを確認してください。 ● リモコンがプロジェクターから離れすぎていないことを確認してください。最大動作範囲は8mです。 ● 設定メニューの[キーロック]を[オフ]にします。

トラブルシューティング	解決
LEDインジケーターが点灯または点滅する	● LEDインジケーターの状態に応じて、プロジェクターのステータスを確認します。
"X"マーク表示	● 操作が無効です。プロジェクターを正しく操作してください。
本体操作部のボタンが機能しない	● [設定]の[キーロック]が[プロジェクター]になっていないかを確認してください。

- プロジェクターが外部機器に正しく接続されていることを確認してください。
- すべてのデバイスがAC電源に接続され、電源が入っていることを確認してください。
- プロジェクターが接続されたコンピューターのイメージを投影できない場合は、コンピューターを再起動します。

注意：
お使いのプロジェクターは、高電圧電源を使用して動作します。 キャビネットを開けないでください。

付録

メニュー構成

メインメニュー	サブメニュー	設定		備考
表示	オート PC 調整			
	トラッキング	0-31		
	水平位置	-5 - +5		
	垂直位置	-5 - +5		
	水平サイズ	-15 - +15		水平サイズの範囲は信号とは異なります。
	アスペクト	オート *		
		16:9		
		拡張	水平ドット数 / 垂直ドット数 /H 位置 /V 位置	アナログ入力
		フル		
	反転表示	なし *		
		オート天吊・リア		
		オート天吊		
		リア・天吊		
		天吊		
		リア		
	メニュー位置	左上 *		
		右上		
		センター		
		左下		
		右下		
	背景表示	黒		
		青 *		
	入力信号選択	Auto*		コンポーネント入力 ビデオ入力
		PAL		
		SECAM		
		NTSC		
		NTSC4.43		
		PAL-M		
		PAL60		
		PAL-N		
		1080i		
		1035i		
		720p		
		480p		
		480i		
		576p		
		576i		
		----		

* は工場出荷時 (リセット後) の設定です。

メインメニュー	サブメニュー	設定		備考
色調整	イメージモード	スタンダード *		PC 入力
		プレゼンテーション		
		ユーザー設定		
		カラーボード	赤 / 青 / 緑 / 黄	
		黒板		
		シネマ		
	コントラスト	0-63		
	明るさ	0-63		
	色温度	高 / 中 / 低		
	赤	0-63		
	緑	0-63		
	青	0-63		
	シャープネス	0-15		
	コントラスト	0-63		コンポーネント入力 ビデオ入力
	明るさ	0-63		
	色の濃さ	0-63		
	色合い	0-63		
	赤	0-63		
	緑	0-63		
	青	0-63		
	シャープネス	0-15		
設定	ダイレクトパワーオン	入 / 切 *		
	スタンバイモード	ノーマル /Wake On Lan/ エコ *		
	高地モード	入 / 切 *		
	ランプモード	* (ノーマル) / (エコ)		
	クーリングモード	ノーマル */ 即時 /60 秒		
	クローズドキャプション	切 */CC1/CC2/CC3/CC4		
	キーロック	* (オフ) / (プロジェクター) / (リモコン)		
	アイリス	入 */ 切		
	サウンド	音量	0-25	
		消音	入 / 切 *	
	HDMI 設定	入力範囲	オート */ 拡張 / 標準	
		サウンド	Audio 端子 /HDMI*	
		EQ 設定	Mode1*/2/3/4	
拡張設定	言語	26 言語		
	オートセットアップ	入力サーチ	入 */ 切	
		オート PC 調整	入 */ 切	
		オートキーストーン	オート */ 手動 / 切	

* は工場出荷時 (リセット後) の設定です。

付録

メインメニュー	サブメニュー	設定		備考
拡張設定	キーストーン	キーストーン	メモリー */ リセット	
		H/V キーストーン		
		4 点キーストーン補正		
		湾曲補正	湾曲補正 X/Y ゲイン 湾曲補正 X オフセット 湾曲補正 Y オフセット	
		値のリセット		
	ロゴ	ロゴ選択	Canon(default)*/ 切 / ユーザー	
		キャプチャー		
		ロゴパスコードロック	入 / 切 *	
		ロゴパスコード変更		
	セキュリティー	パスコードロック	入 / 切 *	
		パスコード変更		
	パワー マネージメント	待機 *		
		シャットダウン		
		無効		
		タイマー		
		待機秒読み		
	フィルター カウンター	フィルターカウンター		
		タイマー	切 /300H*	
		フィルターカウンターリセット		
		フィルタチェック	入 */ 切	
	テストパターン	切 *		
		グレイスケール 1/2/3/4		
		カラーバー		
		赤		
		緑		
		青		
		クロスハッチ		
		ホワイト		
		黒		
		グレイラスター		
	ネットワーク	ネットワーク 設定	DHCP IP アドレス サブネット ゲートウエイ DNS 適用 キャンセル	
		ネットワーク情報		
		MAC アドレス		
		IP アドレス		

* は工場出荷時 (リセット後) の設定です。

メインメニュー	サブメニュー	設定	備考
拡張設定	工場出荷時設定		
	ランプカウンター	ランプカウンター	
		ランプカウンターリセット	
メモリービューワー	スライド開始		
	表示効果	右にスライド *	
		下にスライド	
	表示順	名前順 *	
		時間順	
		サイズ順	
		拡張子順	
	回転	回転なし */90˚/180˚/270˚	
	フィット	入 / 切 *	
	リピート	入 / 切 *	
	適用		
インフォメーション	入力		
	水平周波数		
	垂直周波数		
	ランプモード		
	ランプカウンター		
	パワーマネージメント		
	イメージモード		

* は工場出荷時 (リセット後) の設定です。

入力
- コンピューター
- HDMI-1
- HDMI-2
- ビデオ
- ネットワーク
- メモリービューワー
- USBディスプレイ

付録

LED インジケーターの状態

プロジェクターの状態を確認するには、LEDインジケーターを確認してください。

LED インジケーター		プロジェクターの状態
POWER 赤 / 緑	WARNING 赤	
○	○	電源コードがコンセントから抜けています。
●	○	プロジェクターはスタンバイ状態です。[POWER] ボタンを押すと動作します。
●	○	プロジェクターは正常に動作しています。
✳	○	プロジェクターは投写準備完了状態になっているか、ランプが冷却しています。
✳	○	プロジェクターは待機モードになっています。
✳	✳	プロジェクターが温度異常を検出し、冷却モードに切り替わります。
●	✳	プロジェクターが温度異常を検出し、スタンバイモードに切り替わります。
✳	✳	プロジェクターがランプの異常を検出し、冷却モードに切り替わります。
●	●	プロジェクターがランプの異常を検出し、スタンバイモードに切り替わります。
●	●	ランプの使用時間が想定寿命時間を超え、想定寿命時間の 1.1 倍未満となっています。
●	✳	ランプの使用時間が想定交換時期の 1.1 倍を越えました。

● ... 緑色　● ... 赤色　● ... 黄色　○ ... 電源オフ

✳ ... 緑色の点滅　✳ ... 赤色の点滅　✳ ... 黄色の点滅

互換性のあるコンピュータ画面

お使いのプロジェクターは、ドットクロック160MHz以下のすべてのコンピューター信号を受け入れるように設計されています。解像度と関連する周波数の詳細については、下の表を参照してください。

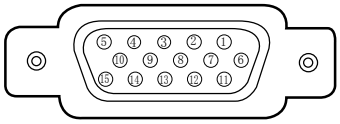
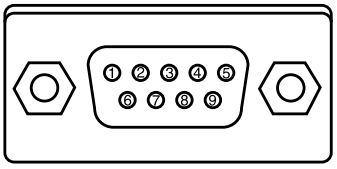
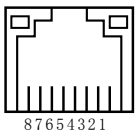
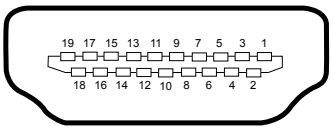
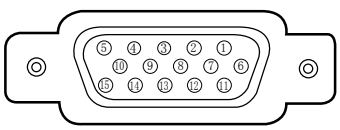
番号	OSD 表示	入力ソース				規格			
		RGB	コンポーネント	HDMI	ビデオ / S- ビデオ	解像度	水平周波数（KHz）	垂直周波数（Hz）	ピクセルクロック（MHz）
1	NTSC	–	–	–	○	NTSC	15.734	59.940	–
	NTSC-443	–	–	–	○	NTSC 4.43			
	PAL-60	–	–	–	○	PAL60			
	PAL-M	–	–	–	○	PAL-M			
2	PAL	–	–	–	○	PAL	15.625	50.000	–
	PAL-N	–	–	–	○	PAL-N			
	SECAM	–	–	–	○	SECAM			
3	720x480i 60Hz	○	○	–	–	720x480i	15.734	59.940	13.500
4	720x480i 60Hz	–	–	○	–	720(1440)x480i	15.734	59.940	27.000
5	720x576i 50Hz	○	○	–	–	720x576i	15.625	50.000	13.500
6	720x576i 50Hz	–	–	○	–	720(1440)x576i	15.625	50.000	27.000
7	720x483 60Hz	○	○	○	–	720x483(480P)	31.469	59.940	27.000
8	720x576 50Hz	○	○	○	–	720x576(576P)	31.250	50.000	27.000
9	1280x720p 60Hz	○	○	○	–	1280x720p	45.000	60.000	74.250
							44.955	59.940	74.176
10	1280x720p 50Hz	○	○	○	–		37.500	50.000	74.250
11	1920x1080i 60Hz	○	○	○	–	1920x1080i	33.750	60.000	74.250
							33.716	59.940	74.176
12	1920x1080i 50Hz	○	○	○	–		28.125	50.000	74.250
13	1920x1080p 24Hz	–	–	○	–	1920x1080p	27.000	24.000	74.250
							26.970	23.980	74.176
14	1920x1080p 60Hz	○	○	○	–		67.500	60.000	148.500
							67.433	59.940	148.352
15	1920x1080p 50Hz	○	○	○	–		56.250	50.000	148.500
16	640x480,60Hz	○	–	○	–	640x480	31.469	59.940	25.175
17	640x480,67Hz	○	–	○	–		35.000	66.667	30.240
18	640x480,72Hz	○	–	○	–		37.861	72.809	31.500
19	640x480,75Hz	○	–	○	–		37.500	75.000	31.500
20	640x480,85Hz	○	–	○	–		43.269	85.008	36.000
21	800x600,56Hz	○	–	○	–	800x600	35.156	56.250	36.000
22	800x600,60Hz	○	–	○	–		37.879	60.317	40.000
23	800x600,72Hz	○	–	○	–		48.077	72.188	50.000
24	800x600,75Hz	○	–	○	–		46.875	75.000	49.500
25	800x600,85Hz	○	–	○	–		53.674	85.061	56.250
26	832x624,75Hz	○	–	○	–	832x624	49.725	74.550	57.283
27	1024x768,60Hz	○	–	○	–	1024x768	48.363	60.004	65.000
28	1024x768,70Hz	○	–	○	–		56.476	70.069	75.000
29	1024x768,75Hz	○	–	○	–		60.023	75.029	78.750
30	1024x768,85Hz	○	–	○	–		68.678	84.997	94.500
31	1152x864,70Hz	○	–	○	–	1152x864	63.995	70.020	94.200
32	1152x864,75Hz	○	–	○	–		67.500	75.000	108.000
33	1280x720,60Hz	○	–	○	–	1280x720	44.772	59.855	74.500
34	1280x768,60Hz	○	–	○	–	1280x768	47.776	59.870	79.500
35	1280x768,75Hz	○	–	○	–		60.289	74.893	102.250
36	1280x768,85Hz	○	–	○	–		68.630	84.840	117.500
37	1280x800,60Hz	○	–	○	–	1280x800	49.702	59.810	83.500
38	1280x800,75Hz	○	–	○	–		62.795	74.934	106.500
39	1280x800,85Hz	○	–	○	–		71.554	84.880	122.500
40	1280x960,60Hz	○	–	○	–	1280x960	60.000	60.000	108.000
41	1280x1024,60Hz	○	–	○	–	1280x1024	63.981	60.020	108.000
42	1280x1024,72Hz	○	–	○	–		78.160	71.970	135.060
43	1280x1024,75Hz	○	–	○	–		79.976	75.025	135.000
44	1280x1024,85Hz	○	–	○	–		91.146	85.024	157.500
45	1366x768,60Hz	○	–	○	–	1366x768	47.720	59.799	84.750
46	1400x1050,60Hz	○	–	○	–	1400x1050	65.317	59.978	121.750
47	1400x1050,75Hz	○	–	○	–		82.278	74.867	156.000
48	1440x900,60Hz	○	–	○	–	1440x900	55.935	59.887	106.500
49	1600x900,60Hz	○	–	○	–	1600x900	55.920	60.000	118.998
50	1600x1200,60Hz	○	–	○	–	1600x1200	75.000	60.000	162.000
51	1680x1050,60Hz	○	–	○	–	1680x1050	65.290	59.954	146.250
52	1920x1080,60Hz	○	–	○	–	1920x1080	66.587	59.934	138.500
53	1920x1200,60Hz	○	–	○	–	1920x1200	74.038	59.950	154.000

" ○ " はこのフォーマットをサポートする入力信号ソースを示し、" – " は入力信号ソースがサポートしないことを示します。

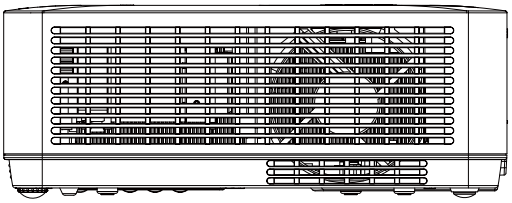
✓ **注意：**このマニュアルは、予告なく変更することがあります。

付録

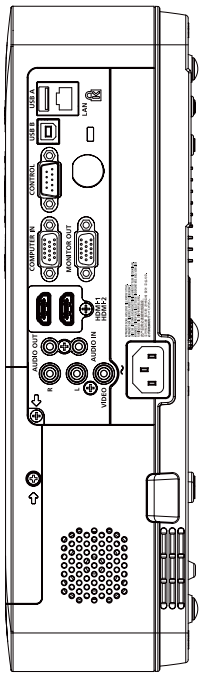
端子の仕様

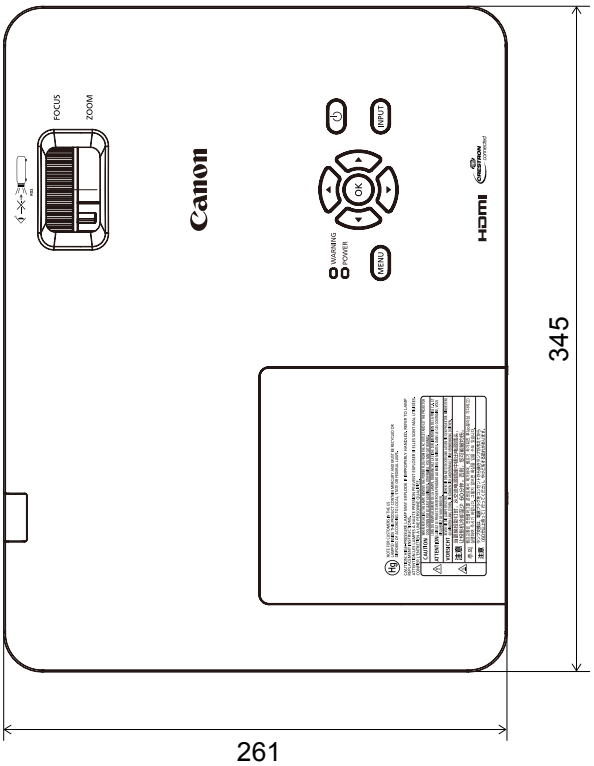
VGA IN / MONITOR OUT 端子 (D-sub 15)				
	1	赤 (入力 / 出力)	9	ー
	2	緑 (入力 / 出力)	10	接地 (垂直同期)
	3	青 (入力 / 出力)	11	接地
	4	ー	12	DDC データ
	5	接地 (水平同期)	13	水平同期 (複合同期) 入力 / 出力
	6	接地 (赤)	14	垂直同期入力 / 出力
	7	接地 (緑)	15	DDC クロック
	8	接地 (青)		
シリアル端子 (D-SUB 9)				
	1	ー	6	ー
	2	RXD	7	ー
	3	TXD	8	ー
	4	ー	9	ー
	5	GND		
LAN 端子				
	1	TX +	5	ー
	2	TX -	6	RX -
	3	RX +	7	ー
	4	ー	8	ー
HDMI 端子 (HDMI Type A 19)				
	1	TMDS データ 2+	11	TMDS クロックシールド
	2	TMDS データ 2 シールド	12	TMDS クロック -
	3	TMDS データ 2-	13	CEC
	4	TMDS データ 1+	14	予約 (非結線)
	5	TMDS データ 1 シールド	15	SCL
	6	TMDS データ 1-	16	SDA
	7	TMDS データ 0+	17	DDC/CEC グランド
	8	TMDS データ 0 シールド	18	+5V 電源
	9	TMDS データ 0-	19	ホットプラグ検出
	10	TMDS クロック +		
VGA IN 1 端子				
	1	赤 /Pr/S-C 入力	9	ー
	2	緑 /Y/S-Y 入力	10	接地 (垂直同期)
	3	青 /Pb/- 入力	11	接地
	4	ー	12	DDC データ
	5	接地 (水平同期)	13	水平同期 (複合同期) 入力
	6	接地 (赤)	14	垂直同期入力
	7	接地 (緑)	15	DDC クロック
	8	接地 (青)		

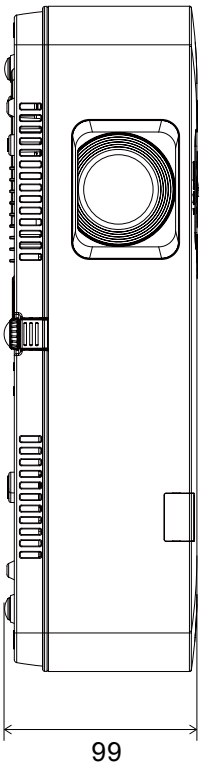
寸法

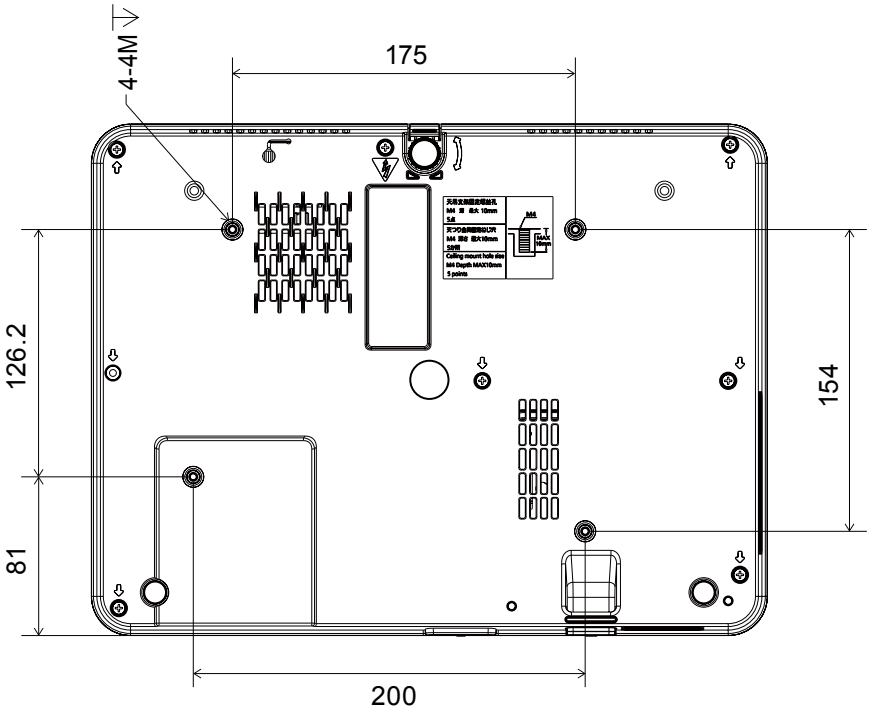


↘
天井取り付け用ネジ穴
ネジ : M4
奥行き : 10.0　　単位 : mm









付録

製品の仕様

形名		LV-WU360	LV-WX370	LV-X350
表示方式		透過型液晶パネル× 3 枚		
光学方式		3 原色液晶シャッター方式		
表示素子	有効表示域サイズ	0.64 型 /16：10	0.59 型 /16：10	0.63 型 /4：3
	有効画素数	2,304,000(1920x1200) × 3 枚	1,024,000(1280x800) × 3 枚	786,432 (1024x768) × 3 枚
投写レンズ	ズーム	1.2 倍 (手動)		
	フォーカス	手動		
	焦点距離	f=19.2~23.0mm		
	F 値	F:1.6~1.76		
光源		高圧水銀ランプ　225W/150W (エコ)		
画面サイズおよび投写距離		30~300 インチ 投写距離:0.87~10.74m	30~300 インチ 投写距離:0.94~11.60m	30~300 インチ 投写距離：0.888~10.937m
色数		10 億 7300 万色		
光出力 *1 *2		3600lm	3700lm	3500lm
コントラスト比 *1 *2 *3		15000：1		
周辺照度比 *1		80%		
スピーカー		10W (モノラル)、1 個		
入力対応信号		互換性のあるコンピュータ画面をご覧ください。		
対応走査周波数	水平	15 kHz~100KHz		
	垂直	28Hz~85Hz		
表示解像度	コンピューター信号入力	最大入力解像度 1920x1200 ドット	最大入力解像度 1920x1200 ドット (リサイジング表示) パネル解像度 1280x1200	最大入力解像度 1920x1200 ドット (リサイジング表示) パネル解像度 1024x768
	ビデオ信号入力	NTSC、NTSC4.43、PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N		

形名		LV-WU360	LV-WX370	LV-X350
映像信号入力端子	Mini D-sub 15-pin	アナログ PC（WUXGA/FHD/UXGA/WSXGA+/SXGA+/SXGA/WXGA+/WXGA/XGA/SVGA/VGA/Mac16”） コンポーネントビデオ（1080p/1080i/720p/576p/576i/480p/480i）		
	HDMI x 2	アナログ PC（WUXGA/FHD/UXGA/WSXGA+/SXGA+/SXGA/WXGA+/WXGA/XGA/SVGA/VGA/Mac16”） コンポーネントビデオ（1080p/1080i/720p/576p/576i/480p/480i）		
	RCA	ビデオ入力		
	RJ-45	ネットワーク接続（100 Base-TX （100Mbps）/10 Base-T （10Mbps）、（ネットワークディスプレイ）		
	USB-B	USB 接続（USB ディスプレイ、サービスポート）		
	USB-A	USB 接続（メモリービューワー）		
その他入出力端子	Dsub9	RS-232C 接続		
	Mini D-sub 15-pin	アナログ PC 入力 / 映像出力		
	ミニジャック	音声入力		
	ミニジャック	音声出力		
	2RCA	音声入力		
騒音（ノーマル / エコ）		37dB / 30dB		
使用温度		0℃ ~40℃		
電源		AC 100-240V、50/60Hz		
最大消費電力		320W/224W	310W/217W	
待機消費電力（LAN OFF/ON）		0.4W/2W		
標準外形寸法 突起部除く		W345mm × H261mm × D99mm W345mm × H261mm × D94mm		
質量		約 3.3kg	約 3.2kg	約 3.2kg
附属品		リモコン、リモコン用乾電池、電源コード、コンピューターケーブル、重要なおしらせ、かんたんガイド、保証書		

*1 出荷時における本プロジェクター全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911: 2015データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については附属書Bに基づいています。

*2 ランプモード：ノーマル、イメージモード：プレゼンテーション

*3 アイリス：入

※ 液晶パネルの有効画素は99.99%以上です。投写中0.01%以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合がありますが、これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

※ 長時間・連続使用する際は、光学部品の劣化を早めることがありますのでご注意ください。

※ 本プロジェクターはJIS C 61000-3-2適合品です。

※ 製品の仕様及び外観の一部を予告なく変更することがあります。

付録

■ リモコン

電池	単4形乾電池2本使用
到達範囲	約8m 、±30°（受光部正面）
寸法	幅50mm×高さ20mm×奥行110mm
質量	38g

RS-232C コントロールモード

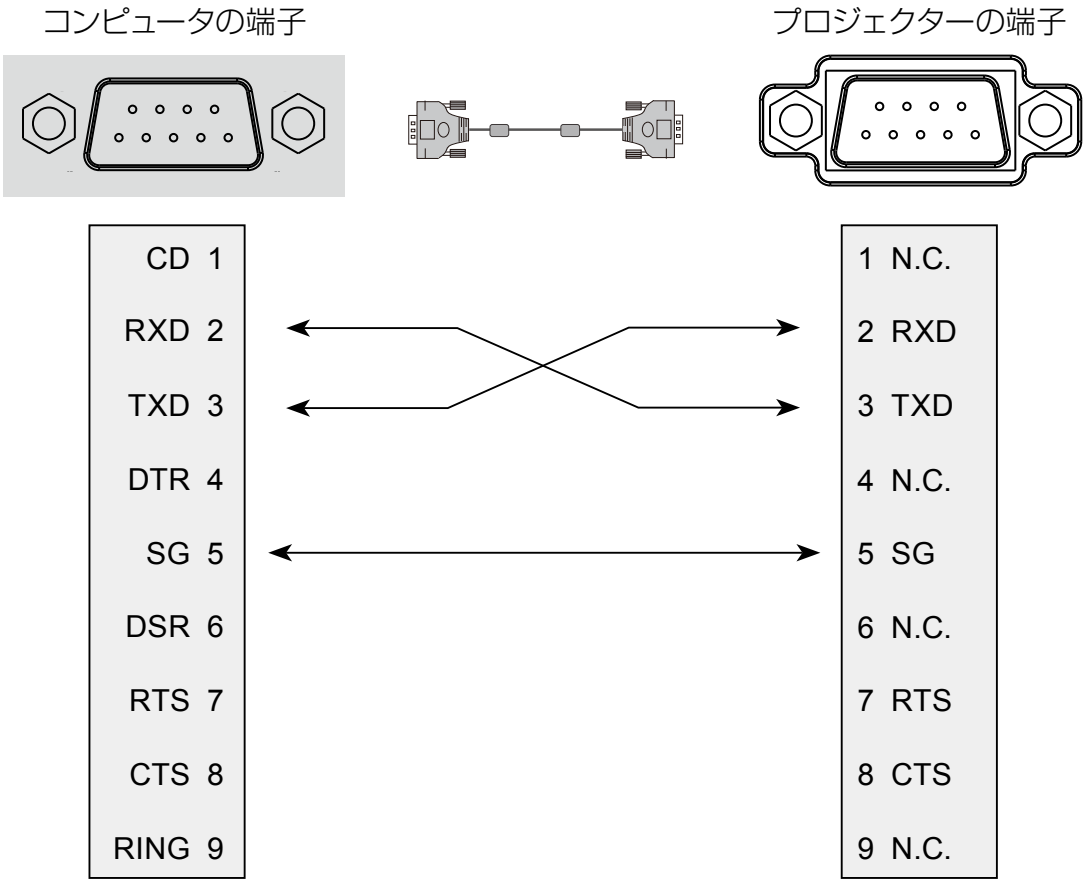
1. シリアル接続

1.1 ポート設定

プロジェクト	セットポイント
通信方式	非同期通信
通信速度	19200
長さ	8 ビット
パリティチェック	NO
停止位置	1
フロー制御	NO

1.2 接続モード

RS232シリアルクロスコネクトPCとプロジェクタのみを使用できます。



ユーザーコマンド

コマンド種		ASCII 表記	バイナリ表記
電源	電源 ON	POWER=ON<CR>	50h 4Fh 57h 45h 52h 3Dh 4Fh 4Eh 0Dh
	電源 OFF	POWER=OFF<CR>	50h 4Fh 57h 45h 52h 3Dh 4Fh 46h 46h 0Dh
電源状態取得		GET=POWER<CR>	47h 45h 54h 3Dh 50h 4Fh 57h 45h 52h 0Dh
入力ソース	コンピューター	INPUT=DSUB<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 44h 53h 55h 42h 0Dh
	HDMI-1	INPUT=HDMI1<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 48h 44h 4Dh 49h 31h 0Dh
	HDMI-2	INPUT=HDMI2<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 48h 44h 4Dh 49h 32h 0Dh
	ビデオ	INPUT=VIDEO<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 56h 49h 44h 45h 4Fh 0Dh
	ネットワーク	INPUT=LAN<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 4Ch 41h 4Eh 0Dh
	メモリービューワー	INPUT=USB_M<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 55h 53h 42h 5Fh 4Dh 0Dh
	USB ディスプレイ	INPUT=USB_D<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 55h 53h 42h 5Fh 44h 0Dh
入力ソース取得		GET=INPUT<CR>	47h 45h 54h 3Dh 49h 4Eh 50h 55h 54h 0Dh
入力リスト取得		GET=INPUTL<CR>	47h 45h 54h 3Dh 49h 4Eh 50h 55h 54h 4Ch 0Dh
イメージモード	スタンダード	IMAGE=STANDARD<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 53h 54h 41h 4Eh 44h 41h 52h 44h 0Dh
	プレゼンテーション	IMAGE=PRESENTATION<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 50h 52h 45h 53h 45h 4Eh 54h 41h 54h 49h 4Fh 4Eh 0Dh
	シネマ	IMAGE=MOVIE<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 4Dh 4Fh 56h 49h 45h 0Dh
	ユーザー設定	IMAGE=USER_1<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 31h 0Dh
	黒板	IMAGE=BLACKBD<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 42h 4Ch 41h 43h 4Bh 42h 44h 0Dh
	カラーボード	IMAGE=COLORBD<CR>	49 4D 41 47 45 3D 43 4F 4C 4F 52 42 44 0D
イメージモード取得		GET=IMAGE<CR>	47h 45h 54h 3Dh 49h 4Dh 41h 47h 45h 0Dh
アスペクト	オート	ASPECT=AUTO<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 41h 55h 54h 4Fh 0Dh
	16:9	ASPECT=16:9<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 31h 36h 3Ah 39h 0Dh
	拡張	ASPECT=CUSTOM<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 43h 55h 53h 54h 4Fh 4Dh 0Dh
	フル	ASPECT=FULL<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 46h 55h 4Ch 4Ch 0Dh
アスペクト値取得		GET=ASPECT<CR>	47h 45h 54h 3Dh 41h 53h 50h 45h 43h 54h 0Dh
ランプモード	ノーマル	LIGHT=NORMAL<CR>	4Ch 49h 47h 48h 54h 3Dh 4Eh 4Fh 52h 4Dh 41h 4Ch 0Dh
	ECO mode	LIGHT=ECO<CR>	4Ch 49h 47h 48h 54h 3Dh 45h 43h 4Fh 0Dh
ランプモード値取得		GET=LIGHT<CR>	47h 45h 54h 3Dh 4Ch 49h 47h 48h 54h 0Dh
プロジェクタ積算使用時間取得		GET=PJUSGT<CR>	47h 45h 54h 3Dh 50h 4Ah 55h 53h 47h 54h 0Dh
ランプ使用時間取得		GET=LMPT<CR>	47h 45h 54h 3Dh 4Ch 4Dh 50h 54h 0Dh
ブランク	Blank ON	BLANK=ON<CR>	42h 4Ch 41h 4Eh 4Bh 3Dh 4Fh 4Eh 0Dh
	Blank OFF	BLANK=OFF<CR>	42h 4Ch 41h 4Eh 4Bh 3Dh 4Fh 46h 46h 0Dh
ブランク取得		GET=BLANK<CR>	47h 45h 54h 3Dh 42h 4Ch 41h 4Eh 4Bh 0Dh

付録

コマンド種		ASCII 表記	バイナリ表記
音声ミュート	ミュート ON	MUTE=ON<CR>	4Dh 55h 54h 45h 3Dh 4Fh 4Eh 0Dh
	ミュート OFF	MUTE=OFF<CR>	4Dh 55h 54h 45h 3Dh 4Fh 46h 46h 0Dh
音声ミュート状態取得		GET=MUTE<CR>	47h 45h 54h 3Dh 4Dh 55h 54h 45h 0Dh
オート入力サーチ ON		QAS=ON<CR>	51h 41h 53h 3Dh 4Fh 4Eh 0Dh
オート入力サーチ OFF		QAS=OFF<CR>	51h 41h 53h 3Dh 4Fh 46h 46h 0Dh
オート入力サーチ取得		GET=QAS<CR>	47h 45h 54h 3Dh 51h 41h 53h 0Dh
フリーズ	フリーズ ON	FREEZE=ON<CR>	46h 52h 45h 45h 5Ah 45h 3Dh 4Fh 4Eh 0Dh
	フリーズ OFF	FREEZE=OFF<CR>	46h 52h 45h 45h 5Ah 45h 3Dh 4Fh 46h 46h 0Dh
フリーズ取得		GET=FREEZE<CR>	47h 45h 54h 3Dh 46h 52h 45h 45h 5Ah 45h 0Dh
プロダクトコード取得		GET=PRODCODE<CR>	47h 45h 54h 3Dh 50h 52h 4Fh 44h 43h 4Fh 44h 45h 0Dh
シリアルナンバー取得		GET=PRODSN<CR>	47h 45h 54h 3Dh 50h 52h 4Fh 44h 53h 4Eh 0Dh
高地モード	高地モード ON	HIGHALT=ON<CR>	48h 49h 47h 48h 41h 4Ch 54h 3Dh 4Fh 4Eh 0Dh
	高地モード OFF	HIGHALT=OFF<CR>	48h 49h 47h 48h 41h 4Ch 54h 3Dh 4Fh 46h 46h 0Dh
高地モード取得		GET=HIGHALT<CR>	47h 45h 54h 3Dh 48h 49h 47h 48h 41h 4Ch 54h 0Dh
反転表示	なし	IMAGEFLIP=NONE<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 46h 4Ch 49h 50h 3Dh 4Eh 4Fh 4Eh 45h 0Dh
	リア	IMAGEFLIP=REAR<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 46h 4Ch 49h 50h 3Dh 52h 45h 41h 52h 0Dh
	天吊	IMAGEFLIP=CEILING<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 46h 4Ch 49h 50h 3Dh 43h 45h 49h 4Ch 49h 4Eh 47h 0Dh
	リア･天吊	IMAGEFLIP=REAR_CEIL<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 46h 4Ch 49h 50h 3Dh 52h 45h 41h 52h 5Fh 43h 45h 49h 4Ch 0Dh
	オート天吊	IMAGEFLIP=AUTO_CEILING<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 46h 4Ch 49h 50h 3Dh 41h 55h 54h 4Fh 5Fh 43h 45h 49h 4Ch 49h 4Eh 47h 0Dh
	オート天吊･リア	IMAGEFLIP=AUTO_REAR_CEIL<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 46h 4Ch 49h 50h 3Dh 41h 55h 54h 4Fh 5Fh 52h 45h 41h 52h 5Fh 43h 45h 49h 4Ch 0Dh
反転表示取得		GET=IMAGEFLIP<CR>	47h 45h 54h 3Dh 49h 4Dh 41h 47h 45h 46h 4Ch 49h 50h 0Dh

保証とアフターサービス

■ この商品には保証書がついています

保証書は、本機に付属しています。お買い上げ日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、内容をお読みいただき、大切に保管してください。
なお、保証内容については保証書に記載しております。

■ 修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、裏表紙のキヤノンお客様相談センターにご相談ください。
（ランプはキヤノンホームページからもご購入いただけます。）

■ 修理を依頼される前に

99ページの「トラブルシューティング」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

■ 修理方法

本商品は、引取修理させていただきます。
お客様先にプロジェクターを引取にお伺いし、修理完了後にお届けいたします。また、ご要望により代替機の貸出サービスを準備しております。

〈修理料金〉

保証期間内	引取修理サービス	無償
	代替機貸出サービス	無償
保証期間終了後	引取修理サービス	有償
	代替機貸出サービス	有償

※ 上記、引取サービスおよび代替機の貸し出しは、キヤノンお客様相談センターにてサービスをご利用いただいた場合に適用されます。
※ 引取修理サービスは、国内のみのお取り扱いとなります。

■ 修理を依頼されるときにご連絡いただきたいこと

- お客様のお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の機種名およびシリアルナンバー
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■ 補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後7年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

別売品

- 交換エアフィルター　品番 ： LV-FL01
- リモコン　品番 ： LV-RC12
- 交換ランプ　品番 ： LV-LP43

●長年ご使用のプロジェクターの点検をぜひ！（熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●映像が時々消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。 ●その他異常や故障がある。	➡	ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客様メモ	
品　番	
お買い上げ年月日	年　月　日
お買い上げ店名	☎

Canon

お客様相談センター（全国共通番号）

0570-08-0071

［受付時間］　〈平日〉9:00～17:00
（土日祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます）
※上記番号をご利用いただけない方は、03-6634-4487をご利用ください。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

YT1-7568-002
© CANON INC. 2019